

Honeywell

Honeywell 35 シリーズ

ネットワーク ビデオ レコーダー

HN35040100
HN35040106
HN35080202
HN35080216
HN35160210
HN35080100N

HN35040101
HN35040108
HN35080204
HN35160200
HN35160216
HN35160200N

HN35040102
HN35040110
HN35080208
HN35160204
HN35160220

HN35040104
HN35080200
HN35080210
HN35160208
HN35040100N

ユーザーガイド

推奨事項

この文書およびその他の Honeywell 35 シリーズ NVR 文書の最新バージョンは、当社の Web サイト <https://buildings.honeywell.com/security> でご確認ください。





著作権

© 2022 Honeywell International Inc. All rights reserved. Honeywell の書面による承諾なしに本書の全部または一部を転載することはできません。本書の情報はあらゆる点で正確を期しています。Honeywell は、製品の使用に起因するいかなる結果についても責任を負いません。本書に記載の情報は予告無く変更する場合があります。本書の改訂版や新規作成版には当該の変更を反映するものとします。特許情報については、<https://buildings.honeywell.com/us/en/support/legal/patents> を参照してください。

改訂

発行	日付	改訂
A	05/2022	新規文書。
B	06/2022	P2P を追加。Web モードを追加。

注意および警告

	CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN		 THIS SYMBOL INDICATES THAT DANGEROUS VOLTAGE CONSTITUTING A RISK OF ELECTRIC SHOCK IS PRESENT WITHIN THE UNIT.
CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE THE COVER. NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.			THIS SYMBOL INDICATES THAT IMPORTANT OPERATING AND MAINTENANCE INSTRUCTIONS ACCOMPANY THIS UNIT.



警告： すべての現地法規を遵守して保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。



警告： 付属の電源ケーブルのみを使用してください。
電源：HN350401xx（45W 用）および HN350802xx/
HN351602xx（130W 用）、PoE 802.3at/af（合計）



注意： Honeywell 製品は、内部リアルタイムクロック（RTC）の電源として 3.3V CR2032 リチウムバッテリーを使用しています。バッテリー残量が低いと RTC の動作に影響し、電源を投入するたびにリセットされます。
バッテリーを誤って交換すると、爆発の危険性があります。使用済みのバッテリーは、地域の規制またはバッテリーメーカーの指示に従って廃棄してください。
製品は、取り外し前に電源が切断されていることを確認してください。その後、バッテリーを慎重に取り外してください。同一のバッテリー、または Honeywell が推奨するバッテリーのみと交換してください。

規格との適合

FCC 遵守声明

使用者のための情報：本装置は、FCC 規格 Part 15 に基づくクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが試験で確認されています。これらの制限は、装置が商業環境で操作された場合に、有害な干渉から適切に保護されるように設計されています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、場合によっては放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用しない場合は無線通信に干渉する可能性があります。住宅街で本装置を操作すると、有害な電波干渉が発生する可能性があります。この場合、ユーザーは自費にて電波干渉を修正する必要があります。

法規遵守の責任当時者による承認のない変更や改造を行うと、本製品を使用する権利を剥奪される場合があります。

このクラス A デジタルデバイスはカナダの ICES-003 に準拠しています。

メーカーの適合宣言

北米

このガイドが付属する装置は、UL 62368-1 および CSA C22.2 No. 62368-1 に準拠しています。

欧州

製造業者は、供給された装置が、電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に関する欧州議会・理事会指令（2015/863/EU）、低電圧指令（2014/35/EU）、EMC 指令の必須要求事項（2014/30/EU）に準拠し、排出ガスについては EN 55032/EN 61000-3-2/EN 61000-3-3/EN 61000-6-4 規格、イミュニティについては EN 50130-4/EN 55024/EN 55035、電気機器の安全性については EN 62368-1 の要件に適合していることを宣言します。

注意これはクラス A 製品です。本製品は、家庭環境では電波干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは適切な処置を講ずる必要があります。

廃電気・電子機器指令（WEEE）



本製品の正しい処分（個別の回収システムを適用している EU と他のヨーロッパ諸国にも該当）。

この製品は、耐用年数終了後に、該当する地域の法律、規制、手順に従って処分する必要があります。

地域の廃棄物ガイドラインの確認

この製品のコンポーネントは、個別の廃棄物収集が必要です。分類ルールについては、地域の廃棄物ガイドラインを確認してください。

一般データ保護規則

この製品には個人データが保存されている場合があります。

個人データは、欧州の一般データ保護規則（2016/679）によって保護されているため、個人データの所有者は、この規則により一定の権利を取得しています。

これらの所有者（「データ主体」）の権利、およびこのデータの使用および配布に関して従う必要がある制限事項について十分に理解しておくことを強くお勧めします。

詳細については、EU の GDPR Web サイト (https://ec.europa.eu/commission/priorities/justice-and-fundamental-rights/data-protection/2018-reform-eu-data-protection-rules_en) を参照してください。

安全の手引き

ユニットを設置または操作する前に、すべての指示を読んで従ってください。
設置後は、後で参照できるように、安全および操作説明書を保管してください。

ご注意ください - 本機および取扱説明書に記載されている警告にすべて従ってください。

設置

- 製造元の指示に従って取り付けてください。
- すべての現地法規を遵守して保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。
- 製品を壁または天井に取り付ける場合は、製造元の指示に従い、製造元が承認または推奨する取り付けキットを使用する必要があります。

操作要件

- PoE フロントエンドデバイスを屋内に設置します。
- 本デバイスは、壁面取り付けをサポートしていません。
- 直射日光の当たる場所や熱源機器の近くに、デバイスを設置しないでください。
- 湿度の高い場所、埃の多い場所、または汚れがひどい場所にデバイスを設置しないでください。
- 水平に設置するか、安定した場所に設置して、落下しないようにしてください。
- デバイ스에 液体を滴下したり、飛沫をかけたりしないでください。液体がデバイスに流入しないように、液体を含んでいるものをデバイスの上に置かないでください。
- 換気の良い場所にデバイスを設置します。換気口を塞がないでください。
- 定格入力および出力範囲内でのみデバイスを使用してください。
- デバイスを任意に分解しないでください。

- デバイスを移動、使用、保管する際は、許容される湿度と温度の範囲内で行ってください。

電源 - 本製品は、マーキングラベルに記載されている種類の電源からのみ操作してください。お客様の施設に供給されている電力の種類が不明な場合は、製品販売店または地元の電力会社にお問い合わせください。

取り付けシステム - 製造元が推奨する取り付けシステムを使用するか、製品とともに購入した取り付けシステムのみを使用してください。

付属品/アクセサリ - 製品の製造元が推奨しない付属品/アクセサリを使用しないでください。火災、感電、人身傷害の危険があります。

清掃 - 液体洗剤やスプレー洗剤は使用しないでください。清掃には湿った布を使用してください。

修理 - 本機をお客様自身で修理しようとししないでください。修理の際は必ず資格のある保守担当者に依頼してください。

交換部品 - 交換部品が必要な場合は、修理技術者が、製造元が指定した交換部品、または元の部品と同じ特性を持っている交換部品を使用していることを確認してください。許可されていない部品で代用すると、火災、感電、その他の危険をもたらす可能性があります。元の製造元以外で製造された交換部品またはアクセサリを使用すると、保証が無効になることがあります。

廃棄物 - この製品のコンポーネントは、個別の廃棄物収集が必要です。分類ルールについては、地域の廃棄物ガイドラインを確認してください。

保証とサービス

製品保証に記載されている条件に従って、保証期間中、Honeywell は、単独裁量により、送料前払いで返品された不良品を無料で修理または交換します。

Honeywell 製品に問題がある場合は、カスタマーサービス(1.800.323.4576)までご連絡いただき、サポートを依頼するか、返品保証 (RMA) 番号をリクエストしてください。






テクニカルサービス担当者にご連絡の際は、問題の内容に加えて、モデル番号、シリアル番号を必ずご確認ください。

すべての返品、交換、または返金については事前の承認が必要です。明確に識別された返品保証（RMA）番号を添付することなく Honeywell に製品を発送すると、拒否される場合があります。





記号の一覧

以下は、NVR に表示される可能性のある記号の一覧です。

表 1 記号の一覧

記号	説明
	WEEE 記号。 この記号は、エンドユーザーがこの製品を廃棄する場合、回収およびリサイクルのために別の回収施設に送付する必要があることを示しています。この製品を他の家庭用廃棄物と分別することにより、焼却炉や埋立地に送られる廃棄物の量が減り、天然資源が保護されます。
	UL 適合ロゴ。 このロゴは、製品がテストされ、UL（旧 Underwriters Laboratories）によってリストされていることを示します。
	FCC 適合ロゴ。 このロゴは、製品が連邦通信委員会の適合基準に準拠していることを示しています。
	直流記号。 この記号は、製品の電源入出力が直流であることを示しています。
	交流記号。 この記号は、製品の電源入出力が交流であることを示しています。

	<p>LDPE 記号。</p> <p>この記号は、製品が低密度ポリエチレン（LDPE）製であることを示しています。</p>
<p>DC12V</p> 	<p>直流記号。</p> <p>この記号は、製品が 12V の直流電圧で動作することを示しています。</p>
	<p>鉛フリー記号。</p> <p>この記号は、製品に鉛（Pb）が含まれていないことを示しています。</p>
	<p>CCC 適合ロゴ。</p> <p>このロゴは、製品が中国強制認証ガイドラインに適合していることを示しています。</p>
	<p>「環境にやさしい使用期間」記号。</p> <p>この記号は、この電子製品が環境に害を与えることなく使用できる期間を示しています。</p>
	<p>RCM 適合記号。</p> <p>この記号は、製品がオーストラリアの RCM ガイドラインに適合していることを示しています。</p>
	<p>TUV 研究所記号。</p> <p>この記号は、製品が TUV 研究所で安全性テスト済みであることを示しています。</p>
	<p>直流記号。</p> <p>この記号は、製品が直流で動作することを示しています。</p>
	<p>この記号は、製品が屋内用であることを示しています。</p>
	<p>CE 適合ロゴ。</p> <p>このロゴは、製品が関連する欧州連合の調和された法令のガイドライン/規格に適合していることを示しています。</p>

	<p>保護接地（アース）記号。</p> <p>この記号は、マークされた端子が保護接地/接地線への接続を意図していることを示しています。</p>
	<p>この記号は、重要な情報に注意を向けるために使用されます。</p>
	<p>この記号は、対応する措置によって感電する可能性があることを警告します。</p>
	<p>この記号は、対応するコントロール/ボタン/スイッチの、オン/スタンバイ機能を示します。</p>

目次

注意および警告	i
規格との適合	ii
FCC 遵守声明.....	ii
メーカーの適合宣言	ii
廃電気・電子機器指令 (WEEE)	iii
地域の廃棄物ガイドラインの確認.....	iii
一般データ保護規則.....	iii
安全の手引き	iv
保証とサービス.....	v
記号の一覧.....	vi
この文書について	1
コンテンツの概要.....	1
1 はじめに	1
概要.....	1
主な機能.....	2
ネットワーク ビデオ レコーダー コンポーネント.....	4
前面パネルと後面パネル.....	4
マウスの操作.....	14
2 お使いになる前に.....	17
NVR の開梱.....	17

外部デバイスの接続.....	18
デバイスの接続.....	19
NVR の起動と終了.....	22
NVR の起動.....	22
NVR の終了.....	22
リセット ボタン.....	23
デバイスの初期化.....	24
デバイスウィザード.....	26
パスワードのリセット.....	31
パスワードリセット機能の有効化.....	31
ローカルインターフェースでのパスワードのリセット.....	32
ホームページ.....	33
双方向通話.....	34
デバイスエンドから IPC へ.....	34
IPC エンドからデバイスエンドへ.....	35
3 ローカル基本操作.....	37
カメラの構成.....	37
カメラ.....	37
エンコード.....	44
センサー設定.....	46
OSD.....	47
POE ステータス.....	48
ストレージ設定の構成.....	49
録画スケジュール.....	49
ディスク.....	52
ストレージモード.....	53
S.M.A.R.T.....	54

ディスク検出.....	55
ディスク計算.....	56
FTP.....	57
イベント設定の構成.....	59
一般.....	59
モーション検出.....	61
カメラタンパリング.....	68
映像ロス.....	69
インテリジェント解析.....	70
アラーム入力.....	73
異常なイベント.....	75
Alarm Out [アラーム出力].....	76
ローカルインテリジェント解析.....	77
ネットワーク設定の構成.....	80
ネットワーク.....	80
802.1X.....	85
DDNS.....	85
ポートマッピング.....	86
Eメール.....	88
P2P.....	90
IP フィルタ.....	92
SNMP.....	93
ネットワークトラフィック.....	96
アクセスプラットフォーム.....	96
システム設定の構成.....	97
情報.....	97
一般.....	99
ユーザーアカウント.....	103

セキュリティセンター	108
レイアウト	111
補助画面	112
ログ	113
メンテナンス.....	115
ライブビュー設定の構成.....	118
ライブビュー.....	118
ライブビューコントロールインターフェース.....	121
再生.....	126
時刻インターフェース	126
画像グリッド.....	129
イベント録画.....	131
バックアップリスト.....	132
4 Web 操作.....	133
ネットワーク接続.....	133
Web ログイン	134
Web メインメニュー	136
ライブビュー	136
再生	137
イベント録画.....	139
設定	140
5 よくある質問	146



図 1 前面パネル (HN350401xx)	5
図 2 後面パネル (HN350401xx)	5
図 3 前面パネル (HN35040100N および HN35080100N)	7
図 4 後面パネル (HN35040100N および HN35080100N)	7
図 5 前面パネル (HN350802xx)	9
図 6 後面パネル (HN350802xx)	9
図 7 前面パネル (HN351602xx)	11
図 8 後面パネル (HN351602xx)	11
図 9 前面パネル (HN35160200N)	13
図 10 後面パネル (HN35160200N)	13
図 11 デバイスの接続 (HN350401xx)	19
図 12 デバイスの接続 (HN35040100N/HN35080100N)	20
図 13 デバイスの接続 (HN350802xx)	20
図 14 デバイスの接続 (HN351602xx)	21
図 15 デバイスの接続 (HN35160200N)	21
図 16 リセットボタン	23
図 17 デバイスの有効化	24
図 18 質問 (パスワードのリカバリ)	25
図 19 ロック解除パターンの設定	25
図 20 パスワードのリカバリ	26
図 21 スタートアップウィザード	26
図 22 ネットワーク	27
図 23 セットアップウィザード - 日付と時刻	28
図 24 セットアップウィザード - タイムゾーン	28
図 25 セットアップウィザード - DST	29
図 26 セットアップウィザード - カメラ	29
図 27 セットアップウィザード - ディスク	30
図 28 セットアップウィザード - 解像度	30
図 29 パスワードのリセット	32

図 30 パスワードリセット 1.....	33
図 31 パスワードリセット 2.....	33
図 32 アラームステータス.....	34
図 33 双方向通話を有効にする.....	34
図 34 デバイスから IPC へ.....	35
図 35 IPC からデバイスへ.....	36
図 36 カメラの追加.....	38
図 37 手動でのデバイスの追加.....	39
図 38 インターフェースの更新.....	41
図 39 ファイルの選択.....	42
図 40 オンラインチャンネルの操作.....	43
図 41 プロトコル管理.....	44
図 42 エンコード.....	45
図 43 画像.....	47
図 44 OSD.....	48
図 45 PoE ステータス.....	49
図 46 録画スケジュール.....	50
図 47 録画タイプ.....	50
図 48 描画による期間設定.....	51
図 49 ディスクインターフェース.....	53
図 50 ストレージモード.....	54
図 51 S.M.A.R.T インターフェース.....	54
図 52 ディスク検出のインターフェース.....	55
図 53 ディスク計算.....	56
図 54 時間の計算.....	57
図 55 FTP.....	58
図 56 一般ページ.....	60
図 57 IO 制御プッシュ.....	60
図 58 モーション検出.....	62
図 59 コピーダイアログボックス.....	64
図 60 領域設定.....	64
図 61 スケジュールの設定.....	65

図 62 スマートモーション.....	66
図 63 スマートモーション - 検出領域.....	67
図 64 スマートモーション - スケジュール.....	68
図 65 カメラタンパ.....	68
図 66 映像ロス.....	69
図 67 侵入.....	71
図 68 マルチロイタリング.....	72
図 69 人だかり検出.....	73
図 70 アラーム入力.....	74
図 71 カメラアラーム入力ポート.....	75
図 72 異常なイベント.....	76
図 73 アラーム出力.....	77
図 74 ローカルインテリジェント解析.....	78
図 75 侵入イベントアクション.....	79
図 76 検出領域.....	79
図 77 ネットワーク - IP.....	80
図 78 ポートインターフェース.....	82
図 79 POE.....	83
図 80 IPv4 CCTV.....	84
図 81 802.1X インターフェース.....	85
図 82 DDNS インターフェース.....	86
図 83 ポートマッピングインターフェース.....	87
図 84 NAT ポートインターフェース.....	88
図 85 E メールインターフェース.....	89
図 86 P2P インターフェース.....	91
図 88 IP フィルタ.....	92
図 89 フィルタへの IP の追加.....	93
図 90 SNMPv1/2.....	94
図 91 SNMPV3.....	94
図 92 ネットワークトラフィックインターフェース.....	96
図 93 アクセスプラットフォームインターフェース.....	97
図 94 N ネットワークステータス.....	98

図 95 システムステータス.....	98
図 96 チャンネルステータス.....	98
図 97 ディスクの使用状況.....	99
図 98 アラームステータス.....	99
図 99 システム.....	100
図 100 日付と時刻.....	100
図 101 タイムゾーン.....	102
図 102 DST.....	102
図 103 同期カメラ時刻.....	103
図 104 ユーザー.....	104
図 105 ユーザーの編集.....	104
図 106 ユーザーの追加.....	105
図 107 権限.....	106
図 108 高度設定.....	107
図 109 アプリの確認.....	107
図 110 アプリのセキュリティコードの入力.....	108
図 111 パスワード.....	109
図 112 ロック解除パターン.....	109
図 113 セキュリティの質問.....	110
図 114 レイアウト.....	111
図 115 補助画面.....	112
図 116 補助画面 - レイアウト.....	113
図 117 ログ - システムログ.....	114
図 118 イベントログ.....	115
図 119 メンテナンス.....	115
図 120 インターフェースの更新.....	116
図 121 ネットワークパケットキャプチャインターフェース.....	118
図 122 ライブビューインターフェース.....	119
図 123 手動アラーム.....	120
図 124 イベントリストのポップアップウィンドウ.....	120
図 125 ライブビューコントロールバー.....	121
図 126 即時再生インターフェース.....	122

図 127 PTZ コントロールパネル.....	123
図 128 パトロールの追加パネル.....	124
図 129 デジタルズームインターフェース.....	125
図 130 カメラ画像パラメータインターフェース.....	125
図 131 再生.....	127
図 132 画像グリッドインターフェース.....	130
図 133 再生インターフェース.....	130
図 134 イベント録画ページ.....	131
図 135 バックアップインターフェース.....	132
図 136 セキュリティの問題.....	135
図 137 ログイン.....	135
図 138 ライブビューページ.....	136
図 139 再生ページ.....	138
図 140 イベント録画ページ.....	139
図 141 設定ページ.....	140
図 142 IPC ログインページ.....	141
図 143 HTTPS.....	142
図 144 証明書リクエスト.....	142
図 145 証明書ページ.....	143
図 146 ファイルのアップロードページ.....	143
図 147 ファイルのアップロード.....	144
図 148 CA 証明書ページ.....	144

表

表 1 記号の一覧.....	vi
表 2 NVR 前面パネルの説明 (HN350401xx)	5
表 3 NVR 後面パネルの説明 (HN350401xx)	6
表 4 NVR 前面パネルの説明 (HN35040100N および HN35080100N)	7
表 5 NVR 後面パネルの説明 (HN35040100N および HN35080100N)	8
表 6 NVR 前面パネルの説明 (HN350802xx)	9
表 7 NVR 後面パネルの説明 (HN350802xx)	10
表 8 NVR 前面パネルの説明 (HN351602xx)	11
表 9 NVR 後面パネルの説明 (HN351602xx)	11
表 10 NVR 前面パネルの説明 (HN35160200N)	13
表 11 NVR 後面パネルの説明 (HN35160200N)	13
表 12 マウスの操作手順.....	15
表 13 リモートチャンネルのパラメータ	40
表 14 音声/ビデオのパラメータ.....	45
表 15 画像パラメータ	47
表 16 FTP パラメータ	58
表 17 モーション検出のパラメータ	62
表 18 検出領域設定パラメータ.....	67
表 19 アラーム入力ポートのパラメータ	74
表 20 異常なアラームパラメータ	76
表 21 アラーム出力パラメータ.....	77
表 22 ローカルインテリジェント解析パラメータ	78
表 23 IP パラメータ.....	81
表 24 ポートパラメータ	83
表 25 ポートマッピングパラメータ	87
表 26 E メールパラメータ	89
表 27 SNMP パラメータ.....	95
表 28 日付と時刻のパラメータ.....	101

表 29 追加インターフェースのパラメータ	105
表 30 ナビゲーションバーのアイコン.....	119
表 31 ライブビューコントロールアイコン	121
表 32 PTZ コントロールパネルのパラメータ.....	123
表 33 イベント録画パラメータの説明.....	131
表 34 ライブビューアイコンとパラメータ	136
表 35 再生アイコンとパラメータ	138
表 36 イベント録画アイコンとパラメータ	139
表 37 設定記号	140

この文書について

この文書では Honeywell 35 シリーズ ネットワーク ビデオ レコーダーを紹介し、35 シリーズ ネットワーク ビデオ レコーダーの設置と操作方法を説明します。

この文書は、設置担当者とユーザーを対象としています。

コンテンツの概要

この文書には、以下の章と付録が含まれています。

第 1 章 **はじめに**：NVR の前面と背面パネルのレイアウトについて説明します。

第 2 章 **お使いになる前に**：NVR を接続してユーザーインターフェースにログインする方法を説明します。

第 3 章 **ローカル基本操作**：NVR のローカル操作について説明します。

第 4 章 **Web 操作**：Web 操作の設定方法について説明します。

第 5 章 **よくある質問**：NVR を操作する際に発生する可能性のある問題を解決するための Q&A について説明します。

はじめに

概要

本シリーズの NVR は、高性能ネットワーク ビデオ レコーダーです。本シリーズの製品では、ローカルライブビュー、マルチウィンドウ表示、ローカルストレージのレコードファイル、リモートコントロール、マウスのショートカットメニュー操作、さらにはリモートコントロール、コントロール機能をサポートしています。

本シリーズの製品では、センターストレージ、フロントエンド録画、クライアントエンド録画をサポートしています。フロントエンドのモニターゾーンは、どこにでも取り付けることができます。本シリーズの製品では、IPC、NVR などの他のフロントエンドデバイスと連携して、HSV によって堅牢な監視ネットワークを確立できます。ネットワークシステムでは、ネットワーク全体で、モニターセンターからモニターゾーンへのネットワークケーブルは 1 本だけです。モニターセンターからモニターゾーンまでのオーディオ/ビデオケーブルはありません。プロジェクト全体は、簡単な接続、低コスト、低メンテナンス作業が特徴です。

本シリーズの NVR は、公共セキュリティ、水資源保全、輸送、教育などの分野で広く使用されています。

主な機能

リアルタイム監視

- VGA、HDMI ポート：モニターに接続して、リアルタイム監視を実行します。VGA/HDMI 出力を同時にサポートします。
- プレビュー用のショートカットメニュー。
- 複数の一般的な PTZ デコーダのコントロールプロトコルをサポートしています。プリセットおよびパトロールをサポートします。

再生

- 各チャンネルの独立したリアルタイム録画をサポートします。同時に、ネットワークモニター、レコード検索、ダウンロードなどの機能もサポートしています。
- さまざまな再生モード（低速再生、高速再生、逆再生、フレーム単位再生）をサポートしています。
- イベントの正確な開始時間を表示できるように、時刻タイトル オーバーレイをサポートしています。
- 指定されたゾーンの拡大をサポートします。

ユーザー管理

ユーザーを、管理のためにユーザーグループに追加できます。各グループには、個別に編集できる一連の権限があります。

ストレージ

- 対応する設定（アラーム設定やスケジュール設定など）を使用すると、ネットワーク ビデオ レコーダーの関連するオーディオ/ビデオデータをバックアップできます。
- Web から録画を取得でき、レコードファイルはクライアントが設置した PC に保存されます。

アラーム

- 外部アラームに同時に応答します（200 ミリ秒以内）。ユーザーが事前に定義したリレー設定に基づいて、システムではアラーム入力が正しく処理され、ユーザー画面または音声プロンプトが送信されます（事前に録音された音声をサポート）。
- 中央アラームサーバーの設定をサポートしているため、システムでは自動的にアラーム情報がユーザーに通知されます。アラーム入力は、接続されたさまざまな周辺デバイスから取得が可能です。
- Eメールでアラーム情報を警告します。

ネットワーク監視

- IPC または HSV によって圧縮されたオーディオ/ビデオデータをネットワーク経由でクライアントエンドに送信すると、データを解凍して表示します。
- オーディオ/ビデオデータは、HTTP、TCP、UDP、MULTICAST、RTP/RTCP などのプロトコルによって送信されます。
- 一部のアラームデータまたはアラーム情報は、SNMP 経由で送信されます。
- WAN/LAN での Web アクセスをサポートします。

ウィンドウ分割

ビデオ圧縮とデジタル処理を採用して、複数のウィンドウを 1 台のモニターに表示します。プレビューでは、1/4/8/9/16 のウィンドウ分割、再生では、1/4/9/16 のウィンドウ分割をサポートします。

録画

スケジュール録画、手動録画、イベント録画をサポートします。録画されたファイルを HDD、USB デバイス、クライアントエンド PC またはネットワークストレージサーバーに保存して、保存したファイルをローカルエンドまたは Web/USB デバイスで検索または再生できます。

バックアップ

ネットワークバックアップと USB レコードバックアップをサポートします。ネットワークストレージサーバー、周辺機器の USB 2.0 デバイス、USB 3.0 デバイスなどのデバイスのレコードファイルをバックアップできます。

ネットワーク管理

- NVR 設定と制御電力をイーサネット経由で監視します。
- Web 管理をサポートします。

周辺機器管理

- 周辺機器のコントロールをサポートしているため、コントロールプロトコルと接続ポートを自由に設定できます。

補助機能

- システムリソース情報と実行ステータスのリアルタイム表示をサポートします。
- ログレコードをサポートします。
- ローカル GUI 出力。マウスを使用したショートカットメニュー操作。
- リモート IPC から、ビデオ/オーディオファイルの再生をサポートします。

ネットワーク ビデオ レコーダー コンポーネント

前面パネルと後面パネル

注記： 以下の前面パネルと後面パネルの図はあくまでも参考用です。実際の製品が優先されるものとします。

HN350401xx

図 1 前面パネル (HN350401xx)

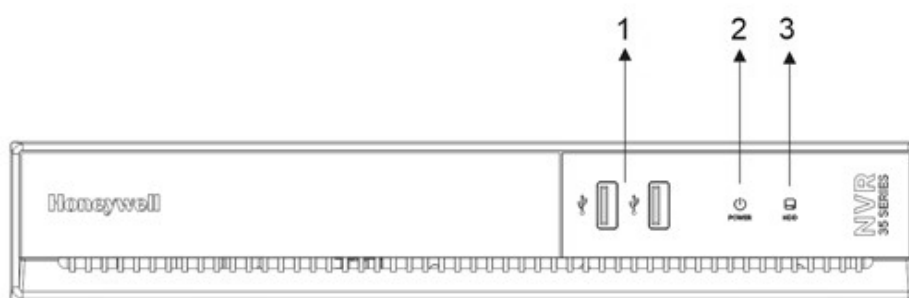


表 2 NVR 前面パネルの説明 (HN350401xx)

No.	名前	説明
1	USB ポート	周辺機器 USB 2.0 ストレージデバイス、マウスなどに接続します。
2	電源	電源接続に問題がない場合、ライトが点灯します。
3	HDD	デバイスが録画中のときに、緑色のライトが点滅し、ディスクが動作していない場合は連続点灯します。ディスクがない場合、ライトは消灯します。

図 2 後面パネル (HN350401xx)

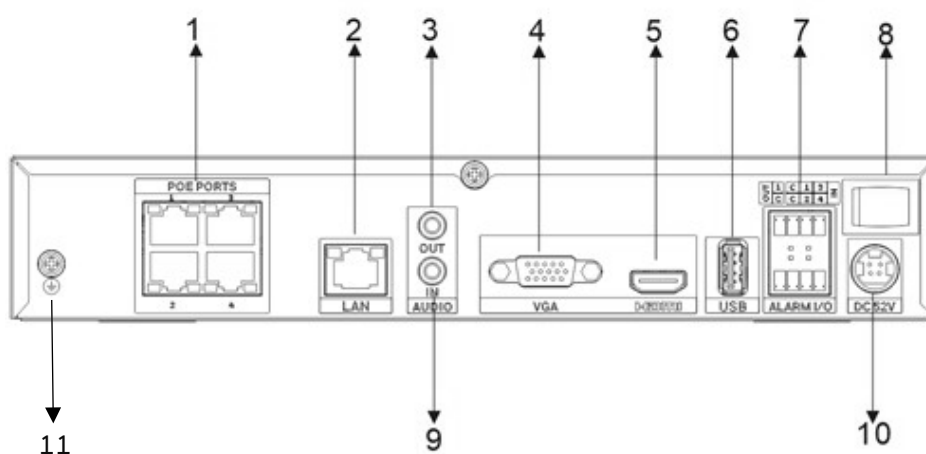



表 3 NVR 後面パネルの説明 (HN350401xx)

No.	名前	説明
1	PoE ポート	内蔵スイッチ。PoE 機能をサポートします。 PoE シリーズ製品では、このポートを使用してネットワークカメラに電力を供給できます。
2	ネットワークポート	10M/100Mbps 自己適応型イーサネットポート。ネットワークケーブルに接続します。
3	オーディオ出力	オーディオ出力ポートです。アナログオーディオ信号をサウンドボックスなどのデバイスに出力します。 <ul style="list-style-type: none"> • 双方向通話出力。 • ワンウィンドウ動画モニターでのオーディオ出力です。 ワンウィンドウ動画再生でのオーディオ出力です。
4	VGA	VGA ビデオ出力ポートです。アナログビデオ信号を出力します。アナログビデオを見るためにモニターに接続できます。
5	HDMI	高解像度のオーディオおよびビデオ信号出力ポートです。非圧縮高解像度ビデオとマルチチャンネルデータをディスプレイデバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
6	USB ポート	USB ポート。マウス、USB ストレージデバイスなどに接続します。
7	アラーム I/O	外部アラームソースから信号を受信します。C は、COM ポートです。アラーム入力のチャンネルが 1 つ、アラーム出力のチャンネルが 4 つあります。 <ul style="list-style-type: none"> • アラーム入力デバイスが外部電源を使用している場合は、デバイスと NVR の GND が同じであることを確認してください。
8	電源スイッチ	電源オン/オフボタン。
9	音声入力	双方向トーク入力ポート。マイク、ピックアップなどの機器から出力されるアナログ音声信号を受信します。
10	電源入力ポート	電源ソケット。
11		GND

HN35040100N および HN35080100N

図 3 前面パネル (HN35040100N および HN35080100N)

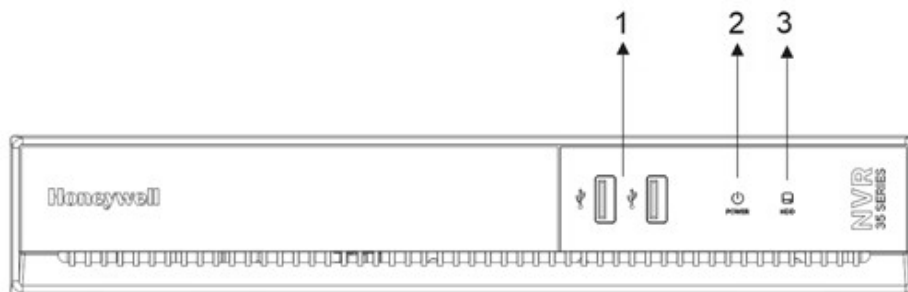


表 4 NVR 前面パネルの説明 (HN35040100N および HN35080100N)

No.	名前	説明
1	USB ポート	周辺機器 USB 2.0 ストレージデバイス、マウスなどに接続します。
2	電源	電源接続に問題がない場合、ライトが点灯します。
3	HDD	デバイスが録画中のときに、緑色のライトが点滅し、ディスクが動作していない場合は連続点灯します。ディスクがない場合、ライトは消灯します。

図 4 後面パネル (HN35040100N および HN35080100N)

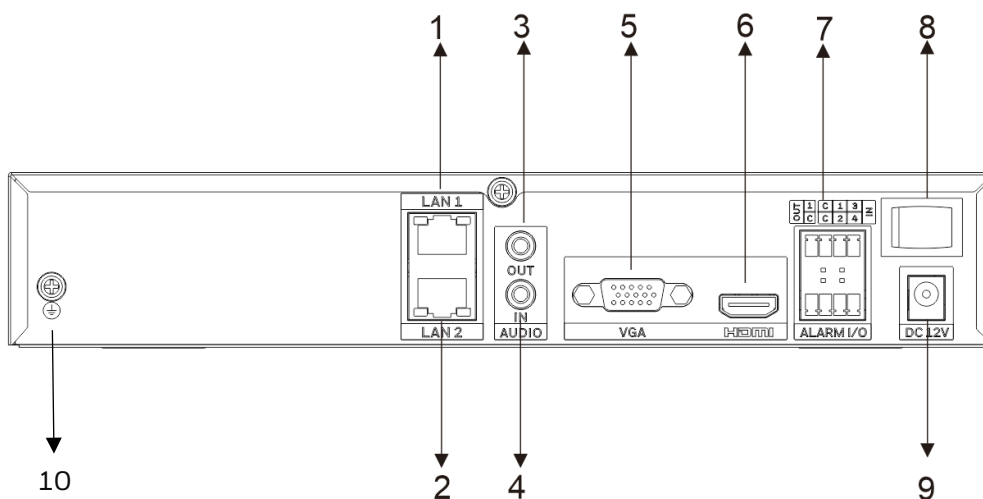



表 5 NVR 後面パネルの説明 (HN35040100N および HN35080100N)

No.	名前	説明
1	LAN1	ネットワークポート。10M/100Mbps 自己適応型イーサネットポート。ネットワークケーブルに接続します。
2	LAN2	ネットワークケーブルに接続します。LAN2 ポートはカメラの接続のみが許可されていて、インターネットには接続できません。
3	オーディオ出力	オーディオ出力ポートです。アナログオーディオ信号をサウンドボックスなどのデバイスに出力します。 <ul style="list-style-type: none"> • 双方向通話出力。 • ワンウィンドウ動画モニターでのオーディオ出力です。 ワンウィンドウ動画再生でのオーディオ出力です。
4	音声入力	双方向トーク入力ポート。マイク、ピックアップなどの機器から出力されるアナログ音声信号を受信します。
5	VGA	VGA ビデオ出力ポートです。アナログビデオ信号を出力します。アナログビデオを見るためにモニターに接続できます。
6	HDMI	高解像度のオーディオおよびビデオ信号出力ポートです。非圧縮高解像度ビデオとマルチチャンネルデータをディスプレイデバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
7	アラーム I/O	外部アラームソースから信号を受信します。C は、COM ポートです。アラーム入力のチャンネルが 1 つ、アラーム出力のチャンネルが 4 つあります。 アラーム入力デバイスが外部電源を使用している場合は、デバイスと NVR の GND が同じであることを確認してください。
8	電源スイッチ	電源オン/オフボタン。
9	電源入力ポート	電源ソケット。
10		GND

HN350802xx

図 5 前面パネル (HN350802xx)

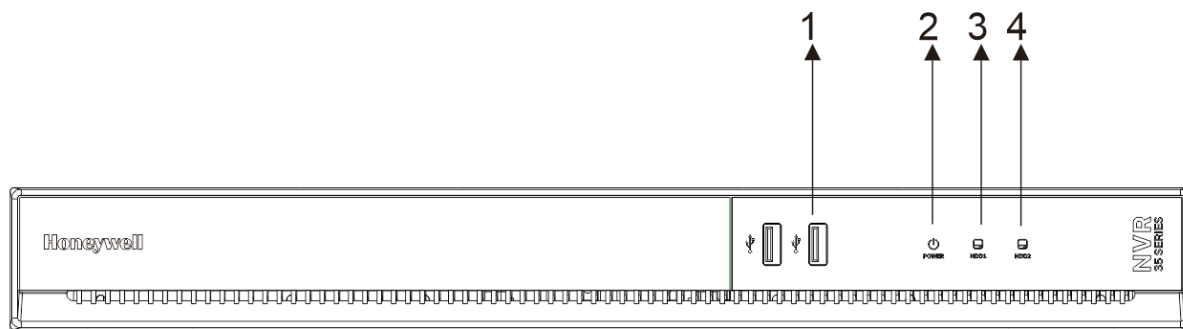


表 6 NVR 前面パネルの説明 (HN350802xx)

No.	名前	説明
1	USB ポート	周辺機器 USB 2.0 ストレージデバイス、マウスなどに接続します。
2	電源	電源接続に問題がない場合、ライトが点灯します。
3-4	HDD1/HDD2	デバイスが録画中のときに、緑色のライトが点滅し、ディスクが動作していない場合は連続点灯します。ディスクがない場合、ライトは消灯します。

図 6 後面パネル (HN350802xx)

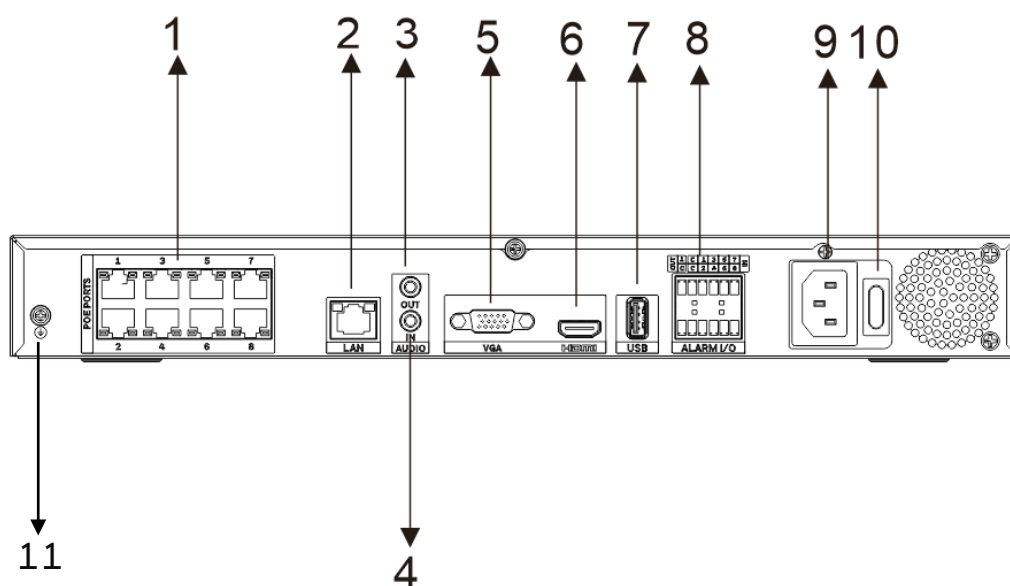



表 7 NVR 後面パネルの説明 (HN350802xx)

No.	名前	説明
1	PoE ポート	内蔵スイッチ。PoE 機能をサポートします。 PoE シリーズ製品では、このポートを使用してネットワークカメラに電力を供給できます。
2	ネットワークポート	10M/100Mbps 自己適応型イーサネットポート。ネットワークケーブルに接続します。
3	オーディオ出力	オーディオ出力ポートです。アナログオーディオ信号をサウンドボックスなどのデバイスに出力します。 <ul style="list-style-type: none"> • 双方向通話出力。 • ワンウィンドウ動画モニターでのオーディオ出力です。 ワンウィンドウ動画再生でのオーディオ出力です。
4	音声入力	双方向トーク入力ポート。マイク、ピックアップなどの機器から出力されるアナログ音声信号を受信します。
5	VGA	VGA ビデオ出力ポートです。アナログビデオ信号を出力します。アナログビデオを見るためにモニターに接続できます。
6	HDMI	高解像度のオーディオおよびビデオ信号出力ポートです。非圧縮高解像度ビデオとマルチチャンネルデータをディスプレイデバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
7	USB ポート	USB ポート。マウス、USB ストレージデバイスなどに接続します。
8	アラーム I/O	外部アラームソースから信号を受信します。C は、COM ポートです。アラーム入力のチャンネルが 1 つ、アラーム出力のチャンネルが 8 つあります。 アラーム入力デバイスが外部電源を使用している場合は、デバイスと NVR の GND が同じであることを確認してください。
9	電源入力ポート	電源ソケット。
10	電源スイッチ	電源オン/オフボタン。
11		GND

HN351602xx

図 7 前面パネル (HN351602xx)



表 8 NVR 前面パネルの説明 (HN351602xx)

No.	名前	説明
1	USB ポート	周辺機器 USB 2.0 ストレージデバイス、マウスなどに接続します。
2	電源	電源接続に問題がない場合、ライトが点灯します。
3-4	HDD1/HDD2	デバイスが録画中のときに、緑色のライトが点滅し、ディスクが動作していない場合は連続点灯します。ディスクがない場合、ライトは消灯します。

図 8 後面パネル (HN351602xx)

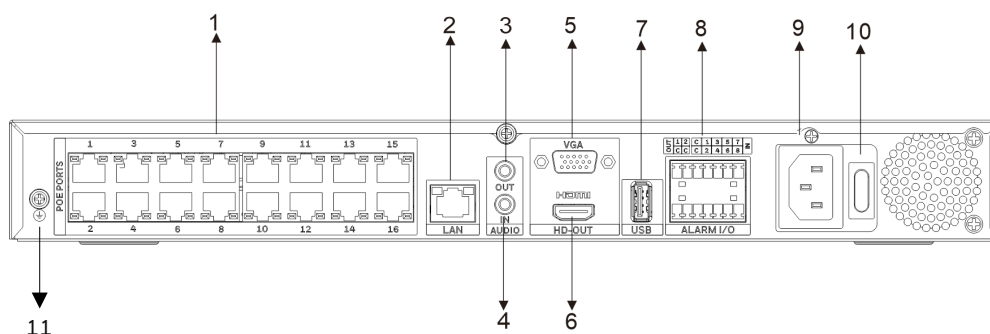



表 9 NVR 後面パネルの説明 (HN351602xx)

No.	名前	説明
1	PoE ポート	内蔵スイッチ。PoE 機能をサポートします。 PoE シリーズ製品では、このポートを使用してネットワークカメラに電力を供給できます。
2	ネットワークポート	100M/1000Mbps 自己適応型イーサネットポート。ネットワークケーブルに接続します。

No.	名前	説明
3	オーディオ出力	オーディオ出力ポートです。アナログオーディオ信号をサウンドボックスなどのデバイスに出力します。 <ul style="list-style-type: none"> • 双方向通話出力。 • ワンウィンドウ動画モニターでのオーディオ出力です。 ワンウィンドウ動画再生でのオーディオ出力です。
4	音声入力	双方向トーク入力ポート。マイク、ピックアップなどの機器から出力されるアナログ音声信号を受信します。
5	VGA	VGA ビデオ出力ポートです。アナログビデオ信号を出力します。アナログビデオを見るためにモニターに接続できます。
6	HDMI	高解像度のオーディオおよびビデオ信号出力ポートです。非圧縮高解像度ビデオとマルチチャンネルデータをディスプレイデバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
7	USB ポート	USB ポート。マウス、USB ストレージデバイスなどに接続します。
8	アラーム I/O	外部アラームソースから信号を受信します。C は、COM ポートです。アラーム入力のチャンネルが 1 つ、アラーム出力のチャンネルが 8 つあります。 アラーム入力デバイスが外部電源を使用している場合は、デバイスと NVR の GND が同じであることを確認してください。
9	電源入力ポート	電源ソケット。
10	電源スイッチ	電源オン/オフボタン。
11		GND

HN35160200N

図 9 前面パネル (HN35160200N)



表 10 NVR 前面パネルの説明 (HN35160200N)

No.	名前	説明
1	USB ポート	周辺機器 USB 2.0 ストレージデバイス、マウスなどに接続します。
2	電源	電源接続に問題がない場合、ライトが点灯します。
3-4	HDD1/HDD2	デバイスが録画中のときに、緑色のライトが点滅し、ディスクが動作していない場合は連続点灯します。ディスクがない場合、ライトは消灯します。

図 10 後面パネル (HN35160200N)

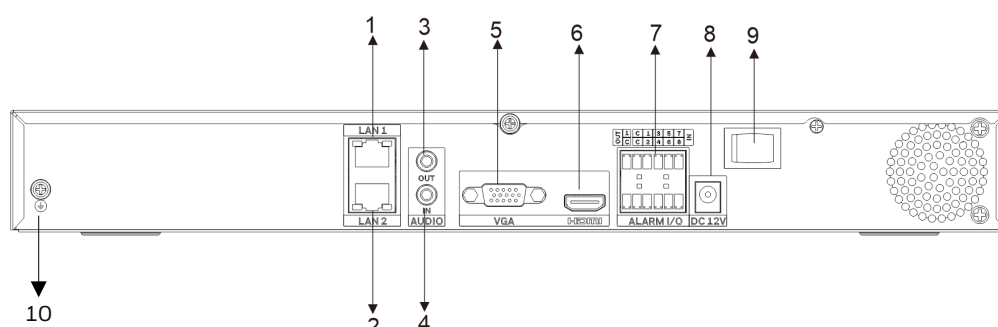



表 11 NVR 後面パネルの説明 (HN35160200N)


No.	名前	説明
1	LAN1	ネットワークポート。10M/100Mbps 自己適応型イーサネットポート。ネットワークケーブルに接続します。

No.	名前	説明
2	LAN2	ネットワークケーブルに接続します。LAN2 ポートはカメラの接続のみが許可されていて、インターネットには接続できません。
3	オーディオ出力	オーディオ出力ポートです。アナログオーディオ信号をサウンドボックスなどのデバイスに出力します。 <ul style="list-style-type: none"> • 双方向通話出力。 • ワンウィンドウ動画モニターでのオーディオ出力です。 ワンウィンドウ動画再生でのオーディオ出力です。
4	音声入力	双方向トーク入力ポート。マイク、ピックアップなどの機器から出力されるアナログ音声信号を受信します。
5	VGA	VGA ビデオ出力ポートです。アナログビデオ信号を出力します。アナログビデオを見るためにモニターに接続できます。
6	HDMI	高解像度のオーディオおよびビデオ信号出力ポートです。非圧縮高解像度ビデオとマルチチャンネルデータをディスプレイデバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
7	アラーム I/O	外部アラームソースから信号を受信します。C は、COM ポートです。アラーム入力のチャンネルが 1 つ、アラーム出力のチャンネルが 8 つあります。 アラーム入力デバイスが外部電源を使用している場合は、デバイスと NVR の GND が同じであることを確認してください。
8	電源入力ポート	電源ソケット。
9	電源スイッチ	電源オン/オフボタン。
10		GND

マウスの操作

マウスの操作手順については、以下のシートを参照してください。

表 12 マウスの操作手順

操作	説明
マウスの左クリック	メニュー項目を1つ選択する際、マウスを左クリックしてメニューの内容を表示します。
	チェックボックスまたはモーション検出ステータスを変更します。
	コンボボックスをクリックして、ドロップダウンリストをポップアップ表示します。
	入力ボックスで、入力方法を選択できます。パネルの対応するボタンを左クリックすると、英数字（小文字/大文字）を入力できます。[] はスペースボタンを表し、[←] は前の文字を削除することを表します。[⇧] は大文字/小文字、特殊文字を切り替えます（図を参照）。
	
マウスの左ダブルクリック	ファイルリスト内の1つの項目をダブルクリックしてビデオを再生するなど、特別なコントロール操作を実行します。
	マルチウィンドウモードでは、1つのチャンネルを左ダブルクリックすると、フルウィンドウで表示されます。 現在表示しているビデオをもう一度左ダブルクリックすると、前のマルチウィンドウモードに戻ります。
マウスの右クリック	リアルタイムモニターモードでは、ホームメニューに戻ります。
	変更を保存せずに現在のメニューを終了します。
中央ボタンのスライド	言語の切り替えなど、チェックボックスの項目を切り替えます。
	カメラの追加など、ページアップまたはページダウンします。

操作	説明
マウスの移動	現在のコントロールを選択するか、コントロールを移動します。
マウスの ドラッグ	モーション検出ゾーン/インテリジェント解析ゾーンを選択します。
	手動でスケジュールを選択します。
	プライバシーマスクゾーンを選択します。

章 2

お使いになる前に

この章は以下の項で構成されています。

- [NVR の開梱、17 ページ](#)
- [外部デバイスの接続、18 ページ](#)
- [NVR の起動と終了、22 ページ](#)
- [デバイスの初期化、24 ページ](#)
- [パスワードのリセット、31 ページ](#)
- [双方向通話、34 ページ](#)

NVR の開梱

NVR を設定する前に、梱包品として次の付属品がすべて入っているか確認してください。

- クイック インストール ガイド
- クイック証明書インストールガイド
- マウス
- 電源アダプタとケーブル
- 端子ブロックコネクタ (実際の製品が優先されるものとします)。
- ねじ

上記の付属品のいずれかが不足または損傷している場合は、すぐに Honeywell 販売店にご連絡ください。

外部デバイスの接続

1. カメラを接続します

カメラから PoE ポート（NVR の PoE ポートのサポートが必要）またはルーターへネットワークケーブルを接続します。

注記： ルーターは、直接 PoE ポートに接続できません。

2. モニターを接続します

VGA ケーブル（別売）を VGA インターフェースへ、または HDMI ケーブル（別売）を HDMI インターフェースに接続します。もう片方の端をモニターに接続します（テレビは使用しないでください）。VGA と HDMI の同時出力がサポートされています。

3. マウスを接続します

付属の USB マウスを USB 2.0 インターフェースに接続します。

4. イーサネットケーブルを接続します

付属の CAT5e イーサネットケーブルをネットワークポートに接続します。もう片方の端をネットワークのルーターに接続します。

5. オーディオデバイスを接続します（該当する場合）

オーディオを録音するには、オーディオ音源を AUDIO IN[オーディオ入力]コネクタに接続します。オーディオを再生するには、オーディオ出力デバイス（低インピーダンスのヘッドフォン、スピーカー、またはアンプ）を AUDIO OUT [オーディオ出力]コネクタに接続します。

6. アラームデバイスを接続します（該当する場合）

アラームデバイスをアラーム入出力インターフェースに接続します。アラーム入力が外部電源を使用する場合、アラームデバイスのアースは NVR と同じにする必要があります。

7. PTZ カメラを接続します（該当する場合）

組み込み型 NVR は、ネットワーク経由で PTZ カメラと通信します。カメラがネットワークに正しく接続されていることを確認してください。

8. 電源ケーブルを接続します

付属の 12VDC 電源アダプタ（モデルによって異なります（DC12V（3A） / DC52V / AC220V）実際の製品を参照してください）を電源入力に接続します。UPS（無停電電源装置）の使用が強く推奨されます。

デバイスの接続

次の図は、一般的な NVR の接続を示しています。

図 11 デバイスの接続（HN350401xx）

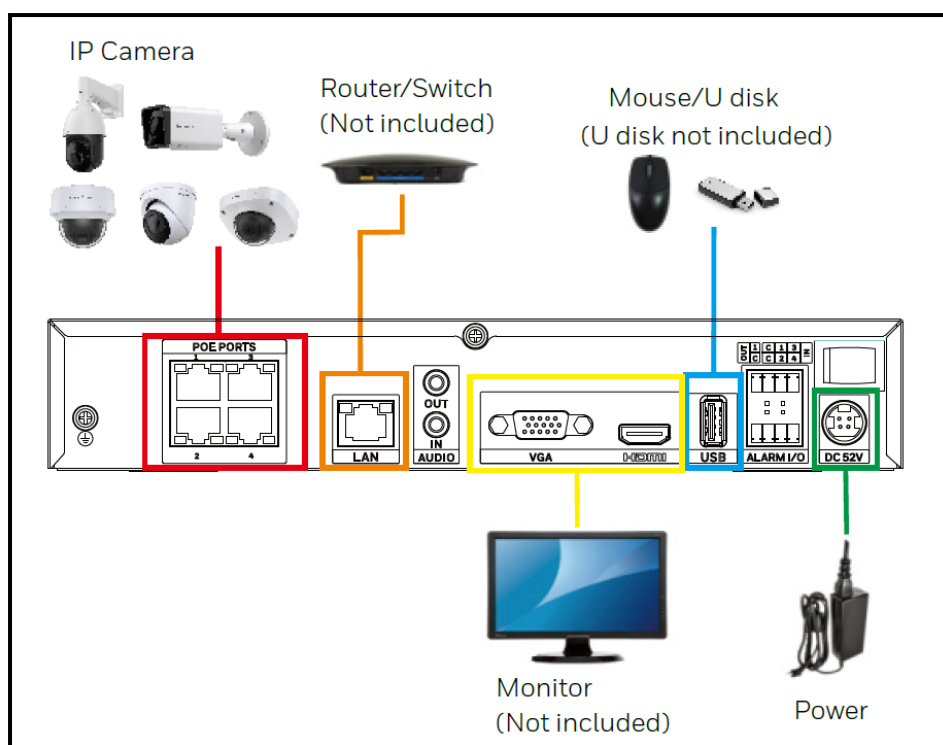


図 12 デバイスの接続 (HN35040100N/HN35080100N)

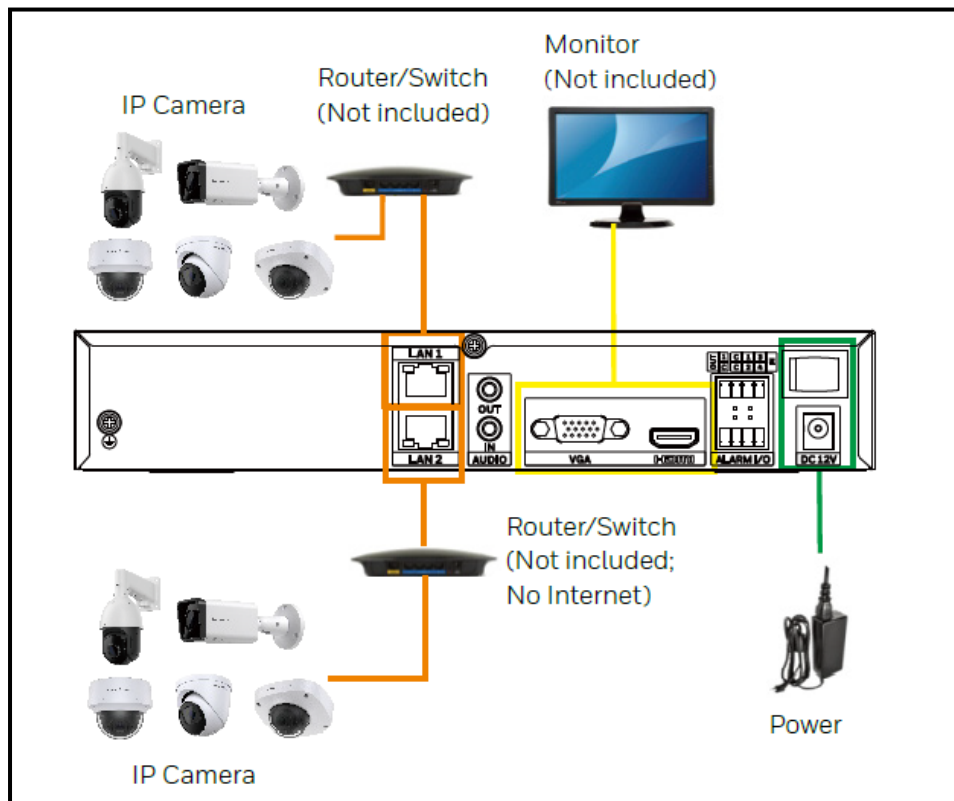


図 13 デバイスの接続 (HN350802xx)

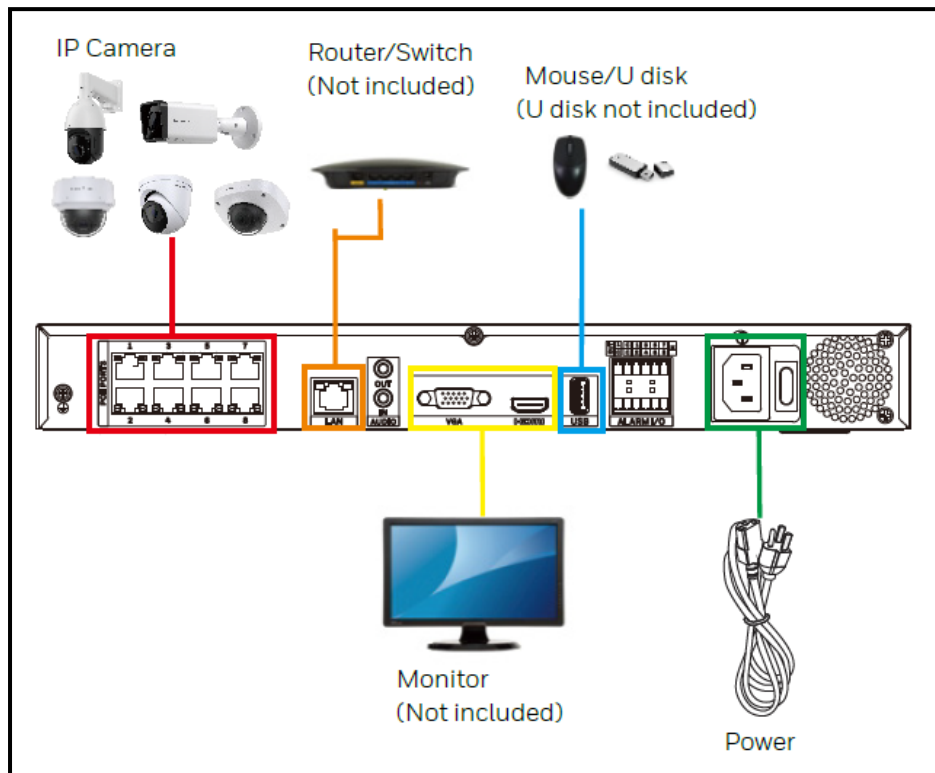


図 14 デバイスの接続 (HN351602xx)

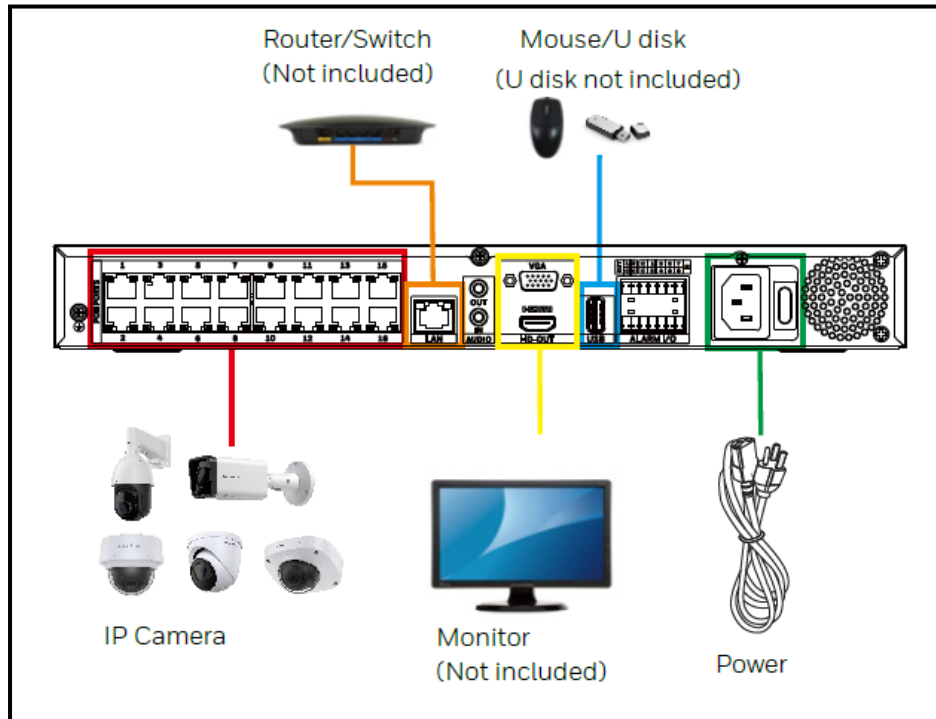
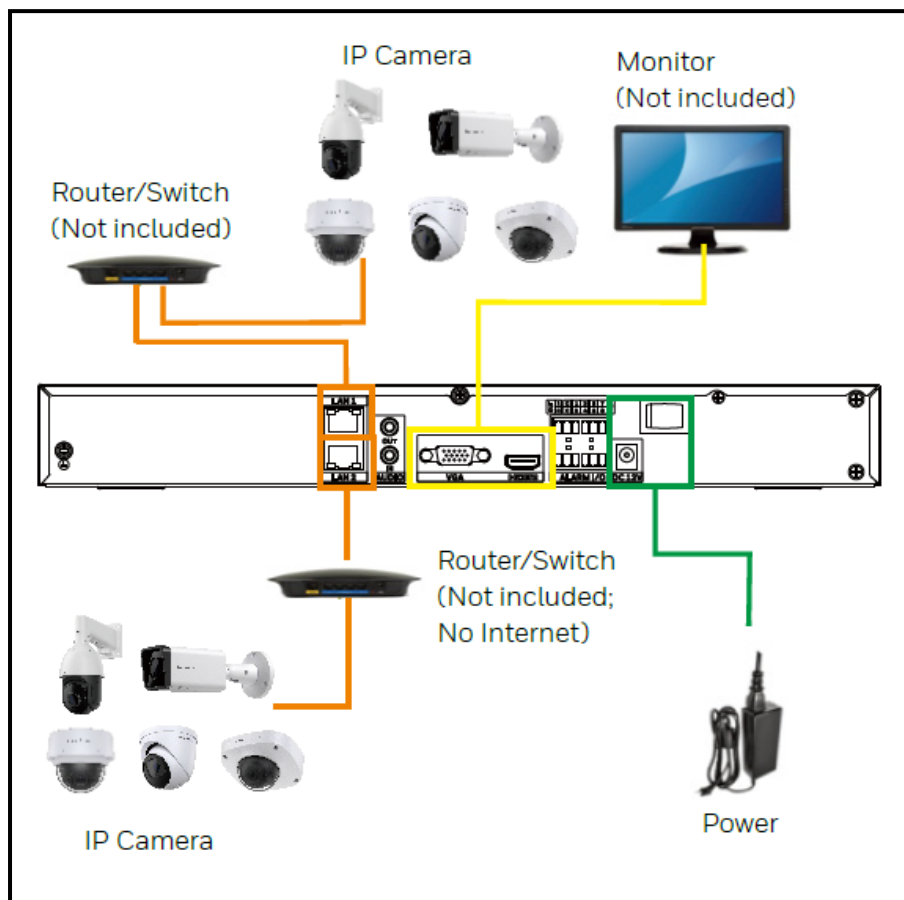


図 15 デバイスの接続 (HN35160200N)



NVR の起動と終了

NVR の起動


1. NVR が適切な電源に接続されていることを確認します。
2. 後面パネルの電源スイッチをオンにして NVR を起動します。

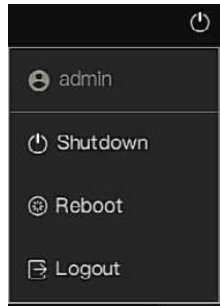
注記： 起動時のブザー音は正常です。

NVR の終了

注記： NVR をシャットダウンするには、管理者ユーザーとしてログインするか、シャットダウン権限が割り当てられている必要があります。

ハードドライブの損傷を防ぐには、次の手順で NVR をシャットダウンします。

1. ライブビューモードで、画面上の任意の場所を右クリックして Main Menu [メインメニュー]を表示します。ライブビューページ下部のホームメニューのアイコンをクリックして、Main Menu [メインメニュー]ページを表示します。
2. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Maintenance [メンテナンス]に移動し、Shutdown [シャットダウン]をクリックします。
または、右上隅の  をクリックして、Shutdown [シャットダウン]をクリックします。



3. Shutdown [シャットダウン]ウィンドウで、OK をクリックします。

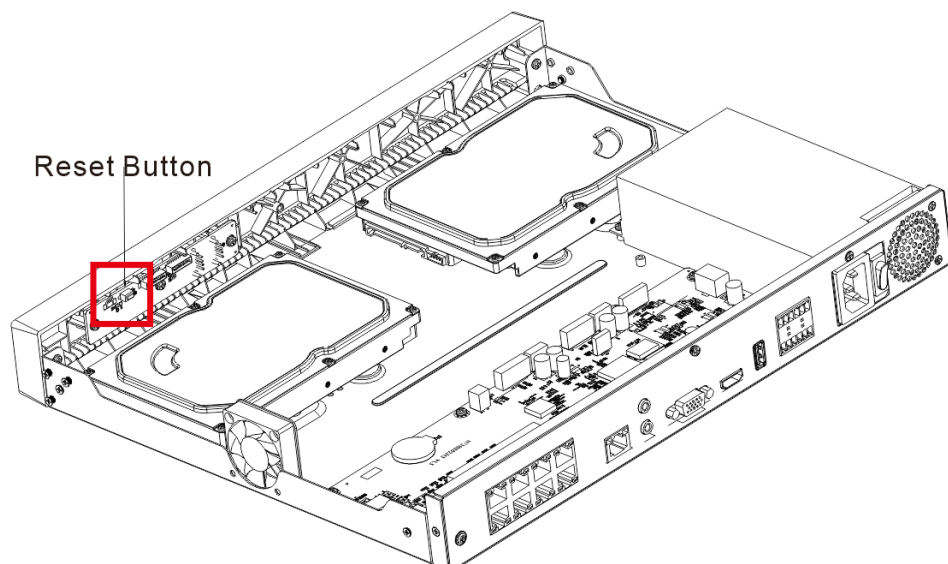
リセット ボタン

ライト PCB ボードのリセットボタンを使用して、デバイスを工場出荷時のデフォルト設定にリセットできます。

1. デバイスの電源を切断してから、カバーパネルを取り外します。
2. ライト PCB ボードのリセットボタンを確認します。
3. デバイスを再度電源に接続し、リセットボタンを 5～10 秒間長押しします。

デバイスは自動的に再起動します。

図 16 リセットボタン



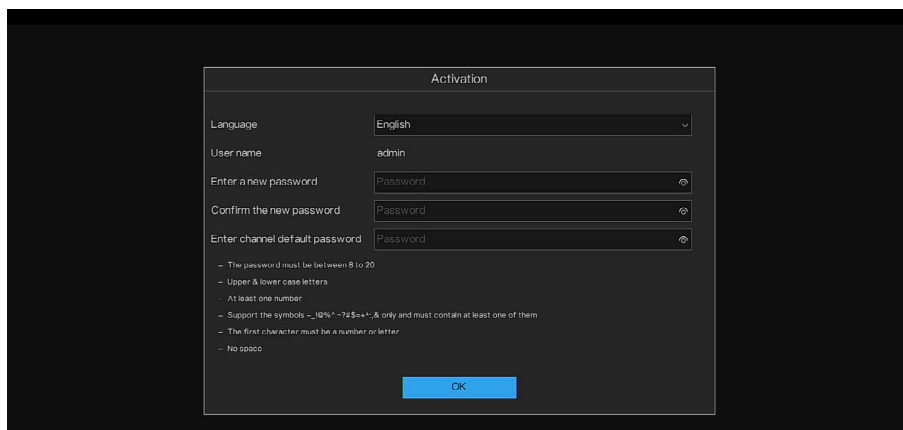
デバイスを再起動すると、設定が工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。
パスワードのリセットを開始できます。

デバイスの初期化

- 初めてデバイスを使用する場合は、管理者（システムのデフォルトユーザー）のログインパスワードとチャンネルのデフォルトのパスワードを設定します。必要に応じて、ロック解除パターンを使用してログインできます。
- パスワードをリカバリする質問を入力します。多くの質問があり、質問を3つ選択できます。
- デバイスを安全に使用するために、初期化手順の後にも管理者のログインパスワードを保持して、パスワードを定期的に変更してください。

1. NVR をアクティブにします。

図 17 デバイスの有効化



2. パスワードをリカバリする質問に答えます。パスワードを忘れた場合は、設定の質問に答えてパスワードをリセットするページを表示します。

質問を設定しない場合は、手順をスキップして Forget Password [パスワードを忘れた場合]のボタンを表示しないようにできます。Honeywell は、パスワードを忘れたときのために質問を設定することをお勧めします。

注記：

図 18 質問 (パスワードのリカバリ)

Question (Recovery The Password)

Question one: What was your childhood nickname? ✓

Question one answer: [Input field]

Question two: In what city or town was your first job? ✓

Question two answer: [Input field]

Question three: What is your best friend's birthday month and year? ✓

Question three answer: [Input field]

- Please enter at least 1 characters for the answer
- Please enter up to 32 characters for the answer

SKIP THIS STEP OK

3. Unlock Pattern [ロック解除パターン]を設定します。

図 19 ロック解除パターンの設定

Unlock Pattern

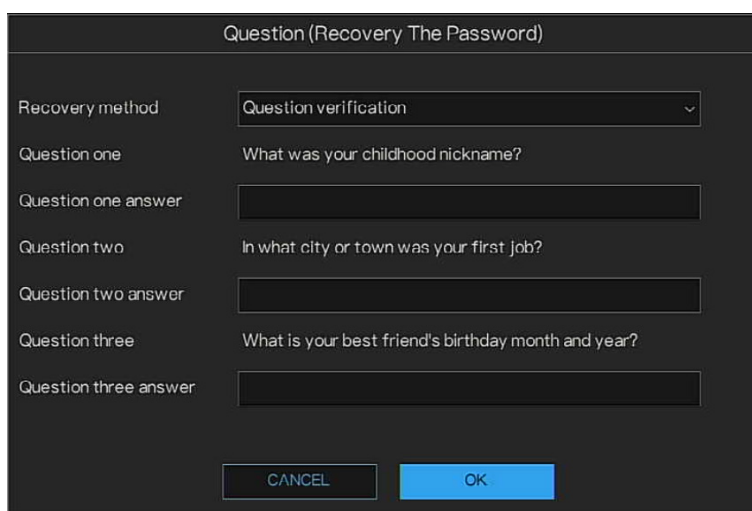
Please draw a pattern

REDRAW SKIP THIS STEP OK

Question (Recovery Password) [質問 (パスワードのリカバリ)]を設定した後に、Unlock Pattern [ロック解除パターン]インターフェースが表示されます。

- ロック解除パターンを設定しない場合は、SKIP THIS STEP [この手順をスキップ]をクリックします。
- ロック解除パターンを設定すると、デフォルトのログイン方法としてロック解除パターンが必要になります。この設定をスキップした場合は、ログイン用のパスワードを入力します。

図 20 パスワードのリカバリ



Question (Recovery The Password)

Recovery method: Question verification

Question one: What was your childhood nickname?

Question one answer: [Input field]

Question two: In what city or town was your first job?

Question two answer: [Input field]

Question three: What is your best friend's birthday month and year?

Question three answer: [Input field]

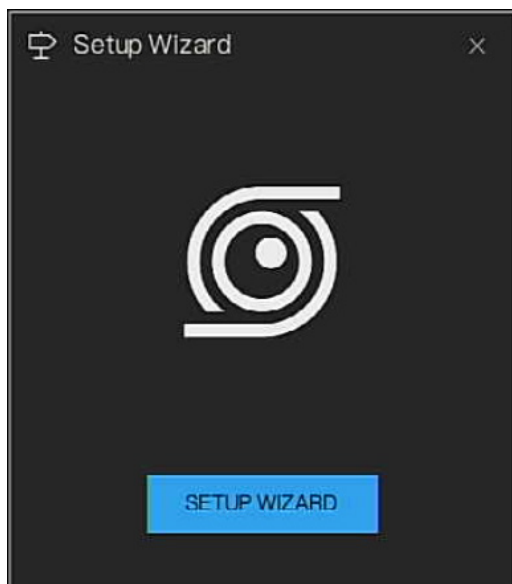
CANCEL OK

3つの質問に正しく答えると、パスワードのリセット画面を表示できます。

デバイスウィザード

デバイスの初期化の後、セットアップウィザードが開きます。

図 21 スタートアップウィザード



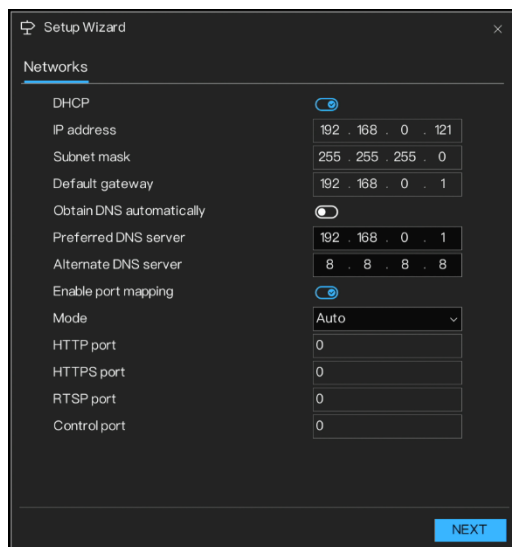
ウィザードでは下記が可能です。

- ネットワーク設定の構成
- 日付と時刻、タイムゾーンDSTの構成

- P2Pの設定
- IPカメラの検索と追加
- ディスクマネージャーの設定
- 解像度の設定

1. Setup Wizard [セットアップウィザード]ウィンドウの SETUP WIZARD [セットアップウィザード]をクリックします。Network [ネットワーク] ページの実際の環境に合わせて Network [ネットワーク]を設定し、Next [次へ]をクリックします。

図 22 ネットワーク



2. 実際の環境に合わせて Date and Time [日付と時刻]、Time Zone [タイムゾーン]、DST を設定し、Next [次へ]をクリックします。

図 23 セットアップウィザード - 日付と時刻

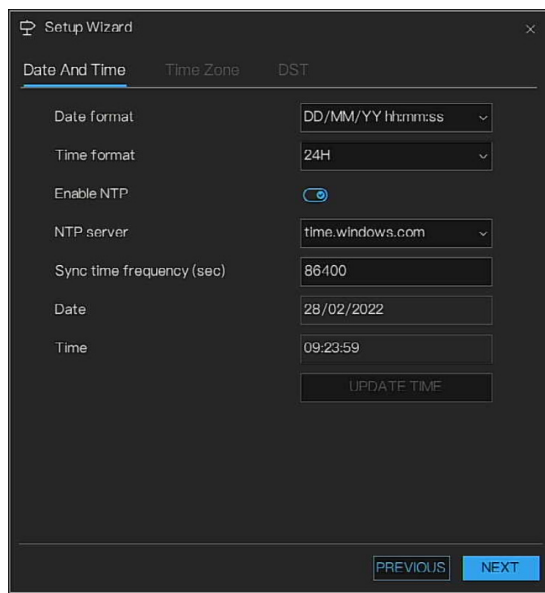


図 24 セットアップウィザード - タイムゾーン

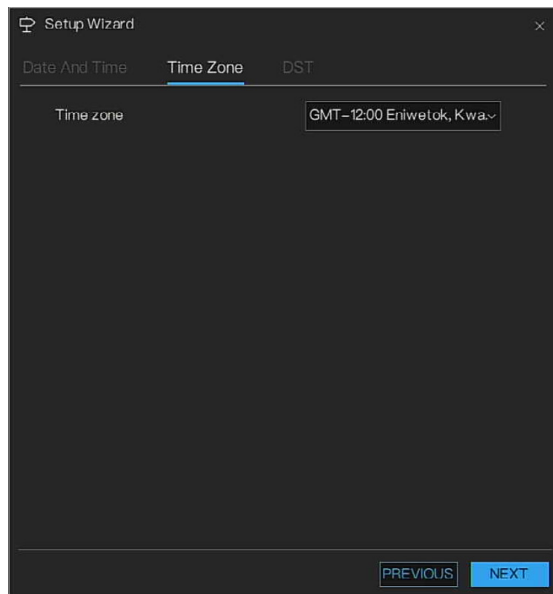
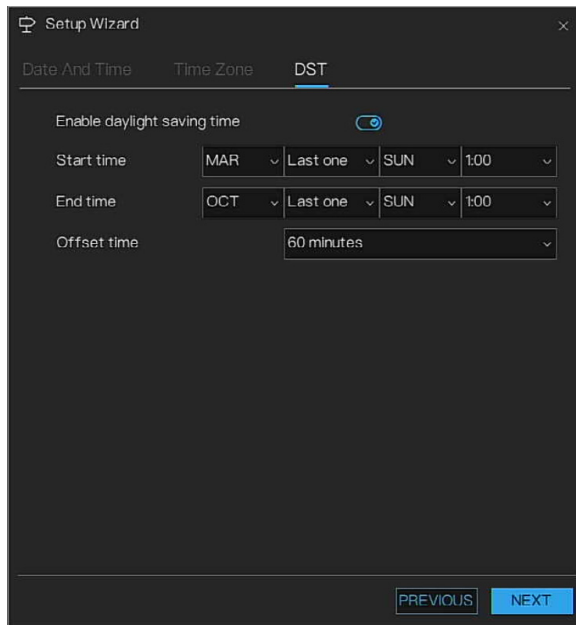
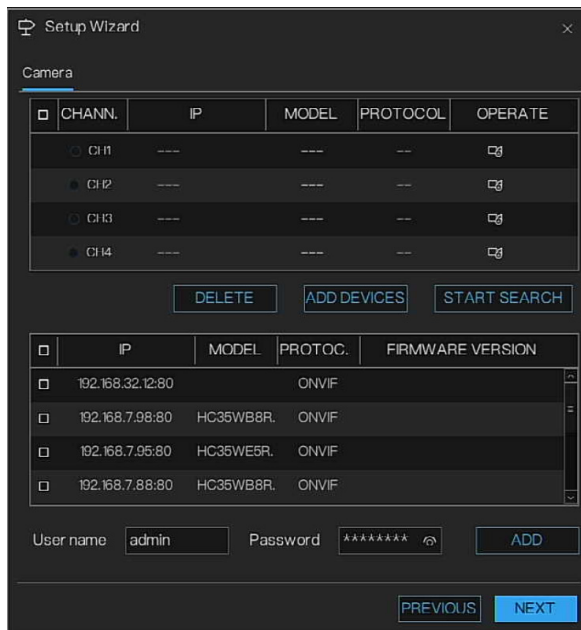


図 25 セットアップウィザード - DST



3. Camera [カメラ]の情報を設定します。

図 26 セットアップウィザード - カメラ

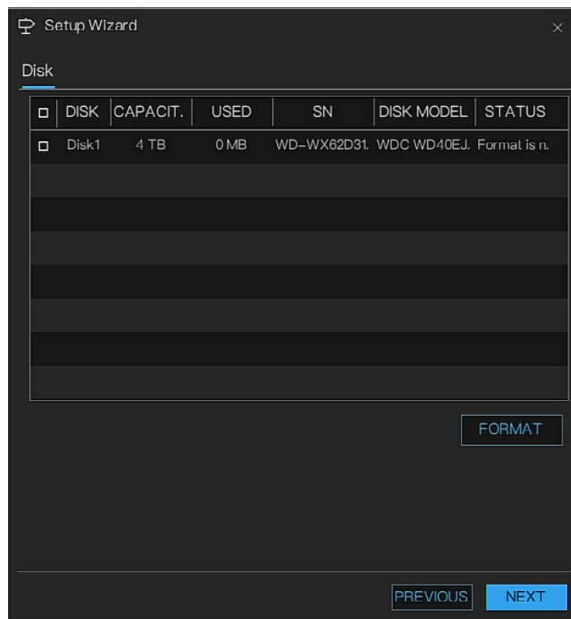


カメラがプラグアンドプレイでNVRに接続されている場合は、NEXT [次へ]を直接クリックします。

または、STRAT SEARCH [検索開始]をクリックしてカメラを検索します。検索したカメラを選択し、ユーザー名とパスワードを入力して、カメラを追加します。NEXT [次へ]をクリックします。

4. ディスクをフォーマットします。

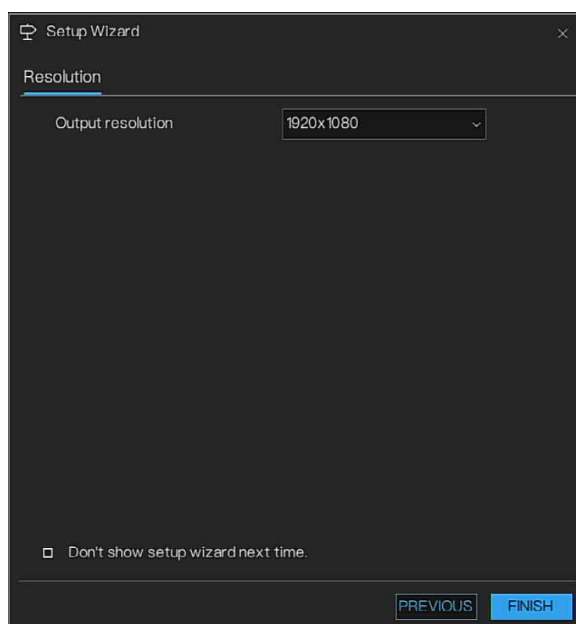
図 27 セットアップウィザード - ディスク



5. NEXT [次へ]をクリックします。NVR がオンラインの場合、P2P 情報が表示されます。P2P UUID をスキャンすることによって、NVR を HSV に追加できます。

6. NEXT [次へ]をクリックします。Resolution [解像度]を設定します。

図 28 セットアップウィザード - 解像度



NVR のライブビューインターフェースの直接の表示をオンにする場合は、
注記： Don't show setup wizard next time [次回はセットアップウィザードを表示しない]のチェックボックスをオンにします。

7. FINISH [終了]をクリックして設定を保存します。

パスワードのリセット

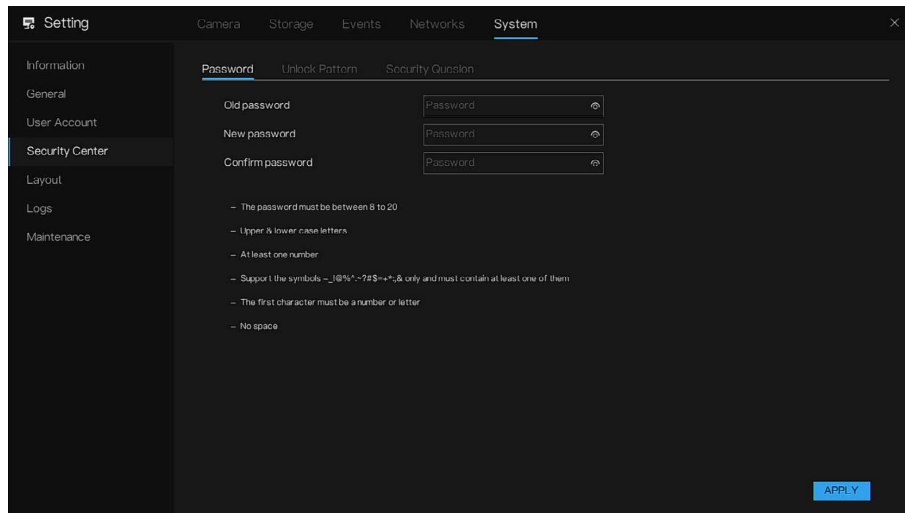
管理者パスワードを忘れた場合、セキュリティ保護のための質問に答えることでパスワードをリセットできます。

セキュリティ保護のための質問に答えてパスワードをリセットするには、
注記： 前にパスワードリセット機能を設定する必要があります。[デバイスの初期化](#)
または[セキュリティ質問](#)を参照してください。

パスワードリセット機能の有効化

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Security Center [セキュリティセンター] > Password [パスワード]の順に移動します。
パスワードリセットインターフェースが表示されます。

図 29 パスワードのリセット

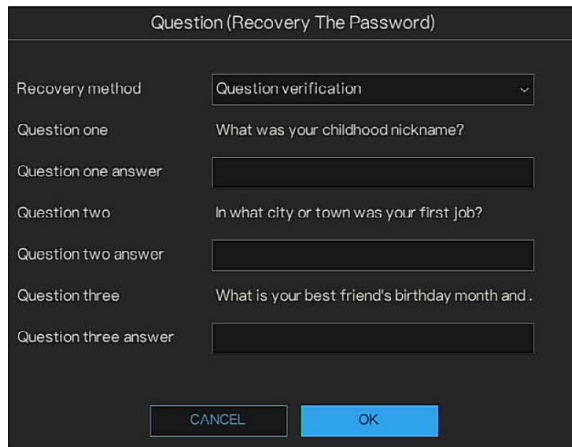


2. 古いパスワードを入力して新しいパスワードを作成し、確認します。
3. APPLY [適用]をクリックすると、この設定が適用されます。

ローカルインターフェースでのパスワードのリセット

1. Login [ログイン]インターフェースを表示します。
 - ロック解除パターンを設定している場合は、ロック解除パターンログインインターフェースが表示されます。Password [パスワード]をクリックすると、パスワードログインインターフェースが表示されます。
 - ロック解除パターンを設定しなかった場合は、パスワードログインインターフェースが表示されます。
2. Forgot Password [パスワードを忘れた]をクリックします。ページの指示に従って、パラメータを設定します。

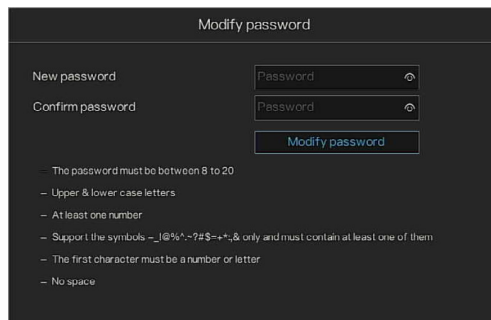
図 30 パスワードリセット 1



3. 新しいパスワードを設定します。

New Password [新しいパスワード]ボックスに新しいパスワードを入力し、Confirm Password [パスワードの確認]ボックスにもう一度入力します。

図 31 パスワードリセット 2



4. Modify password [パスワードの変更]をクリックします。パスワードのリセットが完了しました。

ホームページ


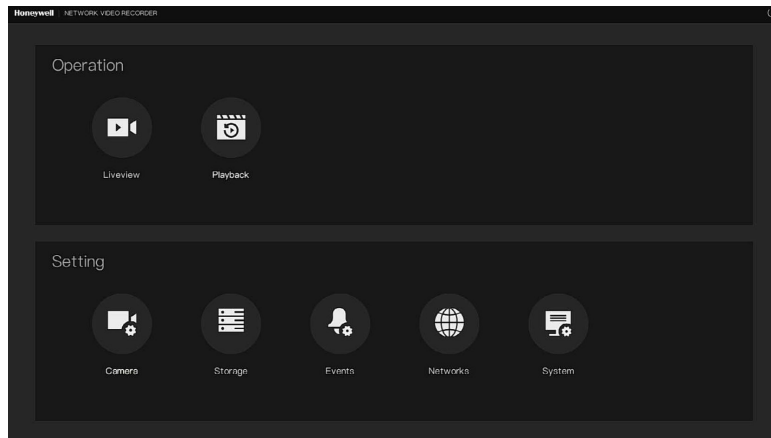
ライブページで  をクリックしてホームページを表示するか、右クリックして直接ホームページを表示します。

図 32 アラームステータス



双方向通話

デバイスエンドから IPC へ

デバイスの後面パネルにある最初のオーディオ入力ポートに、スピーカーまたはピックアップを接続してください。その後、IPC のオーディオ出力ポートにイヤホンまたはサウンドボックスを接続します。

ライブビデオを左クリックしてクイックメニューを表示します。

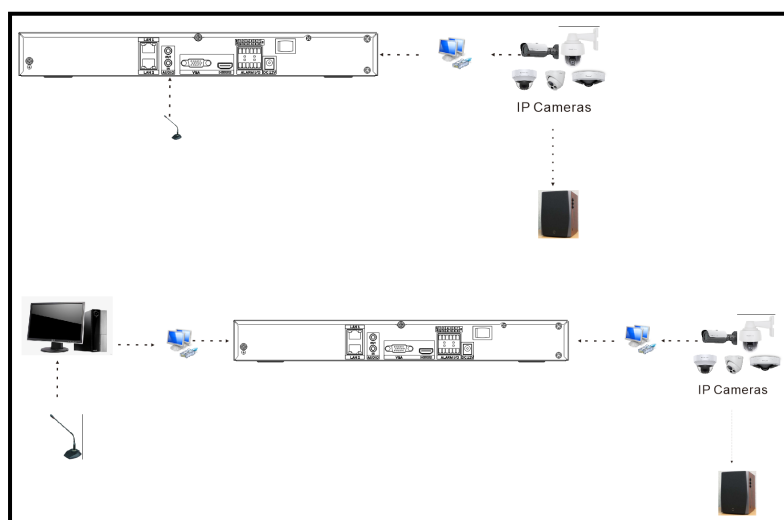
図 33 双方向通話を有効にする



双方向通話を有効にするには、次のインターフェースを参照してください。

デバイスエンドでスピーカーまたはピックアップで話すと、IPC エンドのイヤホンまたはサウンドボックスから音声を聞き取れます。

図 34 デバイスから IPC へ



IPC エンドからデバイスエンドへ

デバイスの接続

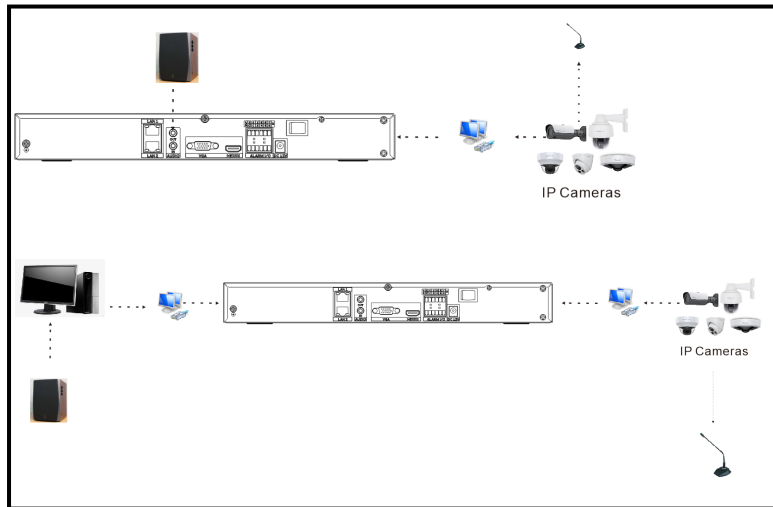
スピーカーまたはピックアップを IPC のオーディオ出力ポートに接続し、イヤホンまたはサウンドボックスをデバイスの後面パネルの最初のオーディオ入力ポートに接続します。

Web にログインしてから、対応するチャンネルのリアルタイムモニターを有効にします。

リスニング操作

IPC エンドでスピーカーまたはピックアップで話すと、デバイスエンドのイヤホンまたはサウンドボックスから音声を聞き取れます。

図 35 IPC からデバイスへ



章 3

ローカル基本操作

注記： お使いのユーザーインターフェースでは若干異なる場合があります。以下の図はあくまでも参考用です。

この章は以下の項で構成されています。

- [カメラの構成](#)、ページ 37
- [ストレージ設定の構成](#)、ページ 49
- [イベント設定の構成](#)、ページ 59
- [ネットワーク設定の構成](#)、ページ 80
- [システム設定の構成](#)、ページ 97
- [ライブビュー設定の構成](#)、ページ 118
- [再生](#)、ページ 126

カメラの構成

カメラ

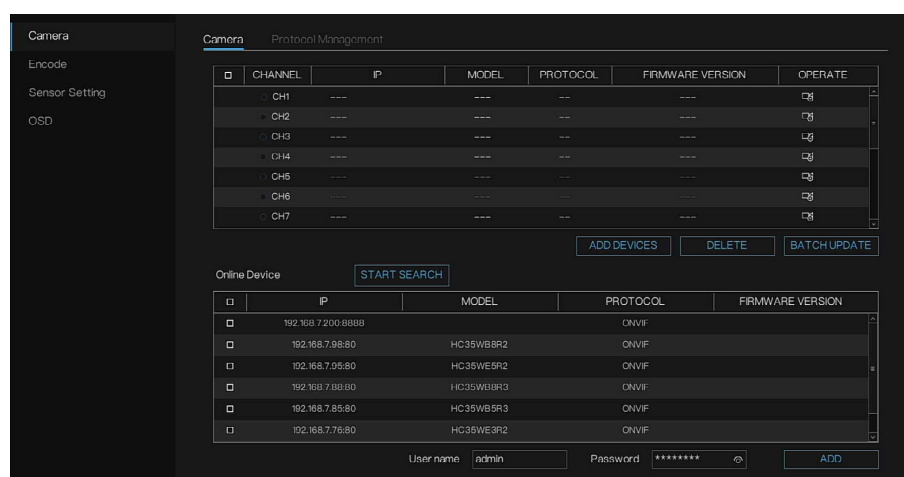
カメラの追加

PoE ポートを経由して NVR にカメラを接続したときは、NVR によって自動的にカメラが初期化されます。NVR は、新しいカメラ用に新しいパスワードを

アクティブにして作成できます。パスワードは作成したチャンネルパスワードと同じです（[図 17 デバイスの有効化](#) NVR にリモートデバイスを追加することで、NVR でビデオを表示して、ビデオファイルを管理および保存できます）。異なるシリーズの製品では、サポートされるリモートデバイスの容量が異なります。

1. Main Menu [メインメニュー] > Camera [カメラ] > Camera [カメラ]の順に移動します。

図 36 カメラの追加



2. カメラを追加します。

- a. START SEARCH [検索の開始]をクリックします。

検出されたデバイスが上部のペインに表示されます。すでに追加しているデバイスは、検索結果に表示されません。

- b. ADD DEVICES [デバイスの追加]をクリックして、オンラインデバイスリストに直接カメラを登録します。

注記: 追加するカメラの数は、NVR の能力を満たす必要があります。カメラが能力を超えている場合、チャンネルは追加されません。

30/60 シリーズの IP カメラは、直接 PoE ポートに接続できません。IP カメラの Web インターフェースでのパスワードの設定が必要であり、パスワードは NVR のチャンネルパスワードと同じである必要があります。

PoE カメラは、いったん追加されると NVR UI インターフェースで手動により削除できません。PoE ネットワークケーブルを外して削除できます。

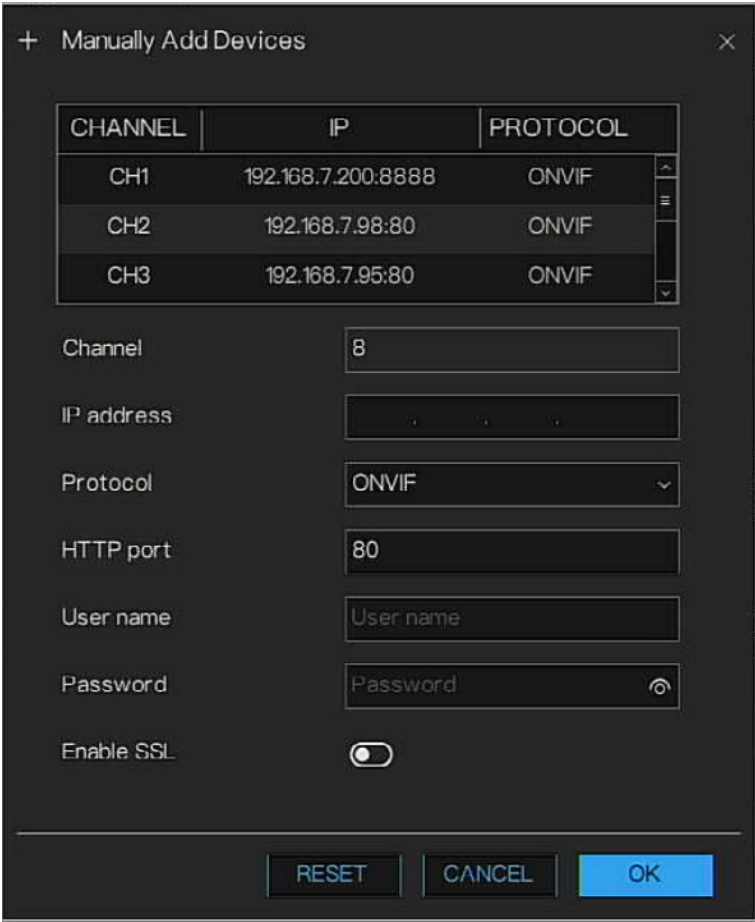
- c. カメラを選択して Add [追加]をクリックし、Channel [チャンネル]リストに追加します。

手動でのデバイスの追加

- a. Channel [チャンネル]リストで  をクリックします。

Manually Add Devices [デバイスの手動追加]インターフェースが表示されます。

図 37 手動でのデバイスの追加



CHANNEL	IP	PROTOCOL
CH1	192.168.7.200:8888	ONVIF
CH2	192.168.7.98:80	ONVIF
CH3	192.168.7.95:80	ONVIF

Channel:

IP address:

Protocol:

HTTP port:

User name:

Password:

Enable SSL:

RESET CANCEL OK

- b. パラメータを設定します。



表 13 リモートチャンネルのパラメータ


パラメータ	説明
Channel [チャンネル]	-
IP address [IP アドレス]	IP address [IP アドレス]ボックスに、リモートデバイスの IP アドレスを入力します。 ユーザーは、追加したチャンネルをクリックしてチャンネル情報をコピーし、リモートチャンネルなどの情報を変更できます。
Protocol [プロトコル]	ONVIF /RTSP1-16
RTSP Port [RTSP ポート]	このデフォルトの設定値は、554 です。実際の状況に応じて値を選択できます。
HTTP Port [HTTP ポート]	このデフォルトの設定値は、80 です。実際の状況に応じて値を入力できます。 たとえば、他の値「70」を入力した場合は、ブラウザでデバイスにログインする際に、IP アドレスの後に「70」を入力する必要があります。
User Name [ユーザー名]	リモートデバイスのユーザー名を入力します。
Password [パスワード]	リモートデバイスのユーザーのパスワードを入力します。
Remote CH No. [リモート CH 番号]	追加するリモートデバイスのリモートチャンネル番号を入力します。
Enable SSL [SSL の有効化]	ONVIF プロトコルを使用してリモートデバイスを追加する場合、SSL チェックボックスをオンにすると、送信されるデータが暗号化保護されます。 この機能を使用するには、リモート IP カメラで HTTPS 機能を有効にする必要があります。

注記： ドロップダウンリストからプロトコルを選択し、プロトコルをプロトコル管理インターフェースで設定します。カメラはプロトコルに準拠している必要があります。

c. OK をクリックします。

リモートデバイス情報が、Added Device [追加したデバイス]リストに表示されます。

リモートデバイス情報は、をクリックして変更できます。リモートデバイスを削除するには、をクリックします。

チャンネルウィンドウでをクリックして、ライブビューインターフェースにカメラを追加することもできます。

UI のローカル更新

接続しているネットワークカメラのファームウェアを更新できます。


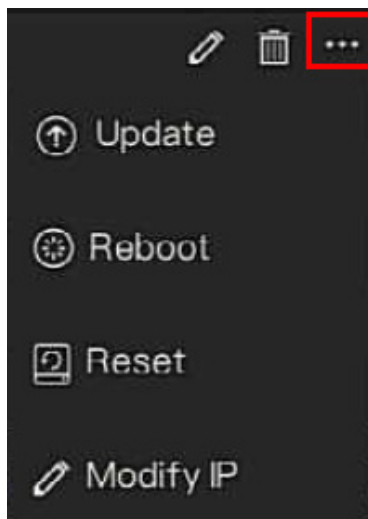
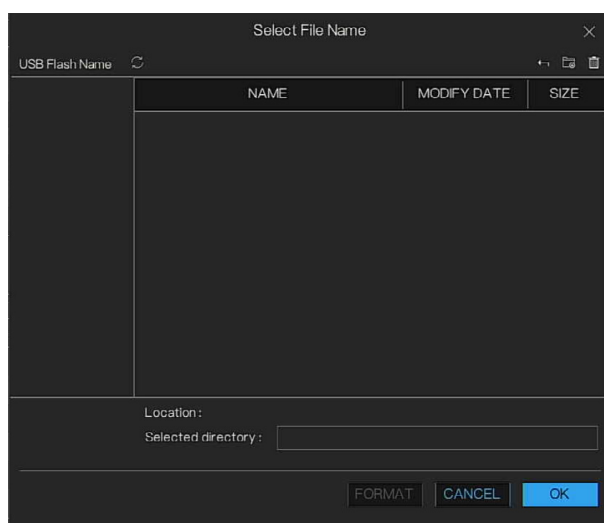
1. カメラのファームウェアの USB ディスクをプラグインします。
2. Main Menu [メインメニュー] > Camera [カメラ] > Camera [カメラ]の順に移動します。カメラがオンラインのときに、をクリックします。

図 38 インターフェースの更新



3. 接続しているカメラのファームウェアを更新します。
 - a. ポップアップインターフェースで更新ファイルを選択します。

図 39 ファイルの選択




- b. 更新ファイルを選択してから、OK をクリックします。

操作が正常に完了すると、システムプロンプトが更新されましたダイアログボックスが表示されます。

同じモデルのカメラの数が多すぎる場合は、必要に応じてカメラを選択して **BATCH UPDATE [一括更新]** をクリックします。ポップアップインターフェースでファームウェアファイルを選択します。

カメラをリモートで更新するときに、Web で NVR にアクセスできれば、リモートポートでカメラを更新できます。

PoE ポート以外で NVR にカメラを接続しているときは、チャンネルリストでカメラを選択し、**DELETE [削除]** をクリックして、カメラを一括で削除します。または、 をクリックして、選択したカメラを削除します。NVR の PoE ポートによって追加したカメラは、ここでは削除できません。

オンラインチャンネルの操作


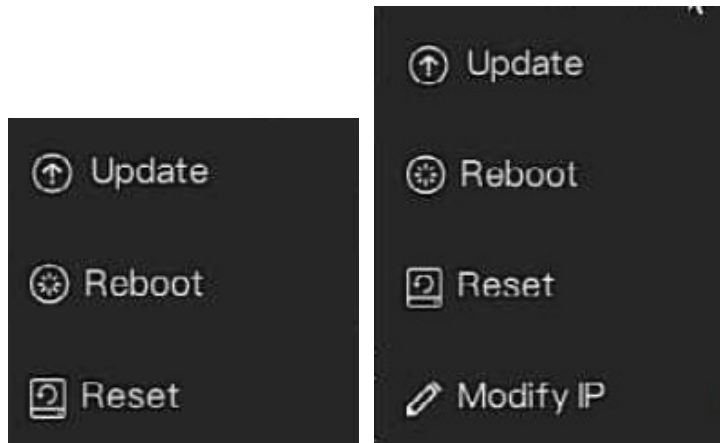
1. Main Menu [メインメニュー] > Camera [カメラ] > Camera [カメラ]の順に移動します。カメラがオンラインのときに、 をクリックします。
2. Update [更新]/Reboot [再起動]/Reset [リセット] をクリックして、カメラを構成します。リモートネットワークで追加したカメラの場合、Modify IP [IP の修正] をクリックして IP インフォメーションを設定できます。

図 40 オンラインチャンネルの操作



- Update [更新]をクリックして、カメラの情報を更新します。
- Reboot [再起動]をクリックします。「Are you sure reboot (本当に再起動しますか)」のポップアップウィンドウで、OK をクリックしてカメラを再起動します。
- Reset [リセット]をクリックします。Reserve IP address [IP アドレスの保存]を有効または無効にします。OK をクリックしてカメラを再起動します。
- Modify IP [IP の変更]をクリックします。IP アドレスとサブネットマスクを入力して OK をクリックします。

プロトコル管理

異なるプロトコルのカメラを NVR に追加する場合は、プロトコル管理を設定してカメラを 1 つずつ追加できます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Camera [カメラ] > Camera [カメラ] > Protocol Management [プロトコル管理]の順に移動します。Protocol Management [プロトコル管理]インターフェースが表示されます。

図 41 プロトコル管理

The screenshot shows the 'Protocol Management' configuration page. On the left is a sidebar with menu items: Camera, Encode, Sensor Setting, OSD, and POE Status. The main area is titled 'Protocol Management' and contains the following fields:

- Protocol: RTSP 1 (dropdown menu)
- Protocol name: RTSP 1 (text input)
- Stream type: Main stream, Sub stream
- Protocol type: RTSP (dropdown menu)
- Port: 554 (text input)
- Path: (empty text input)

Below the fields is an example: Example:[Type]://{IP Address}:[Port]/[Path]. At the bottom right is an 'APPLY' button.

2. ドロップダウンリストからカスタムプロトコルを選択します。
3. プロトコル名を入力します。
4. メインストリームとサブストリームを選択します。メインストリームは、全画面のライブビデオに画像が表示されます。サブストリームは、分割画面に画像が表示されます。メインストリームのみを選択すると、分割画面の画像はチャンネルに表示されません。
5. プロトコルの種類を選択します。デフォルト値は RTSP です。IP カメラに応じたポートを入力します。
6. パスを入力します。これはカメラの製造元により異なります。
7. APPLY [適用]をクリックして、設定を保存します。

エンコード

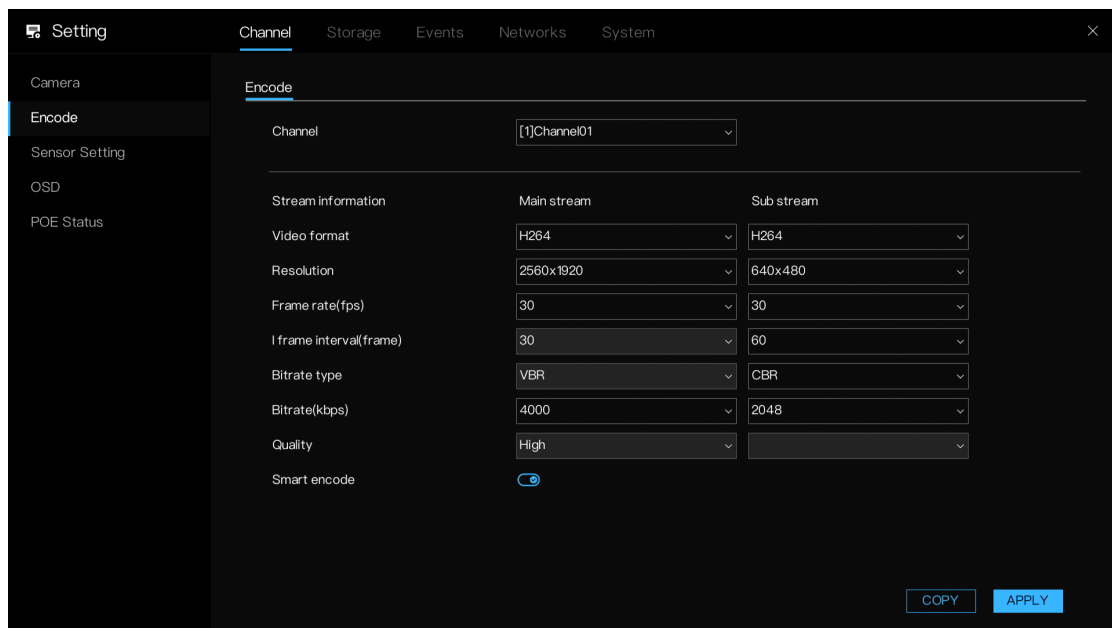
ビデオ形式、解像度、フレームレート (fps) などのビデオビットストリームのパラメータを設定できます。

注記：一部のシリーズ製品では、3つのストリーム（メインストリーム、サブストリーム 1、サブストリーム 2）をサポートしています。サブストリームは最大で 1080p をサポートします。

1. Main Menu [メインメニュー] > Camera [カメラ] > Encode [エンコード]の順に移動します。

Encode [エンコード]インターフェースが表示されます。

図 42 エンコード



2. パラメータを設定します。

表 14 音声/ビデオのパラメータ

パラメータ	説明
Channel [チャンネル]	Channel [チャンネル]リストで、設定を構成するチャンネルを選択します。
Smart encode [スマートエンコード]	スマートエンコード機能を有効にすると、重要でない録画ビデオのビデオビットストリームが減り、ストレージ容量が最大化されます。
Video format [ビデオ形式]	Compression [圧縮]リストで、エンコードモードを選択します。 H.265：メインプロファイルエンコード。この設定をお勧めします。 H.264：メインプロファイルエンコード。
Resolution [解像度]	Resolution [解像度]リストで、ビデオの解像度を選択します。 最大ビデオ解像度は、デバイスのモデルによって異なる場合があります。

パラメータ	説明
Frame rate (fps)[フレームレート (FPS)]	<p>ビデオの 1 秒あたりのフレーム数を設定します。値が大きいほど、画像がより鮮明で滑らかになります。フレームレートは解像度とともに変化します。</p> <p>通常、PAL 形式では、1~25 の値を選択できます。NTSC 形式では、1~30 の値を選択できます。ただし、選択できるフレームレートの実際の範囲は、デバイスの機能によって異なります。</p> <p>NVR は最大 30fps をサポートします。追加するカメラの能力が 30fps を超えている場合は NVR がこれを 30fps に落とします。</p>
I frame interval (frame)[I フレーム間隔 (フレーム)]	2 つのリファレンスフレーム間の間隔。
Bitrate type [ビットレートタイプ]	Bit Rate Type [ビットレートタイプ] リストで、 CBR (固定ビットレート) 、または VBR (可変ビットレート) を選択します。 CBR を選択した場合は、画質は設定できません。 VBR を選択した場合は、画質を設定できます。
Bitrate(kbps) [ビットレート (kbps)]	ビットレートの最大値を示します。値を入力できます。ドロップダウンリストにある最大値より大きい値にはできません (最大値より大きい値は無効)。または、ドロップダウンリストから値を選択できます。
Quality [品質]	<p>この機能は、Bit Rate [ビットレート]リストで VBR を選択した場合に使用できます。</p> <p>値が大きいほど、イメージが良くなります。</p>

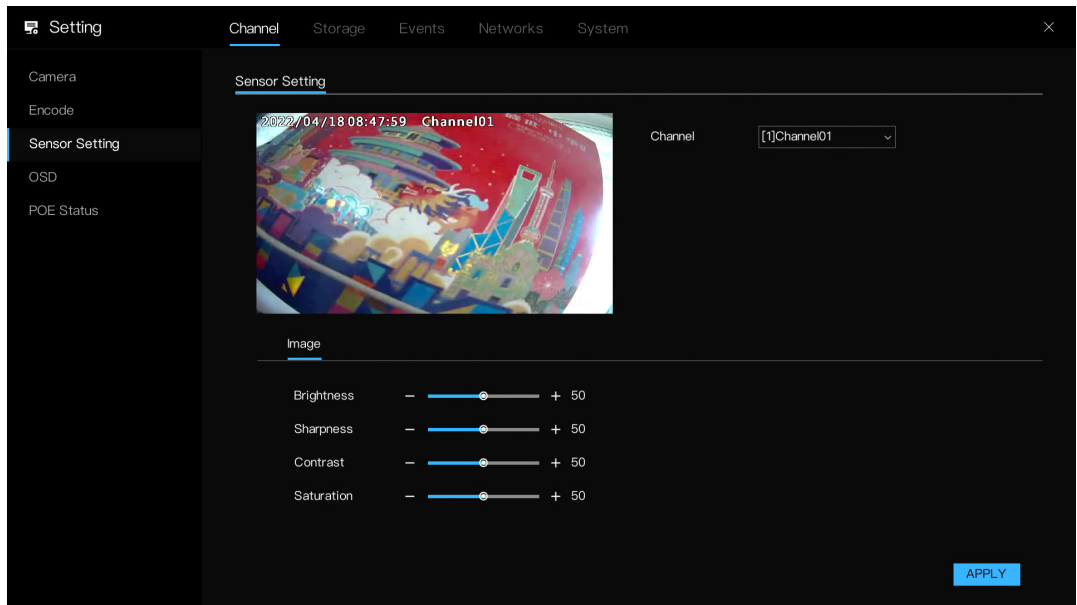
3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

センサー設定

1. Main Menu [メインメニュー] > Camera [カメラ] > Sensor Setting [センサー設定]の順に移動します。

Sensor Setting [センサー設定]インターフェースが表示されます

図 43 画像



2. パラメータを設定します。

注記： ネットワークカメラのシリーズによって、異なるパラメータが表示されます。実際の製品が優先されるものとします。

表 15 画像パラメータ

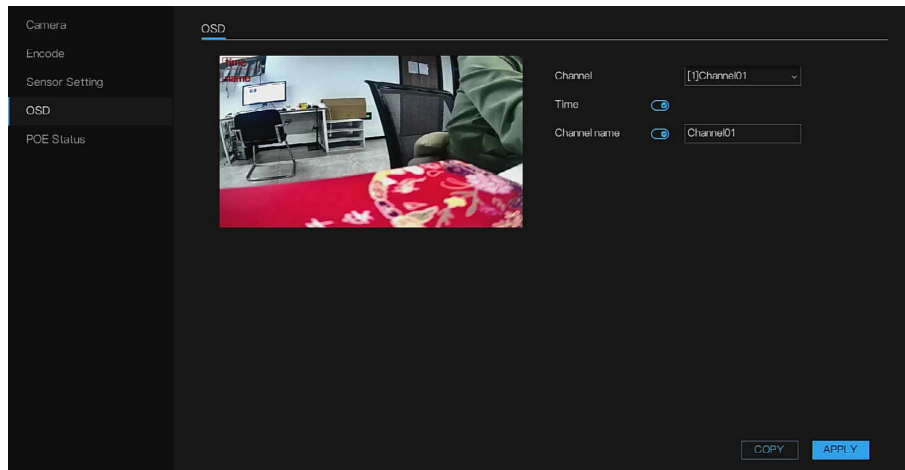
パラメータ	説明
Channel [チャンネル]	Channel [チャンネル]リストで、設定するチャンネルを選択します。
Brightness [輝度]	実際の環境に合わせて輝度を調整します。
Sharpness [鮮明度]	実際の環境に合わせて鮮明度を調整します。
Contrast [コントラスト]	実際の環境に合わせてコントラストを調整します。
Saturation [彩度]	色合いを調整します。値が大きいほど、色が薄くなります。実際の環境に合わせて彩度を調整します。

3. APPLY [適用]をクリックします。

OSD

1. Main menu [メインメニュー] > Camera [カメラ] > OSD の順に移動します。OSD インターフェースが表示されます。

図 44 OSD



2. Channel [チャンネル]リストで、チャンネルを選択して OSD を設定します。
3. Time [時刻]を有効にして表示します。Channel name [チャンネル名]を有効にして表示し、チャンネル名を入力して別の場所のカメラを区別します。
表示ボックスは画面の左上に表示されています。時間（チャンネル）の表示ボックスをクリックしてドラッグし、指定の場所に移動します。

注記： 時刻の表示の形式を変更するには、Main Menu [メインメニュー] > SYSTEM [システム] > General [一般] > Date And Time [日付と時刻]の順に移動して設定します。詳細については、[日付と時刻](#)を参照してください。

チャンネル名は、32 文字以内をサポートしています

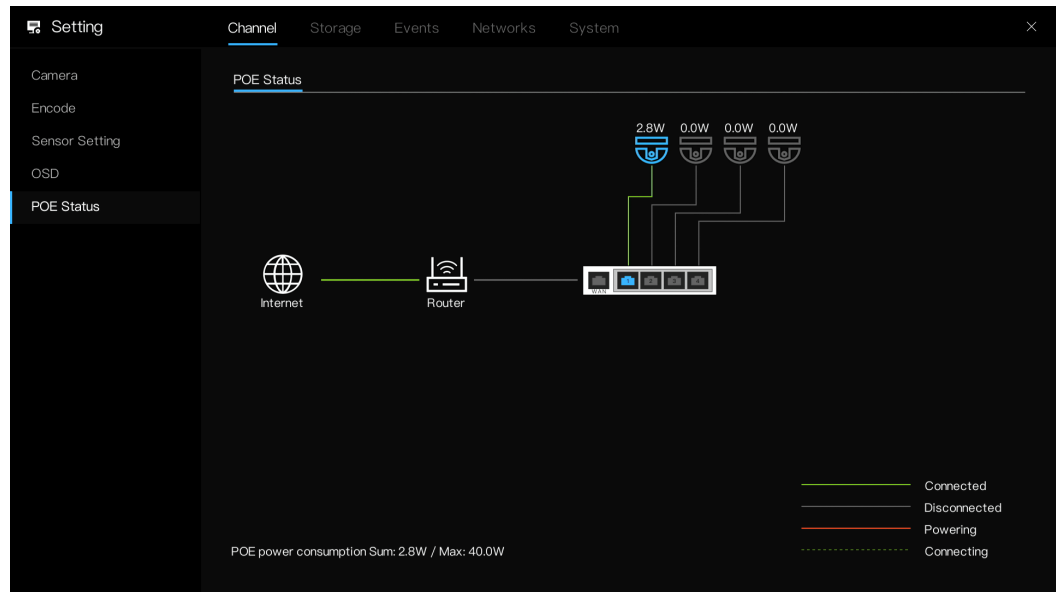
4. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

POE ステータス

この機能は PoE NVR にのみ適用されます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Camera [カメラ] > POE Status [POE ステータス]の順に移動します
2. POE のステータスを確認します。POE Status [POE ステータス]インターフェースが表示されます。

図 45 PoE ステータス



ストレージ設定の構成

ストレージリソース（ストレージモードなど）とストレージ容量を管理できます。使いやすく、ストレージ容量の使用率を向上させることができます。

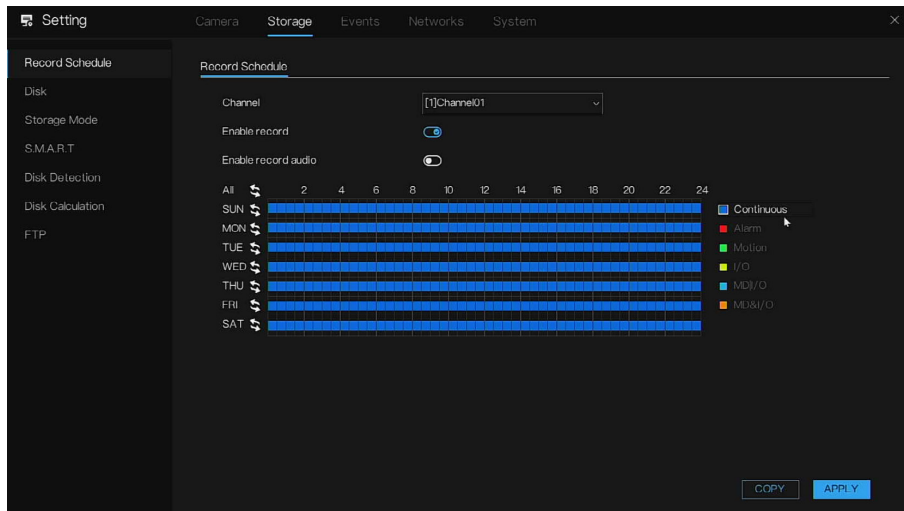
録画スケジュール

録画スケジュールを設定した後、デバイスではここで設定した期間に従ってビデオファイルを録画できます。たとえば、アラーム録画期間を月曜日の 6:00～18:00 にすると、デバイスでは 6:00～18:00 の間にアラームビデオファイルが録画されます。

デフォルトでは、すべてのチャンネルが連続して録画されます。カスタマイズした録画期間と録画タイプを設定できます。

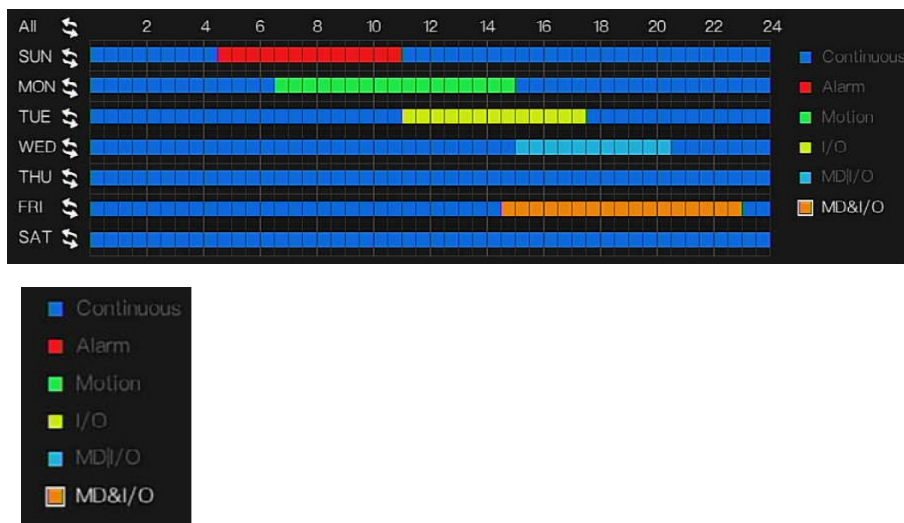
1. Main Menu [メインメニュー] > Storage [ストレージ] > Record Schedule [録画スケジュール]の順に移動します。

図 46 録画スケジュール




2. ドロップダウンリストからチャンネルを選択すると、チャンネルごとに異なる録画プランを設定できます。COPY[コピー]を選択して、他のチャンネルの設定をコピーします。
3. 録画とオーディオの録音を有効にします。録画のスケジュールを設定します。

図 47 録画タイプ



図面で期間を定義します。

- a. 対応する日付を選択して、設定します。
- b. タイムライン上でマウスを左クリックし、ドラッグして期間を定義します。
 - 1 日に 6 つの期間があり、デバイスでは定義された期間に、選択されたイベントタイプの録画が開始されます。描画による期間設定では、さまざまなカラーバーで異なる録画タイプを表しています。

- 青は、連続の録画を表します。
- 赤は、アラーム録画を表します。
- 緑は、モーション録画を表します。
- 黄色は、I/O アラーム録画を表します。
- 水色は、MDI/O（モーション検出または I/O アラーム）録画を表します。
- オレンジ色は、MD&I/O（モーション検出および I/O アラーム）録画を表します。
- 録画タイプを選択し、終日または一週間全体を左クリックして設定するか、をクリックして設定します。しかし、再度左クリックすると、対応する期間がクリアされます。

注記： カラー表示のスケジュールは表示専用です。ディスクの録画はこれらのカラー表示をすることはできません。録画は 3 つのタイプのみになります

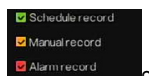
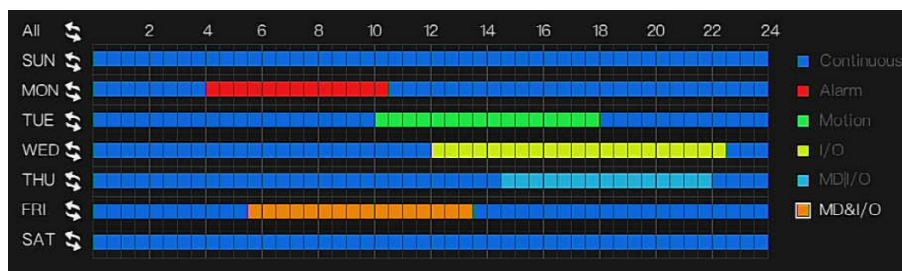




図 48 描画による期間設定



方法 1：マウスの左ボタンを押したままマウスをドラッグして放すと、月曜日から日曜日まで 00:00~24:00 の範囲でアーミング時間が選択されます。

方法 2：録画スケジュールページの  をクリックして、終日または週全体を選択します。

録画スケジュールの削除：  を再度クリック（選択を反転）して選択した録画スケジュールを削除します。

- カーソルをドラッグして時間を選択する場合は、所定の時間領域外にカーソルを動かすことはできません。時間領域外の場合、時間は選択されません。
 - 選択された領域は青くなります。デフォルトは一週間全体です。
 - 録画のアラームタイプは、選択したアラームが設定時刻で発生するときに録画されるかどうかを選択できます。これは、不必要な録画の繰り返しを避けてディスクを効果的に使用する目的です。
 - ANR 機能は、追加の録画機能のあるカメラでのみ使用できます。
 - 録画のアラームは、さまざまに設定できます。
4. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。
- 自動録画機能を有効にして、録画プランを有効にします。詳細については、[ストレージ](#)を参照してください。

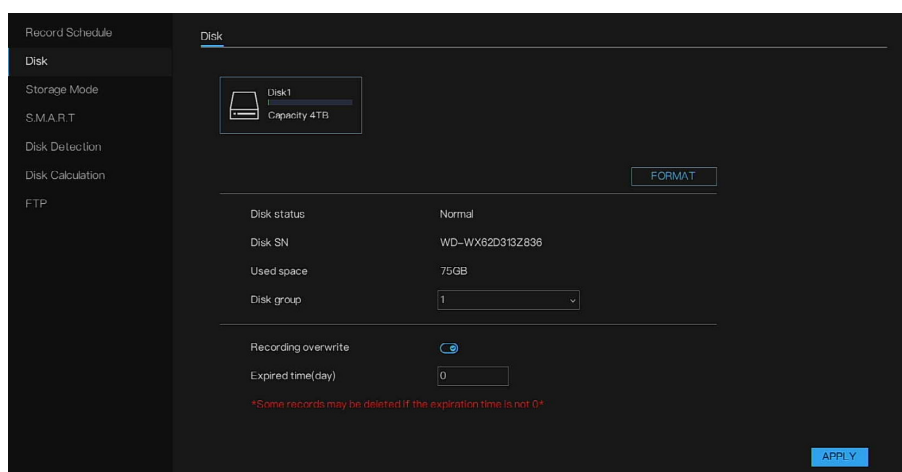
ディスク

HDD のプロパティを表示して設定し、HDD をフォーマットし、現在の HDD タイプ、ステータス、容量などを表示できます。操作には HDD のフォーマット、HDD プロパティの変更(読み取りおよび書き込み/読み取り専用/冗長性)があります。

録画したビデオファイルをバックアップするには、HDD を冗長 HDD として設定します。

1. Main Menu [メインメニュー] > Storage [ストレージ] > Disk [ディスク] の順に移動します。
- Disk [ディスク]インターフェースが表示されます。

図 49 ディスクインターフェース



2. HDD を選択して、ドロップダウンリストのディスクグループを選択します。
3. (オプション) HDD をフォーマットします。
 - a. HDD を選択して、FORMAT [フォーマット] をクリックします。

注記： この操作により、HDD 内のすべてのデータが消去されます。注意して実行してください。HDD をフォーマットすると、データは失われます。

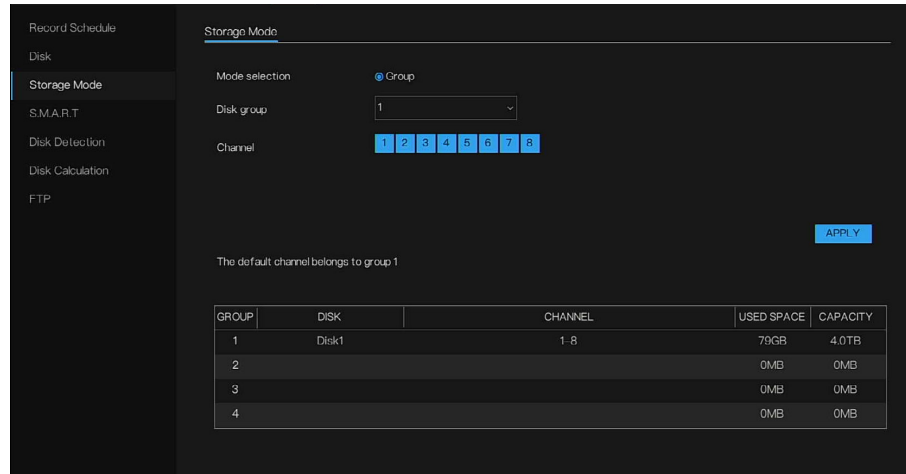
- b. OK をクリックします。
4. Recording overwrite [録画を上書き] が有効なときは、ディスクが一杯になると、上書きされます。
5. Expired time(day) [期限切れ時刻 (日)] を設定していて、期限切れ時刻が 0 でない場合、時間の経過が設定値より長くなると録画が削除されます。
6. APPLY [適用] をクリックして、設定を完了します。

ストレージモード

NVR が複数の HDD にインストールされている場合、HDD を異なるグループで構成できるようになって、異なる HDD で異なるチャンネルを録画できます。そのため、ユーザーは HDD に簡単にアクセスして HDD を効率的に使用できます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Storage [ストレージ] > Storage Mode [ストレージモード]の順に移動します。

図 50 ストレージモード

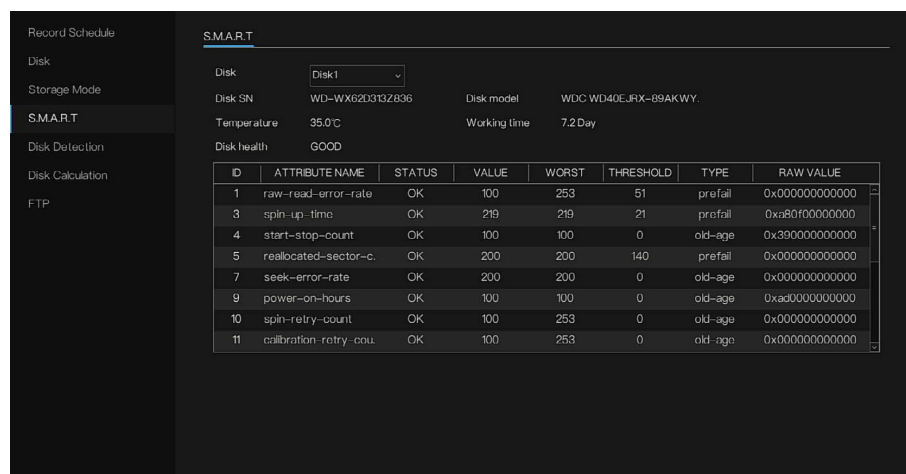


2. Disk group [ディスクグループ]と Channels [チャンネル]を選択します。構成の詳細はリストで示されます。
3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

S.M.A.R.T

S.M.A.R.T は、対応する情報を表示できる自己監視、分析、および報告技術です。データが失われた場合は、故障した HDD を交換してください

図 51 S.M.A.R.T インターフェース



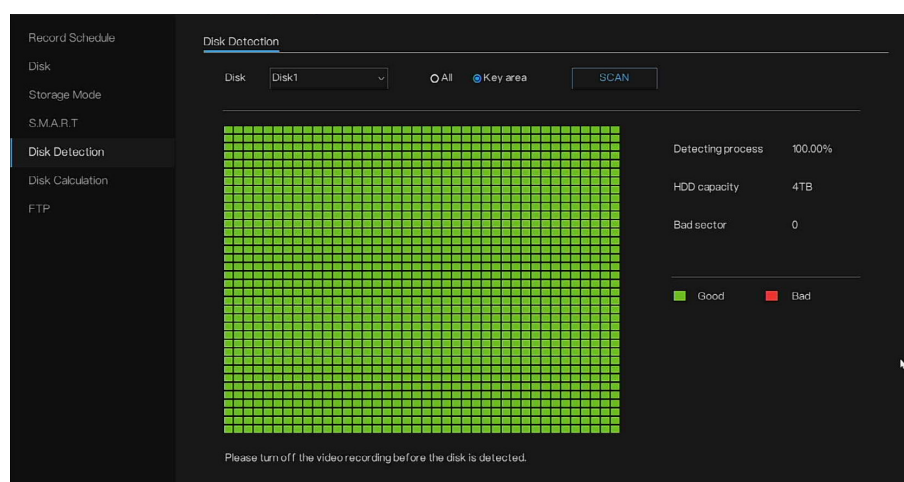
ディスク検出

HDD 検出機能では、HDD の現在のステータスを検出して、HDD のパフォーマンスを明確に把握し、故障した HDD を交換できます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Storage [ストレージ] > Disk Detection [ディスク検出]の順に移動します。

Disk Detection [ディスク検出]インターフェースが表示されます。

図 52 ディスク検出のインターフェース



2. 検出するディスクを選択します。All [すべて]または Key [キー]領域を選択します。All [すべて]の検出は、入念で包括的に検出するので少し時間がかかります。Key [キー]セクションの検出は数分かかります。
3. SCAN [スキャン]をクリックします。

システムによって HDD の検出が開始され、検出情報が表示されます。

- 緑のブロックは成功、赤いブロックは失敗を意味します。赤いブロックが多すぎたりキーセクションにあったりするときは、ディスクをすぐに変更してください。
- ディスクが検出される前に、ビデオ録画の電源を切ってください。そうしないとビデオの録画が失われます。

注記： システムによって HDD が検出されたら、CANCEL [キャンセル] をクリックして現在の検出を停止します。ポップアップウィンドウに「Would you like to stop disk detection? (ディスク検出を停止しますか?)」が表示されたら、OK をクリックして検出を停止します。

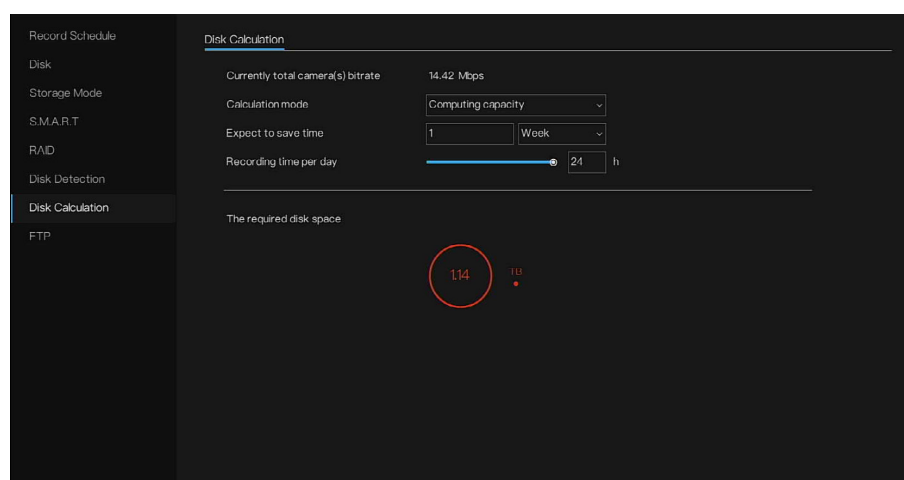
ディスク計算

録画推定機能では、HDD の容量に応じてビデオを録画できる期間を計算でき、また録画期間に応じて必要な HDD の容量を計算できます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Storage [ストレージ] > Disk Calculation [ディスク計算] の順に移動します。

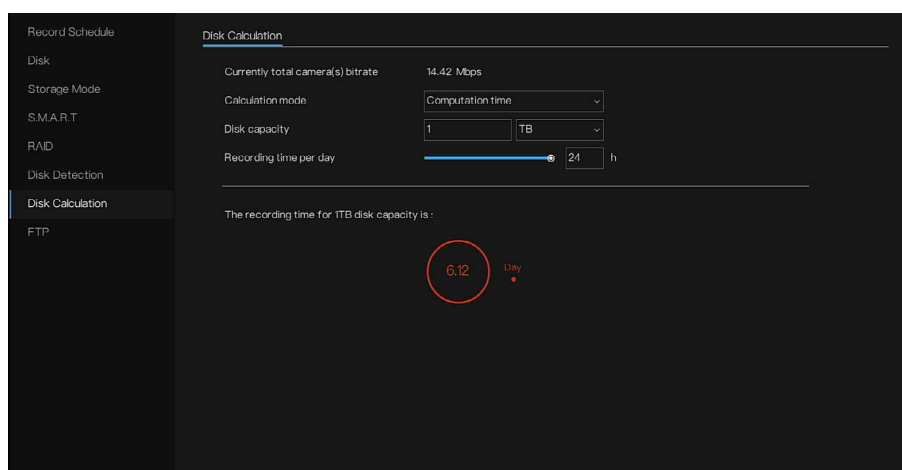
Disk Calculation [ディスク計算] インターフェースが表示されます。

図 53 ディスク計算



2. Computing capacity [容量の計算] または Computation time [時間の計算] の計算モードを選択します。
3. Expect to save time [時間の節約の期待] の値を入力します。
4. Recording time per day [1 日あたりの録画時間] を設定すると、結果が図に表示されます。

図 54 時間の計算



注記： 計算は、現在オンラインのカメラのビットレート（メインストリームとサブストリームを含む）に基づきます。

FTP

録画したビデオとスナップショットは、FTP サーバーに保存して表示できます。

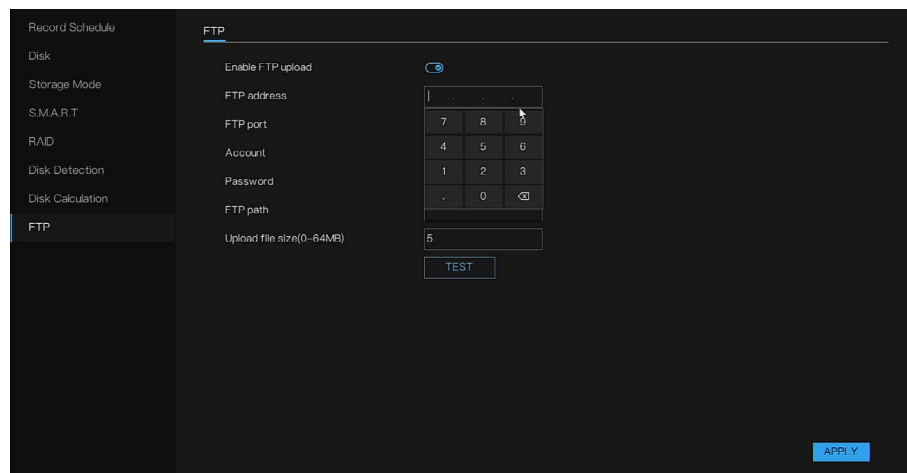
FTP（ファイル転送プロトコル）サーバーを購入またはダウンロードして、PC にインストールします。

注記： 作成した FTP ユーザーの場合、録画したビデオとスナップショットのアップロードに失敗しないように、書き込み権限を設定する必要があります。

1. Main Menu [メインメニュー] > Storage [ストレージ] > FTP の順に移動します。

FTP インターフェースが表示されます。

図 55 FTP



2. FTP 設定のパラメータ設定を行います。

表 16 FTP パラメータ

パラメータ	説明
Enable FTP upload [FTP アップロードの有効化]	FTP アップロード機能を有効にします。
FTP address [FTP アドレス]	FTP サーバーの IP アドレス。
FTP Port [FTP ポート]	デフォルトは 21 です。
Account [アカウント]	FTP サーバーにログインするためにアカウントとパスワードを入力します。
Password [パスワード]	
FTP path [FTP パス]	<p>FTP サーバーにフォルダを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> リモートディレクトリの名前を入力しない場合は、IP および時間に従って自動的にフォルダが作成されます。 リモートディレクトリの名前を入力すると、最初に FTP ルートディレクトリの配下に入力した名前のフォルダが作成され、次に IP および時間に従って自動的にフォルダが作成されます。

パラメータ	説明
Upload file size(0-64MB) [アップロードファイルサイズ (0~64MB)]	<p>アップロードした録画ビデオの長さを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力された長さが録画ビデオの長さよりも短い場合は、録画ビデオの一部のみをアップロードできます。 入力された長さが録画ビデオの長さよりも長い場合は、録画ビデオ全体をアップロードできます。 入力した長さが「0」の場合は、録画ビデオ全体がアップロードされます。

3. TEST [テスト]をクリックします。

システムに成功または失敗を示すメッセージがポップアップ表示されます。失敗した場合は、ネットワーク接続または設定を確認します。

4. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

イベント設定の構成

注記： NVR はプッシュメッセージを受信するために、最大 5 つのアプリをサポートできます。アプリのイベントメッセージ通知を使用するには、Me [自分] > Settings [設定] > Event notification [イベント通知]の順に移動し、New event message notification [新しいイベントメッセージ通知]の下のデバイスを有効にします。

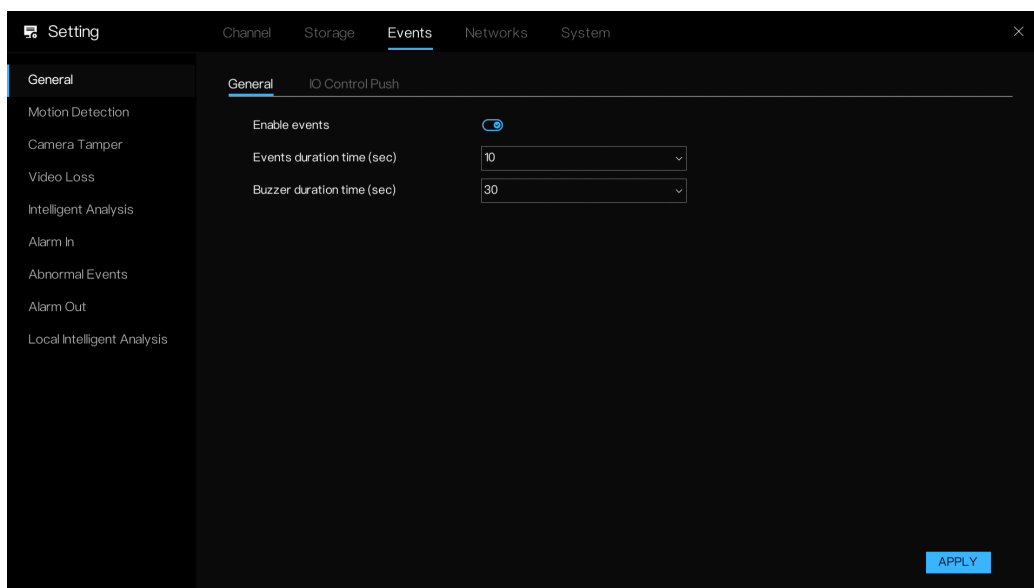
一般

一般のイベントと IO 制御プッシュを有効にすることができます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > General [一般] > General [一般]の順に移動します。

General [一般]インターフェースが表示されます。

図 56 一般ページ



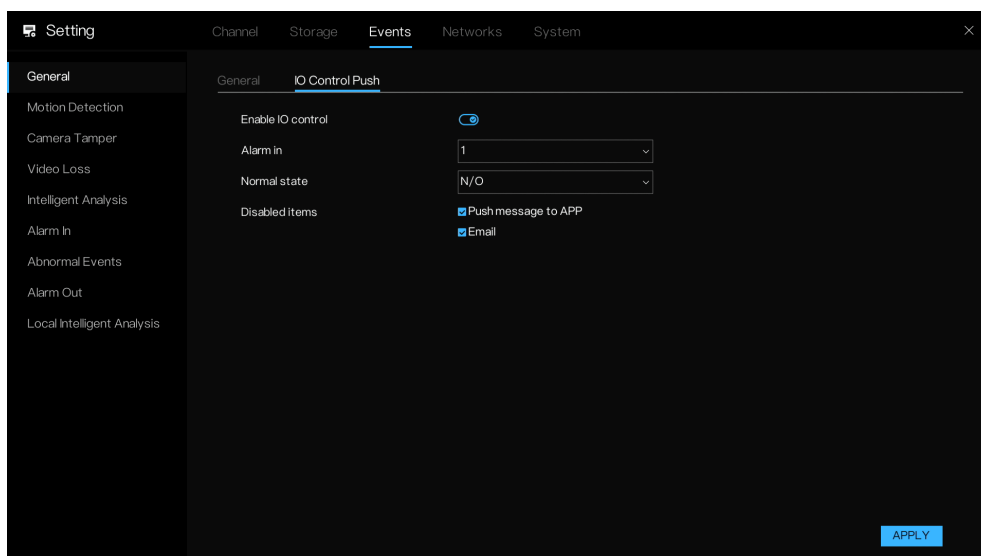
2. イベントを有効にして、Events duration time(sec) [イベント期間時間 (秒)]と Buzzer duration time(sec) [ブザー期間時間 (秒)]を設定します。
3. APPLY [適用]をクリックして、設定を保存します。

IO 制御プッシュ

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > General [一般] > IO Control Push [IO 制御プッシュ]の順に移動します。

IO Control Push [IO 制御プッシュ]インターフェースが表示されます。

図 57 IO 制御プッシュ



2. IO Control Push [IO 制御プッシュ]を有効にして、ドロップダウンリストから Alarm in [アラーム入力]を選択します。
3. ドロップダウンリスト (N/C か N/O) から Normal state [通常の状態]を選択します。
4. Disable items [項目の無効化] (アプリと E メールへのプッシュメッセージ) を選択します。

注記: ノーマルオープンを選択して、項目の無効化を選択した場合、アラーム入力 1 はノーマルオープン状態でメッセージをプッシュしません。アラーム入力 1 がノーマルクローズの場合にのみ、アラームメッセージをプッシュできます。

5. APPLY [適用]をクリックして、設定を保存します。

モーション検出

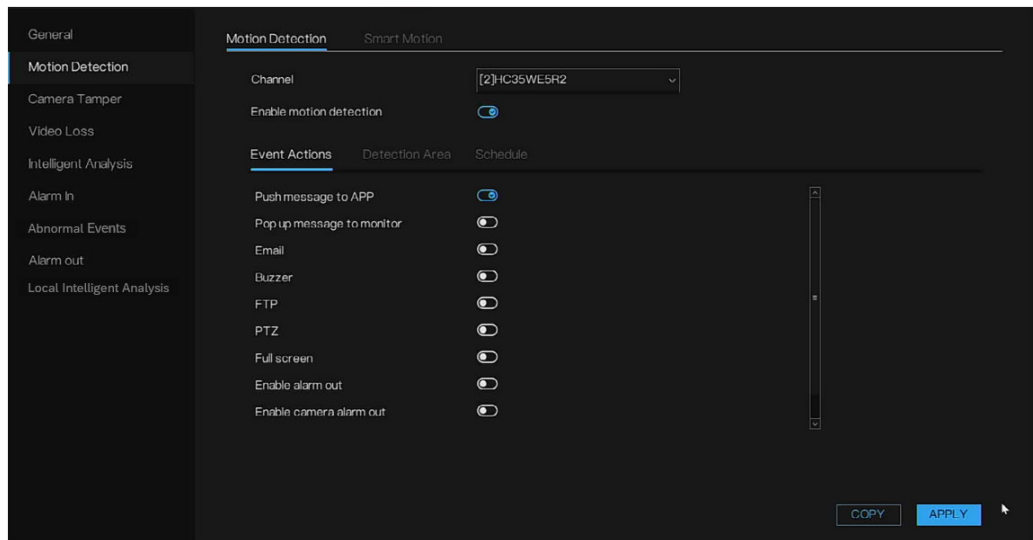
モーション検出設定

動いている物体が表示され、事前設定された感度値に達するのに十分な速さで動くと、アラームが作動します。

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Motion Detection [モーション検出]の順に移動します。

Motion Detection [モーション検出]インターフェースが表示されます。

図 58 モーション検出



2. モーション検出パラメータの設定を行います。

表 17 モーション検出のパラメータ

パラメータ	説明
Channel [チャンネル]	Channel [チャンネル]リストで、モーション検出を設定するチャンネルを選択します。
Enable [有効]	モーション検出機能を有効または無効にします。機能が有効である場合、NVR は変更されて結果をカメラに同期できます。
Event Actions [イベントアクション]	<p>Push message to APP [アプリへのプッシュメッセージ]：NVR を管理しているアプリへのポップアップメッセージを有効にします。</p> <p>Pop up message to monitor [モニターへのプッシュメッセージ]：UI モニターのポップアップメッセージを有効にします。</p> <p>Email [E メール]：アラームが発生すると、NVR デバイスは設定されたメールボックスに E メールを送信してユーザーに通知します。まず、E メールを設定する必要があります。詳細については、E メールを参照してください。</p> <p>Buzzer [ブザー]：アラームが発生したときにブザーが鳴ります。期間は、Event [イベント] > General [一般]で設定します。</p> <p>FTP [FTP]：有効にして、FTP パスにスナップショットを送信します。</p> <p>Storage [ストレージ] > FTP [FTP]インターフェースで FTP を設定します。</p>

パラメータ	説明
	<p>PTZ [PTZ] : 有効にして、Channel [チャンネル]と Preset [プリセット]を選択します。アラームが発生すると、NVR デバイスはチャンネルを関連付けて、対応する PTZ アクションを実行します。たとえば、チャンネル 1 の PTZ をアクティブにして、プリセットポイント X に切り替えます</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tripwire アラームは、PTZ プリセットポイントのみをアクティブにすることをサポートしています。 • まず、対応する PTZ アクションを設定する必要があります。PTZ コントロールを参照してください。 <p>Full Screen [全画面表示] : 有効にして、アラーム中に全画面表示でチャンネルのライブビデオを表示します。</p> <p>Enable alarm out [アラーム出力の有効化] : 有効にして、アラーム出力をリンケージします。パラメータは Event [イベント] > Alarm out [アラーム出力] インターフェースで設定する必要があります。アラーム装置 (ライト、サイレンなど) は、アラーム出力ポートに接続されています。アラームが発生すると、NVR デバイスはアラーム情報をアラームデバイスに送信します。</p> <p>Enable camera alarm out [カメラアラーム出力の有効化] : 有効にして、カメラのアラーム出力ポートをリンケージします。</p> <p>Enable event recording [イベント録画の有効化] : 有効にして、アラーム発生時に録画します。</p>
<p>Detection Area [検出領域]</p>	<p>モーション検出領域を選択した後で、ダブルクリックして選択した領域を削除します。</p> <p>Sensitivity [感度] : 4 つのレベル (Low [低]/Medium [中]/High [高]/Highest [最高]) を選択できます。IPC とは一致しません。値を最高にすると、アラームを簡単に有効にできます。</p>
<p>Schedule [スケジュール]</p>	<p>モーション検出が有効な期間を定義します。</p>

3. APPLY [適用] をクリックして、設定を保存します。

COPY [コピー] をクリックします。コピーダイアログボックスで、モーション検出設定をコピーする追加のチャンネルを選択し、APPLY [適用] をクリックします。

図 59 コピーダイアログボックス



モーション検出領域の設定

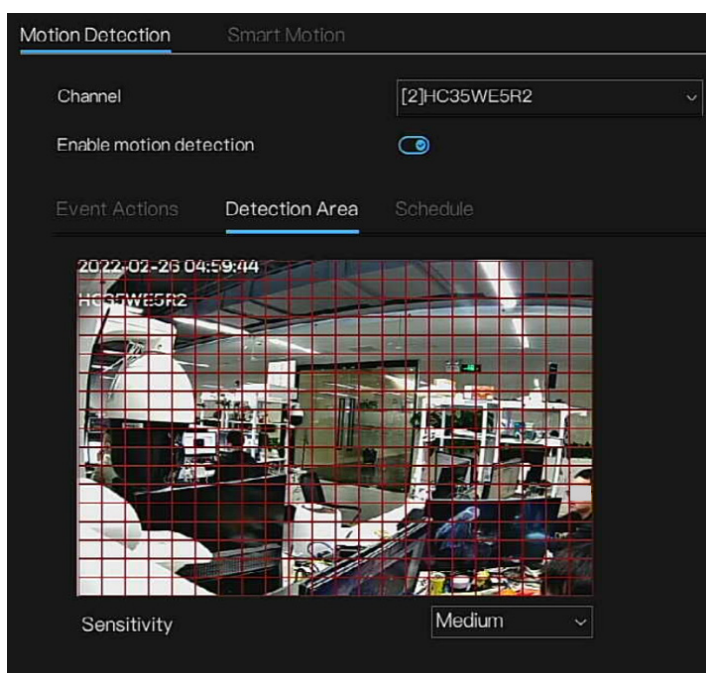
1. ライブビデオ画面で、供給する領域を描画します。

複数の領域を設定できます。左マウスボタンを押したまま、マウスをドラッグしてモーション検出領域を描画します。デフォルトの領域は全画面です。

注記：画面上をドラッグして、検出する領域を選択します。複数ある領域のいずれかがモーション検出アラームを有効にすると、この領域が属するチャンネルによってモーション検出アラームが有効になります。

NVR は変更され、結果はカメラに同期できます。

図 60 領域設定

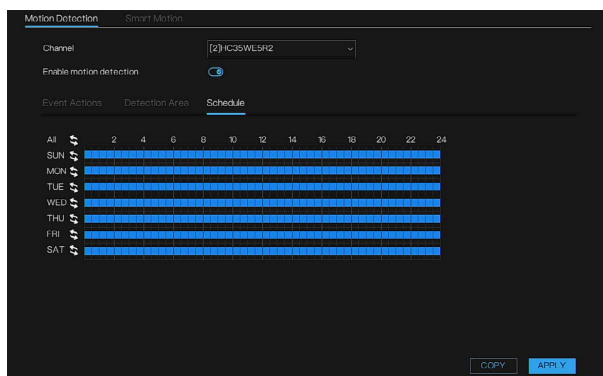




2. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

スケジュールの設定

注記： システムは、定義された期間内にのみアラームをアクティブにします。

図 61 スケジュールの設定



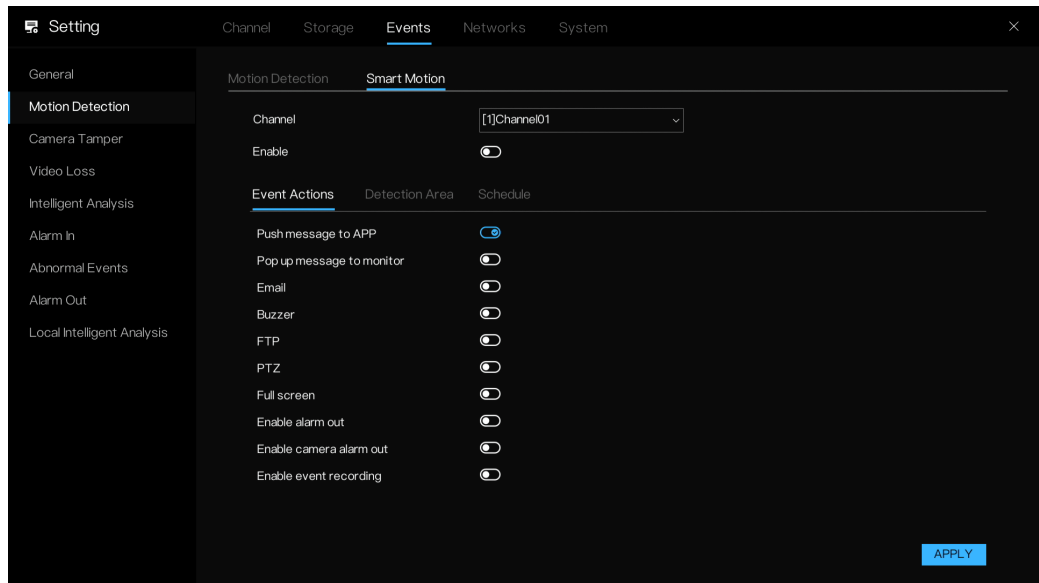
1. スケジュールを設定します。
 - マウスの左ボタンを押したままマウスをドラッグして放すと、月曜日から日曜日まで 00:00~24:00 の範囲でアーミング時間が選択されます。
 - 録画スケジュールページの  をクリックして、終日または週全体を選択します。
 - 時間グリッドをクリックして 1 つずつ選択します。
 -  を再度クリック（選択を反転）して選択した録画スケジュールを削除します。
2. APPLY [適用] をクリックして、設定を完了します。

スマートモーション

人物や車を検出できるカメラの場合、カメラを便利に管理する NVR にスマートモーションパラメータを設定できます。

Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Motion Detection [モーション検出] > Smart Motion [スマートモーション] の順に移動して、Smart Motion [スマートモーション] インターフェースを表示します。

図 62 スマートモーション



スマートモーションのリンケージイベントアクションの構成については、[表 17 モーション検出のパラメータ](#)を参照してください。

スマートモーション領域の設定

カーソルを描画インターフェースに移動し、クリックしてポイントを生成します。カーソルを移動し線を引き、クリックして別のポイントを生成します。これが線を引く方法になります。この方法で線の描画を続けて任意の図形を形成し、右クリックして線の描画を完了します。

REMOVE ALL [すべて削除]をクリックすると、検出領域が削除されます。

図 63 スマートモーション - 検出領域

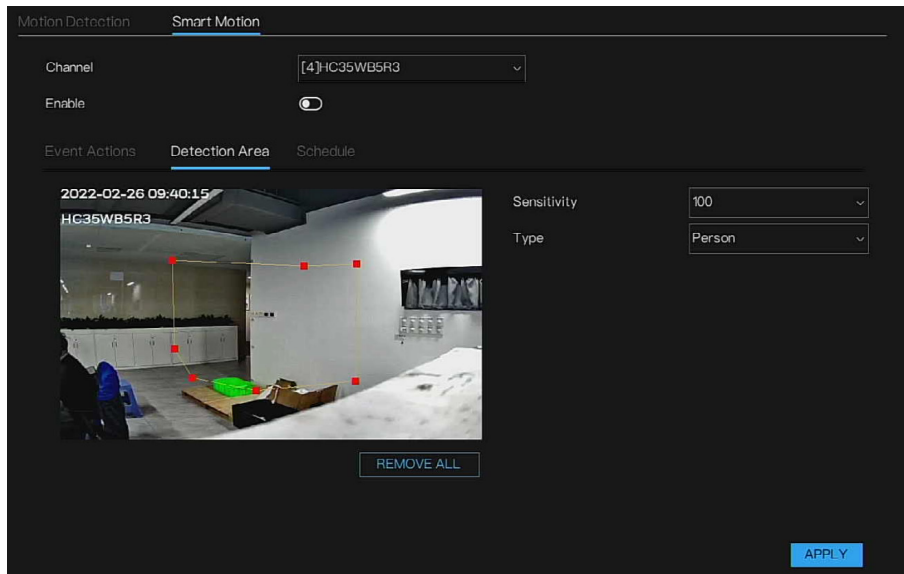


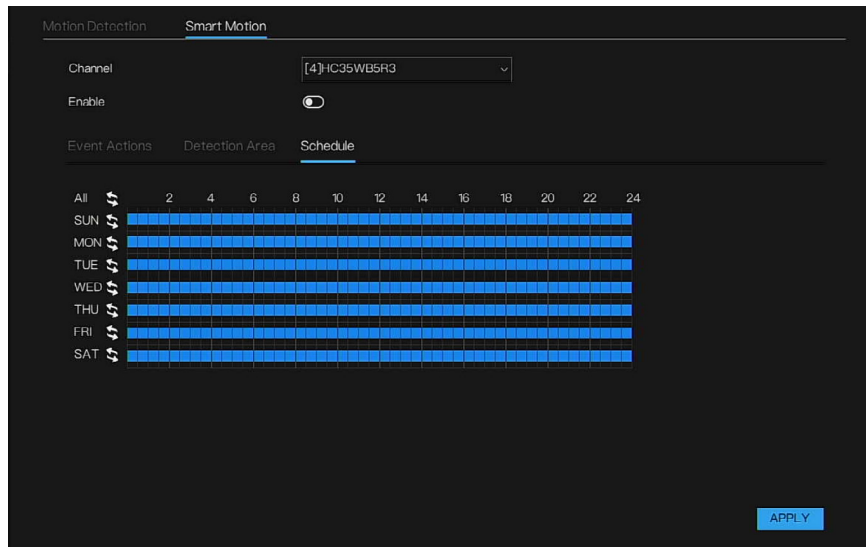
表 18 検出領域設定パラメータ

パラメータ	説明
Sensitivity [感度]	すべてのチャンネルの各領域には、個別の感度値があります。範囲は 0~100 です。値が大きいほど、アラームを簡単に有効にできます。
Type [タイプ]	Person [人物]：人物のみを検出します。 Car [車]：車のみを検出します。 Person or car [人物または車]：同時に人物または車を検出します。

スマートモーションスケジュールの設定

スマートモーションのスケジュールの構成については、[スケジュールの設定](#)を参照してください。

図 64 スマートモーション - スケジュール



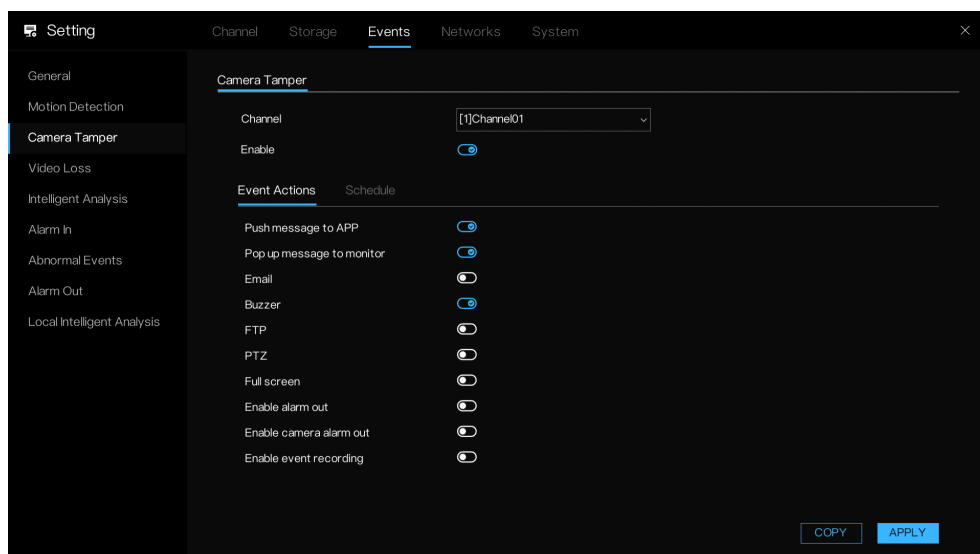
カメラタンパリング

カメラのレンズが覆われている場合や、日光の状態が原因でビデオが単色で表示されている場合は、監視を正常に続行できません。このような状況を回避するには、タンパアラーム設定を行います。

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Camera Tamper [カメラタンパ]の順に移動します。

Camera Tamper [カメラタンパ]インターフェースが表示されます。

図 65 カメラタンパ



2. タンパリング検出パラメータの設定については、[モーション検出](#)を参照してください。

注記： タンパリング機能には、検出領域と感度の項目はありません。

3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

COPY [コピー]をクリックし、Copy to [コピー先]ダイアログボックスで、モーション検出設定をコピーする追加のチャンネルを選択し、OK をクリックします。

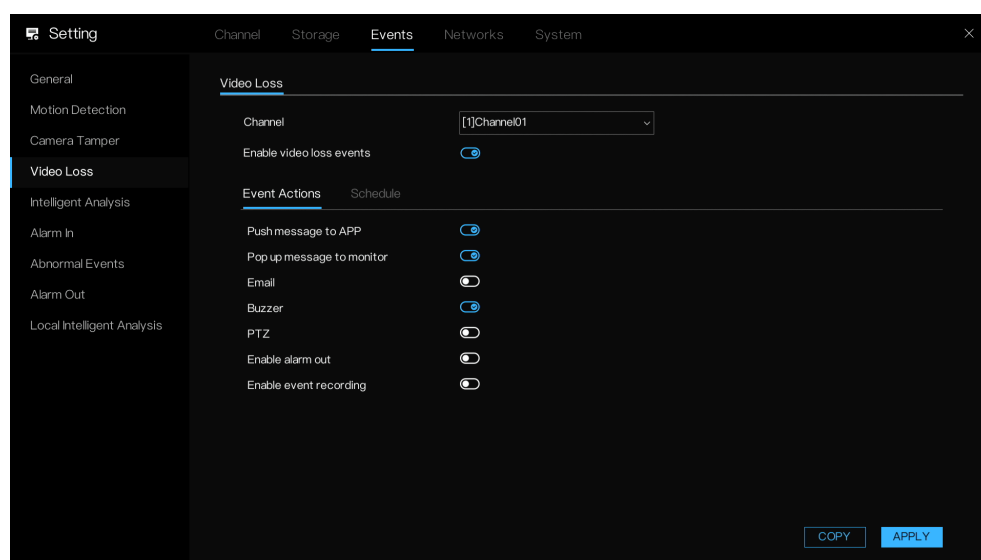
映像ロス

映像ロスが発生すると、システムではアラームが有効になります。

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Video Loss [映像ロス]の順に移動します。

Video Loss [映像ロス]インターフェースが表示されます。

図 66 映像ロス



2. 映像ロス検出パラメータの設定については、[モーション検出](#)を参照してください。

映像ロス機能には、検出領域と感度の項目はありません。

3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

COPY [コピー]をクリックし、Copy to [コピー先]ダイアログボックスで、モーション検出設定をコピーする追加のチャンネルを選択し、OK をクリックします。

インテリジェント解析

インテリジェント解析には、侵入、マルチロイタリング、人だかり検出が含まれています。

注記： Intelligent Analysis [インテリジェント解析]機能が NVR によって Enable [有効]に設定されていて、チャンネルカメラから信号を受信する場合、カメラの一部のモデルではリモート構成がサポートされていないため、パラメータが NVR によってのみ変更されたときの結果がカメラに同期されない場合があります。このため、Honeywell はカメラ Web クライアントで設定を同時に変更することをお勧めします。

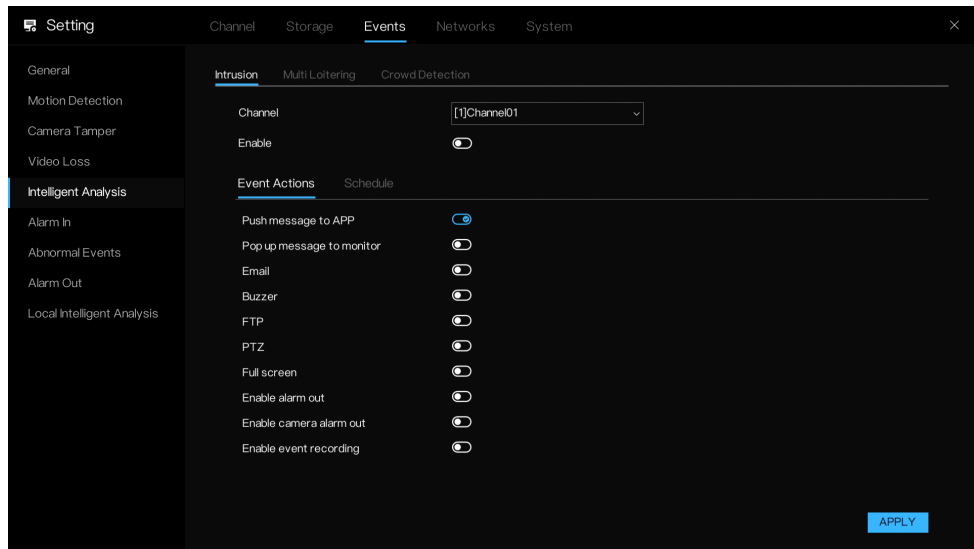
侵入

設定領域に何者かが侵入したことをチャンネルカメラがキャプチャした場合、NVR のインテリジェント解析の侵入アラームをトリガーします。

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Intelligent Analysis [インテリジェント解析] > Intrusion [侵入]の順に移動します。

Intrusion [侵入]インターフェースが表示されます。

図 67 侵入



2. 侵入パラメータの設定については、[モーション検出](#)を参照してください。
侵入機能には、検出領域と感度の項目はありません。検出領域はカメラインターフェースで構成され、パラメータをコピーできます。
3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

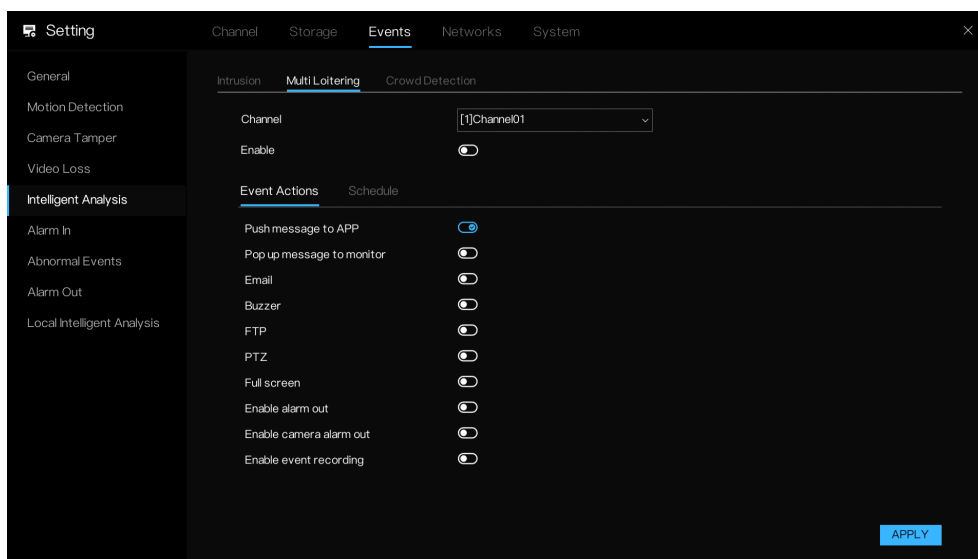
マルチロイタリング

設定領域に何者かがとどまっていることをチャンネルカメラがキャプチャした場合、NVR のインテリジェント解析のマルチロイタリングアラームをトリガーします。

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Intelligent Analysis [インテリジェント解析] > Multi Loitering [マルチロイタリング]の順に移動します。

Multi Loitering [マルチロイタリング]インターフェースが表示されます。

図 68 マルチロイタリング



2. マルチロイタリングパラメータの設定については、[モーション検出](#)を参照してください。

マルチロイタリング機能には、検出領域と感度の項目はありません。検出領域はカメラインターフェースで構成され、パラメータをコピーできます。

3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

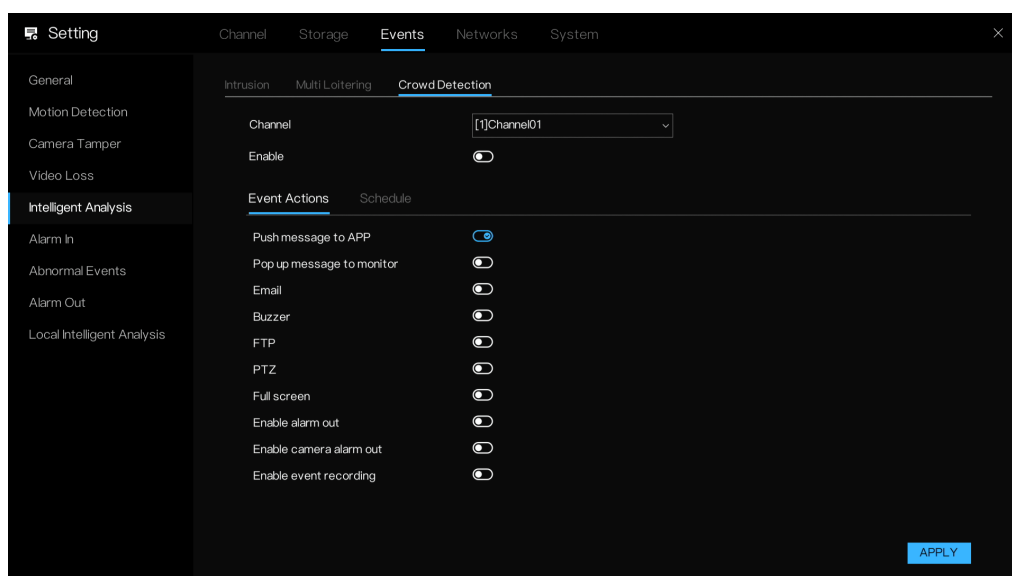
人だかり検出

チャンネルカメラが設定領域の人物をカウントした場合、NVR のインテリジェント解析の人数アラームをトリガーします。

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Intelligent Analysis [インテリジェント解析] > Crowd Detection [人だかり検出]の順に移動します。

Crowd Detection [人だかり検出]インターフェースが表示されます。

図 69 人だかり検出



2. Crowd Detection [人だかり検出]パラメータの設定については、[モーション検出](#)を参照してください。

Crowd Detection [人だかり検出]機能には、検出領域と感度の項目はありません。検出領域はカメラインターフェースで構成され、パラメータのコピーはできません。

3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

アラーム入力

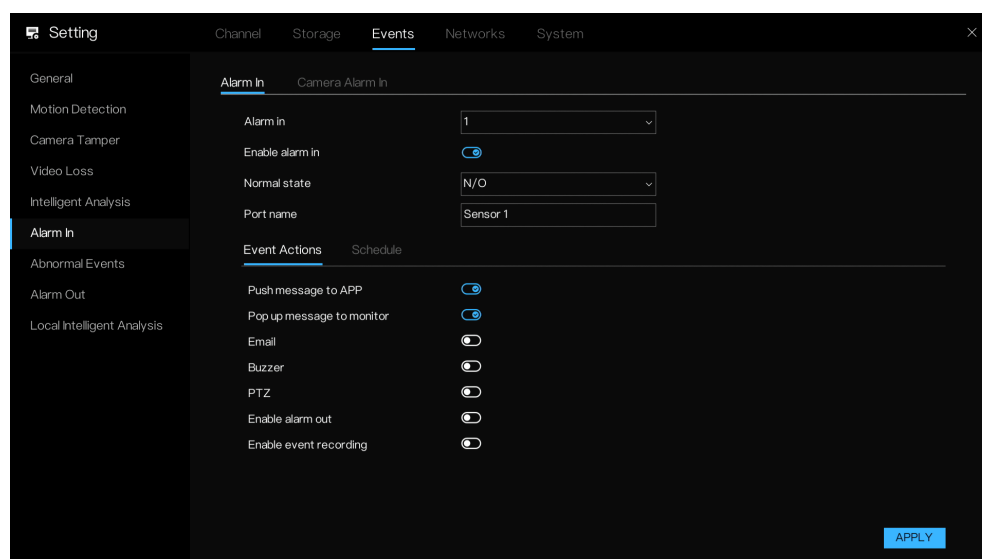
アラーム入力設定

アラームデバイスを NVR アラーム入力ポートに接続すると、アラーム入力ポートから NVR へのアラーム信号が発生した際に、システムでは対応するアラーム操作がトリガーされます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Alarm In [アラーム入力]の順に移動します。


Alarm In [アラーム入力]インターフェースが表示されます。

図 70 アラーム入力



2. Alarm-in Port channel number [アラーム入力ポートチャンネル番号]を設定し、有効チェックボックスを選択して機能を有効にします。
3. パラメータを設定します。

表 19 アラーム入力ポートのパラメータ

パラメータ	説明
Alarm in [アラーム入力]	ポートを選択してアラームを設定します。アラームデバイスは、対応するポートにも接続されます。
Enable alarm in [アラーム入力の有効化]	機能を有効化するには、ボックス  にチェックを入れます。
Normal state [通常の状態]	N/O（ノーマルオープン）または N/C（ノーマルクローズ）です。
Port name [ポート名]	ポート名を入力します。名前はアラーム情報のメッセージに表示されます。
Event Actions [イベントアクション]	表 17 を参照してください。
Schedule [スケジュール]	アラームが有効な期間を定義します。詳細については、 モーション検出 を参照してください。

4. APPLY [適用]をクリックします。

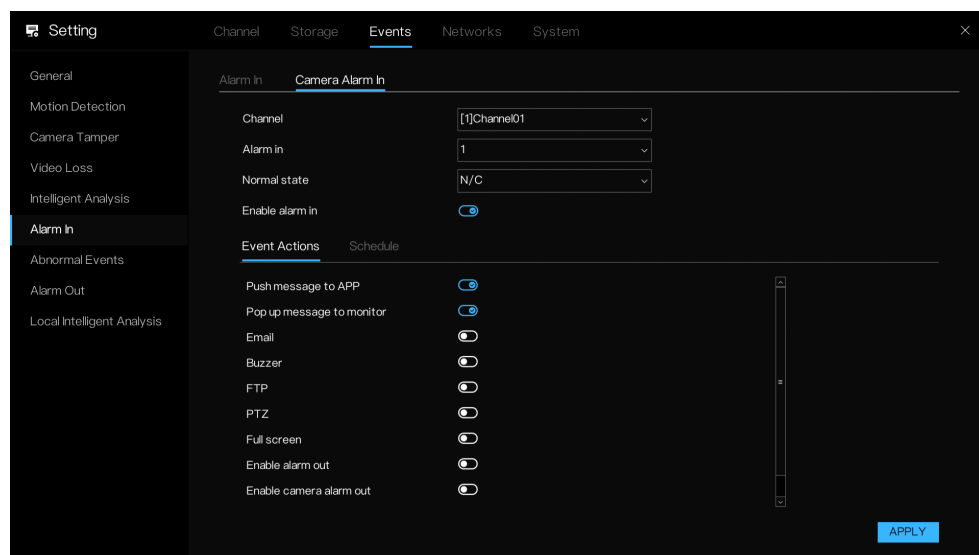
カメラアラーム入力

アラームデバイスをチャンネルカメラのアラーム入力ポートに接続すると、カメラのアラーム入力ポートからアラーム信号が発生した際に、システムでは対応するアラーム操作がトリガーされます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Alarm In [アラーム入力] > Camera Alarm In [カメラアラーム入力]の順に移動します。

Camera Alarm In [カメラアラーム入力]インターフェースが表示されます。

図 71 カメラアラーム入力ポート



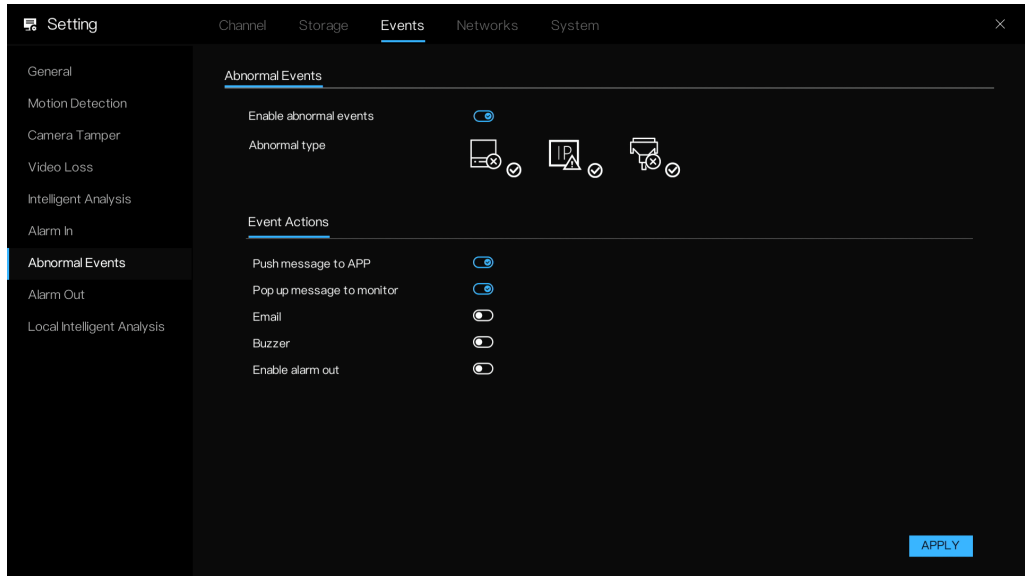
2. Channel [チャンネル]/Alarm in [アラーム入力]/Normal state [通常の状態]を選択します。
3. 有効にして、カメラアラーム入力ポートを開きます。以降の操作は[アラーム入力設定](#)と同じです。
4. APPLY [適用]をクリックします。

異常なイベント

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Abnormal events [異常なイベント]の順に移動します。


Abnormal events [異常なイベント]インターフェースが表示されます。

図 72 異常なイベント



2. パラメータを設定します。

表 20 異常なアラームパラメータ

パラメータ	説明
Enable abnormal events [異常なイベントの有効化]	機能を有効化するには、ボックス  にチェックを入れます。
Abnormal type [異常なタイプ]	ディスクアラーム、IP アドレスの競合、ネットワークの切断
Event actions [イベントアクション]	さまざまなイベントアクションを有効化します

1. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

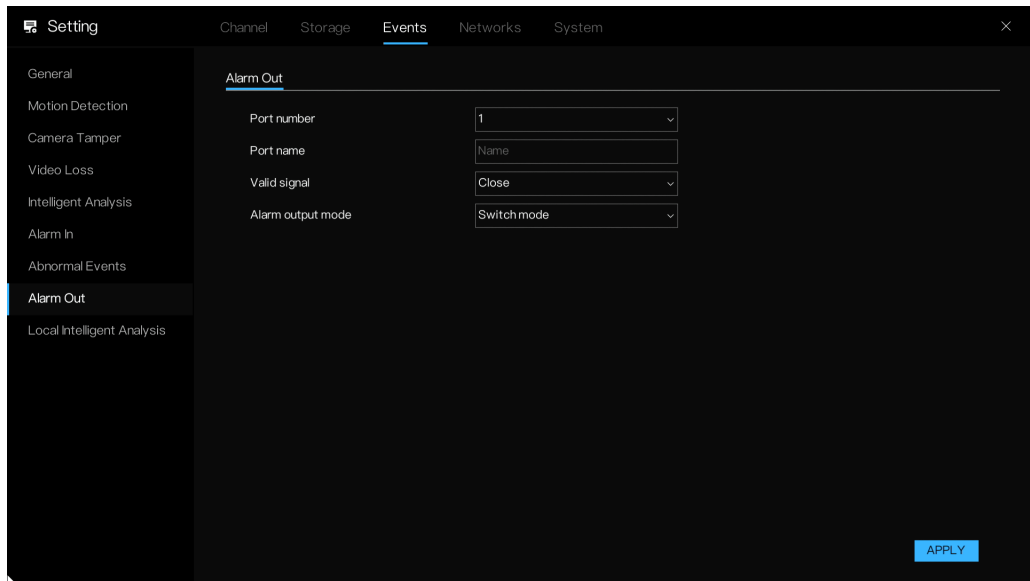
Alarm Out [アラーム出力]

外部のアラームデバイスはアラーム出力ポートに接続します。

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Alarm out [アラーム出力]の順に移動します。

Alarm Out [アラーム出力]インターフェースが表示されます。

図 73 アラーム出力



2. パラメータを設定します。

表 21 アラーム出力パラメータ

パラメータ	説明
Port number [ポート番号]	実際のパネル I/O ポート出力 1 に対応しています。
Port name [ポート名]	ポート名を入力します。名前はアラーム情報メッセージに表示されます。
Valid signal [有効な信号]	<p>Close [クローズ]: 外部のアラーム信号を受信したときに、アラームを発生します。</p> <p>Open [オープン]: 外部のアラーム信号を受信しないときに、アラームを発生します。</p>
Alarm output mode [アラーム出力モード]	デバイスが I/O アラーム信号を受信すると、デバイスが外部のアラームデバイスにアラーム情報を送信します。

3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

ローカルインテリジェント解析

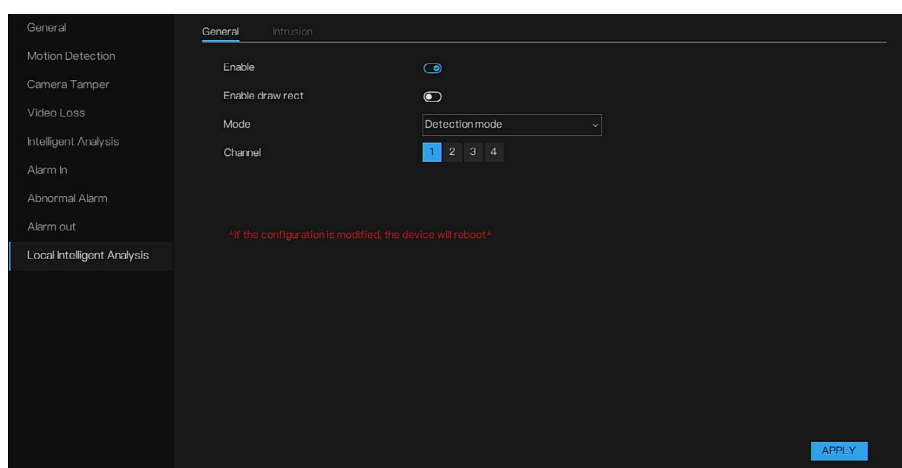
注記: この機能は、PoE NVR にのみ適用できます。PoE NVR 以外には適用できません。

ローカルインテリジェント解析では、NVR がローカル侵入アラームを管理します。

1. Main Menu [メインメニュー] > Events [イベント] > Local Intelligent Analysis [ローカルインテリジェント解析]の順に移動します。

Local Intelligent Analysis [ローカルインテリジェント解析]インターフェースが表示されます。

図 74 ローカルインテリジェント解析



2. パラメータを設定します。

表 22 ローカルインテリジェント解析パラメータ

パラメータ	説明
Enable [有効]	この機能を有効にして、アラームのパラメータを設定できます。
Enable draw rect [四角形の描画の有効化]	四角形の描画を有効にすると、侵入のライブビデオに検出四角形が表示されます。
Mode [モード]	検出モードを選択します。
Channel [チャンネル]	チャンネルを選択します 選択できるのは最大で4つのチャンネルです。

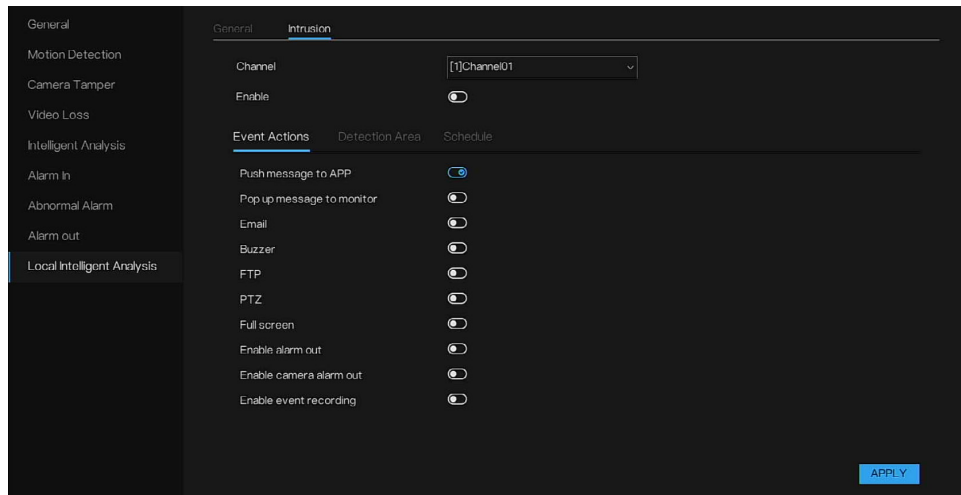
3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

注記： 侵入を有効または無効にしてチャンネルを変更すると、デバイスが再起動します。

侵入

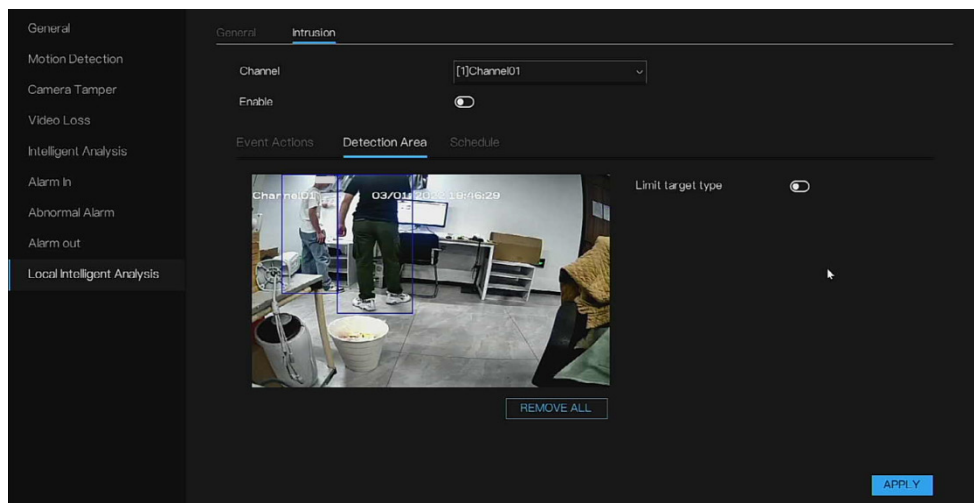
侵入は、指定したタイプのターゲット（人物、車、人物と車の両方）が展開領域に入ったときのアラームの発生のことです。

図 75 侵入イベントアクション



イベントアクション、検出領域、およびスケジュールが設定されます。モーション検出を参照してください。

図 76 検出領域



侵入検出領域の設定については、[スマートモーション領域の設定](#)

カーソルを描画インターフェースに移動し、クリックしてポイントを生成します。カーソルを移動し線を引き、クリックして別のポイントを生成します。これが線を引く方法になります。この方法で線の描画を続けて任意の図形を形成し、右クリックして線の描画を完了します。

REMOVE ALL [すべて削除]をクリックすると、検出領域が削除されます。

を参照してください。

ネットワーク設定の構成

NVR が同じ LAN 内のデバイスと通信できるように、NVR ネットワークパラメータを設定できます。

ネットワーク

IP

ユーザーはブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力して、Web ページから NVR にリモートアクセスできます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > Networks [ネットワーク] > IP の順に移動します。

Networks [ネットワーク]インターフェースが表示されます。

図 77 ネットワーク - IP

IP	Port	IPv4 CCTV
DHCP		<input type="checkbox"/>
IP address		192 . 168 . 0 . 121
Subnet mask		255 . 255 . 0 . 0
Default gateway		192 . 168 . 0 . 1
Obtain DNS automatically		<input checked="" type="checkbox"/>
Preferred DNS server		192 . 168 . 0 . 1
Alternate DNS server		8 . 8 . 8 . 8

2. DHCP が有効な場合、ルーターが IP を自動的に配布できます。

DHCP が無効な場合、パラメータを手動で変更できます。

3. パラメータを設定します。

表 23 IP パラメータ

パラメータ	説明
DHCP	<p>DHCP 機能を有効にします。DHCP を有効にすると、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> DHCP が有効な場合は、取得した情報が IP Address [IP アドレス]ボックス、Subnet Mask [サブネットマスク]ボックス、および Default Gateway [デフォルトゲートウェイ]ボックスに表示されます。 IP 情報を手動で設定する場合、まず DHCP 機能を無効にします。 <p>PPPoE 接続が成功した場合、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、および DHCP は設定できません。</p>
IP Address [IP アドレス]	<p>IP アドレスを入力して、対応するサブネットマスクとデフォルトゲートウェイを設定します。</p> <p>IP アドレスとデフォルトゲートウェイは、同じネットワークセグメントにある必要があります。</p>
Subnet Mask [サブネットマスク]	
Default Gateway [デフォルトゲートウェイ]	
Obtain DNS automatically [DNS の自動取得]	<p>機能を有効にして、DNS アドレスを自動的に取得します。</p> <p>ローカルの DNS サーバー IP について知るには、優先 DNS サーバーを入力して DNS サーバーを手動で交換できます。</p>
Preferred DNS [優先 DNS]	<p>Preferred DNS [優先 DNS]ボックスに、DNS の IP アドレスを入力します。</p>
Alternate DNS [代替 DNS]	<p>Alternate DNS [代替 DNS]ボックスに、代替 DNS の IP アドレスを入力します。</p>

4. APPLY [適用]をクリックします。

ルーターの設定

1. ルーターにログインして、WAN ポートを設定し、IP アドレスが WAN に接続できるようにします。
2. ルーターで UPnP 機能を有効にします。
3. ルーターの LAN ポートにデバイスを接続して、LAN に接続します。
4. Main Menu [メインメニュー] > Network [ネットワーク] > Network [ネットワーク] に移動するか、IP アドレスをルーターの IP アドレス範囲に設定するか、DHCP 機能を有効にして、IP アドレスを自動的に取得します。

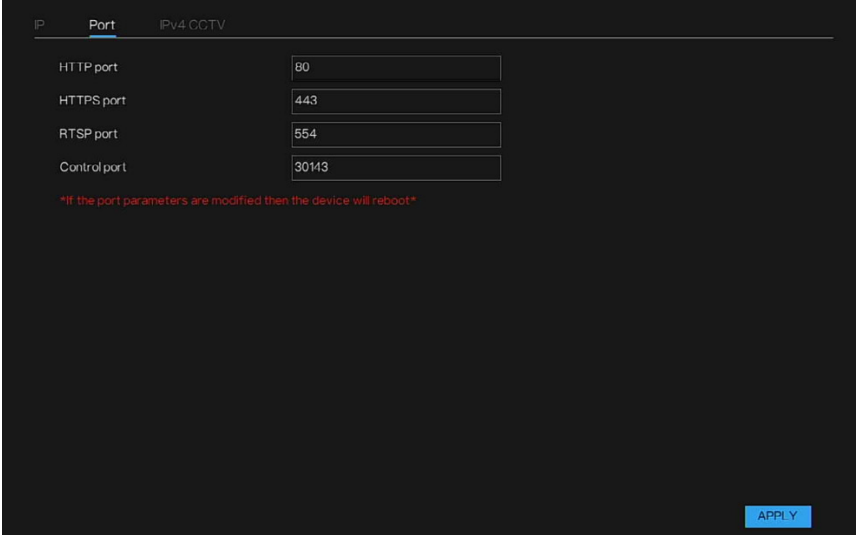
ポート

NVR Web には、IP の別のポートを通してリモートアクセスできます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > Networks [ネットワーク] > Port [ポート] の順に移動します。

Port [ポート] インターフェースが表示されます。

図 78 ポートインターフェース



Port	Value
HTTP port	80
HTTPS port	443
RTSP port	554
Control port	30143

If the port parameters are modified then the device will reboot

APPLY

2. 接続パラメータの設定を行います。

注記： ポートパラメータを変更すると、デバイスは再起動します。

表 24 ポートパラメータ

パラメータ	説明
HTTP Port [HTTP ポート]	このデフォルトの設定値は、80 です。実際の状況に応じて値を入力できます。たとえば、他の値「70」を入力した場合は、ブラウザでデバイスにログインする際に、IP アドレスの後に「70」を入力する必要があります。
HTTPS Port [HTTPS ポート]	HTTPS 通信ポート。このデフォルトの設定値は、443 です。実際の状況に応じて値を入力できます。
RTSP Port [RTSP ポート]	このデフォルトの設定値は、554 です。実際の状況に応じて値を入力できます。
Control port [コントロールポート]	このデフォルトの設定値は、30413 です。実際の状況に応じて値を入力できます。

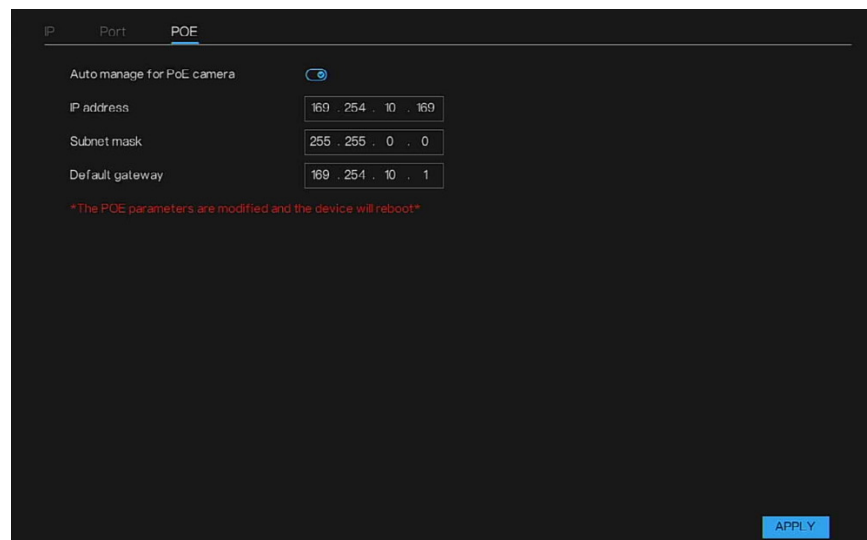
3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

POE


この機能は PoE NVR にのみ適用されます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > Networks [ネットワーク] > POE の順に移動します。

図 79 POE



2. デフォルトの Auto manage for PoE camera [PoE カメラの自動管理]が開きます。PoE カメラの IP パラメータを手動で設定できます。
3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

注記： POE 経由のカメラで、POE カメラの自動管理が有効になっていると、アイコン  がチャンネルリストに表示される場合があります。
PoE パラメータが変更されて、デバイスが再起動します。

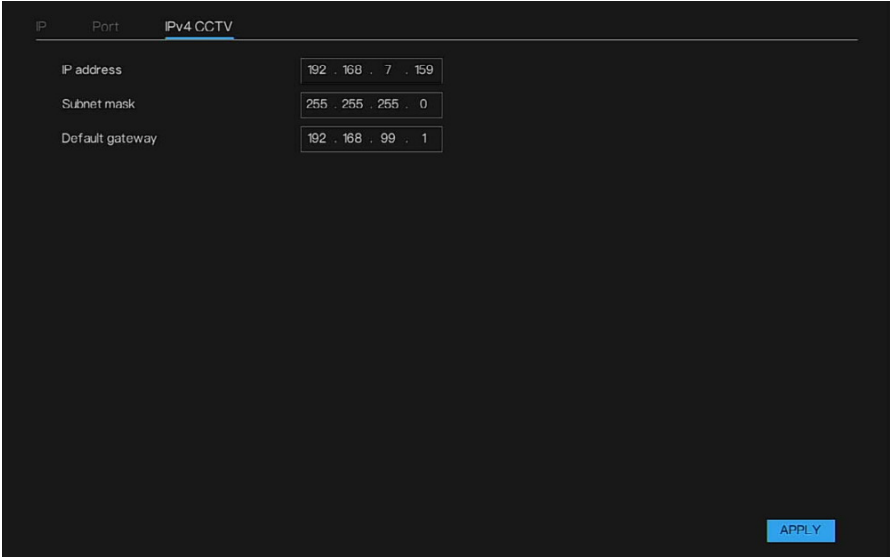
IPv4CCTV

この機能は、2 つの LAN がある PoE 以外の NVR で使用します。IPv4CCTV は、LAN2 用になります。LAN2 は、追加のカメラ専用であり、外部のネットワークにはアクセスできません。

注記： この機能は一部のモデルでサポートされています。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > Networks [ネットワーク] > IPv4 CCTV の順に移動します。

図 80 IPv4 CCTV



IP	Port	IPv4 CCTV
IP address		192 . 168 . 7 . 159
Subnet mask		255 . 255 . 255 . 0
Default gateway		192 . 168 . 99 . 1

APPLY

2. LAN2 の IP アドレスパラメータを設定します。

注記： LAN1 と LAN2 は、同じネットワークセグメントを設定できません。
カメラを LAN2 アクセスを通してローカルネットワークに追加することができますが、リモートアクセスするには LAN1 をインターネットに接続する必要があります。

3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

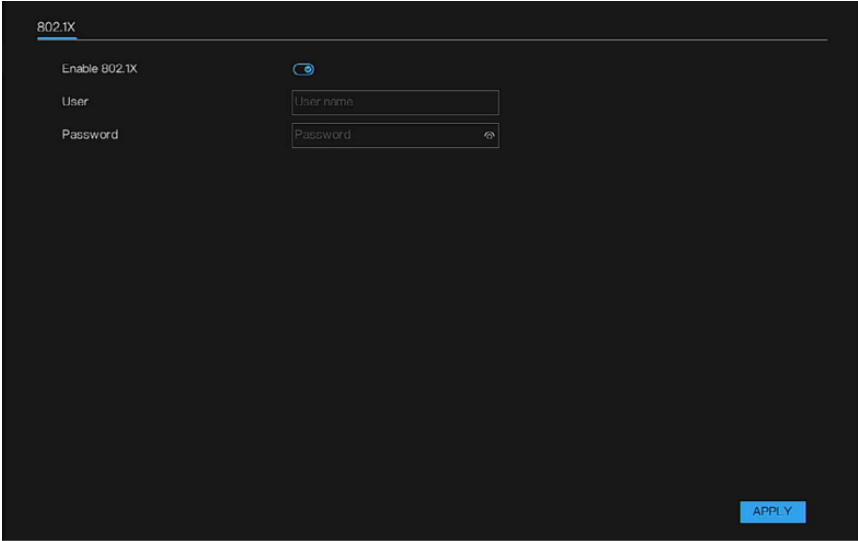
802.1X

802.1x プロトコルは、クライアント/サーバーに基づくアクセス制御と認証プロトコルです。権限のないユーザー/デバイスを、アクセスポートを通して LAN/WLAN へアクセスしないように制限できます。ユーザーは 802.1X アカウントを通して NVR にアクセスできます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > 802.1X の順に移動します。

802.1X インターフェースが表示されます。

図 81 802.1X インターフェース



2. 機能を有効にして、802.1X アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

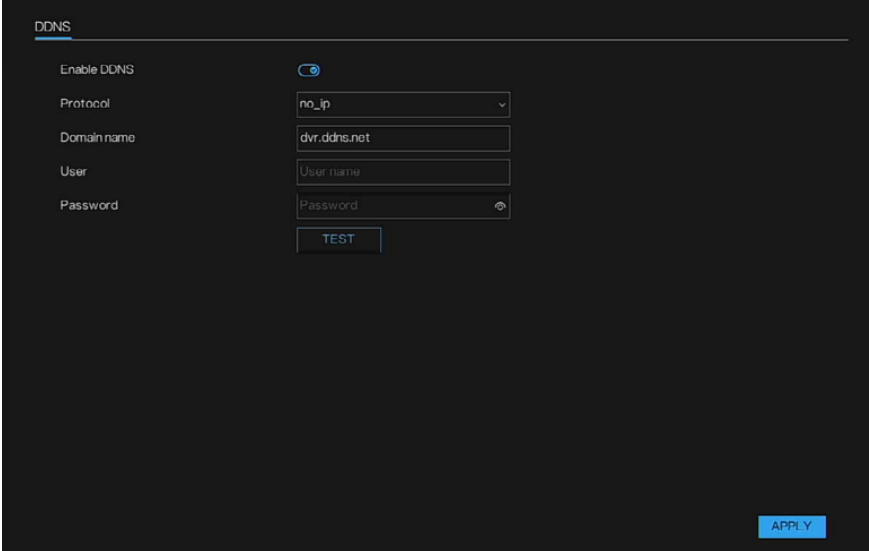
DDNS

DDNS (ダイナミックドメインネームサーバー、ダイナミックドメインネームサービス)。DDNS アカウントを使用して NVR にアクセスできます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > DDNS の順に移動します。

DDNS インターフェースが表示されます。

図 82 DDNS インターフェース



2. 機能を有効にして、ドロップダウンリスト（no_ip / autodns / dyndns / 3322）からプロトコルを選択します。
3. ドメイン名を入力します。
4. DDNS アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
5. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

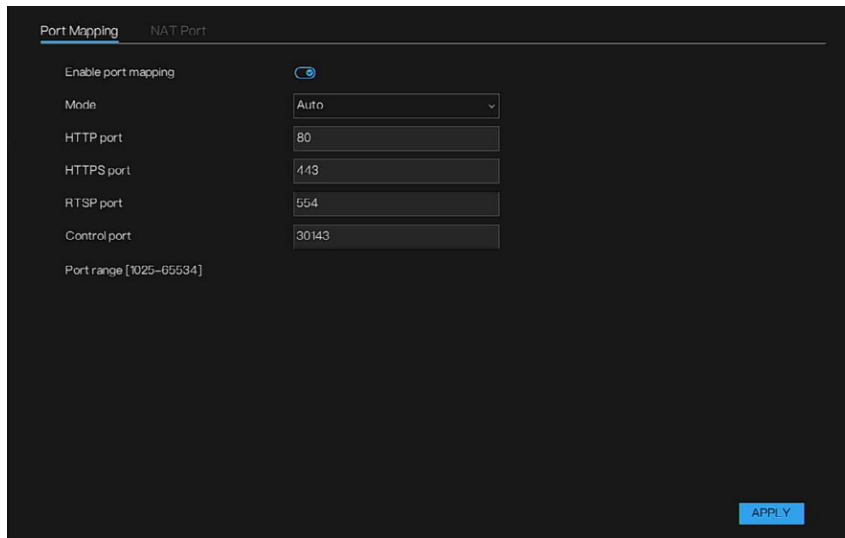
ポートマッピング

LAN と WAN の関係をマッピングして、WAN 上の IP アドレスによって LAN 上のデバイスにアクセスできます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > Port Mapping [ポートマッピング]の順に移動します。

Port Mapping [ポートマッピング]インターフェースが表示されます。

図 83 ポートマッピングインターフェース



2. 機能を有効にして、パラメータの設定を開始します。
3. 自動または手動のモードを選択して設定できます。
4. 手動ポートパラメータの設定を行います。

表 25 ポートマッピングパラメータ


パラメータ	説明
HTTP Port [HTTP ポート]	このデフォルトの設定値は、80 です。実際の状況に応じて値を入力できます。たとえば、他の値「70」を入力した場合は、ブラウザでデバイスにログインする際に、IP アドレスの後に「70」を入力する必要があります。
HTTPS Port [HTTPS ポート]	HTTPS 通信ポート。このデフォルトの設定値は、443 です。実際の状況に応じて値を入力できます。
RTSP Port [RTSP ポート]	このデフォルトの設定値は、554 です。実際の状況に応じて値を入力できます。
Control port [コントロールポート]	このデフォルトの設定値は、30413 です。実際の状況に応じて値を入力できます。

注記： 手動のポート範囲は、1025～66534 にする必要があります。

5. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

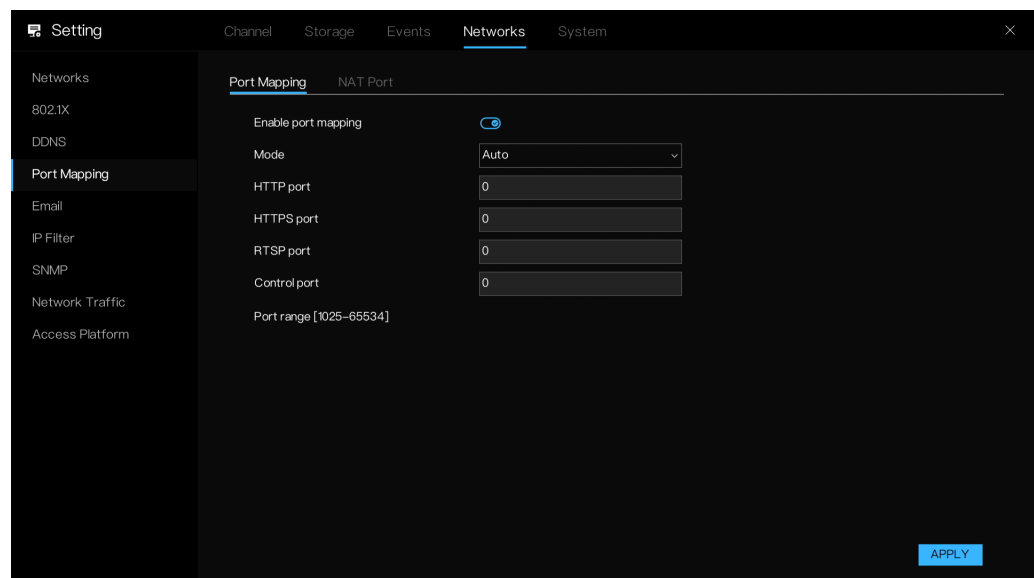
ブラウザで `http://IP: HTTP ポート` を入力します。LAN デバイスにアクセスできます。

NAT Port [NAT ポート]

NAT ポート（ネットワークアドレス変換）では、NAT ポートを通して NVR のチャンネルにアクセスできます。ユーザーは開始ポートを設定できます。これにより自動的に終了ポートが生成されます。Web インターフェースで  アイコンをクリックしてチャンネルにアクセスすると、NAT ポートが表示されます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > Port Mapping [ポートマッピング] > NAT Port [NAT ポート] の順に移動します。
NAT Port [NAT ポート] インターフェースが表示されます。

図 84 NAT ポートインターフェース



2. 機能を有効にして、ポートを設定します。
3. APPLY [適用] をクリックして、設定を完了します。

E メール

簡易メール転送プロトコル（SMTP）機能が有効になっている場合、アラームが生成されると、デバイスは指定された E メールアドレスにアラーム情報を自動的に送信します。ユーザーは、2 つのメールボックスを使用して情報を送信できます。

アラームイベントが発生した際に、システムが通知として E メールを送信できるように、E メール設定を構成できます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > Email [E メール]の順に移動します。

Email [E メール]インターフェースが表示されます。

図 85 E メールインターフェース

2. E メールパラメータの設定を行います。

表 26 E メールパラメータ

パラメータ	説明
SMTP server [SMTP サーバー]	送信者の E メールアカウントにある SMTP サーバーのアドレスを入力します。
SMTP server port [SMTP サーバーポート]	SMTP サーバーのポート値を入力します。このデフォルトの設定値は、25 です。実際の状況に応じて値を入力できます。
Username [ユーザー名]	送信者の E メールアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
Password [パスワード]	
Email sender [E メール送信者]	メール受信者の E メールアドレスを入力します。
Alarm Receivers [アラーム受信者]	通知を受信する受信者の E メールを入力します。デバイスは、最大 3 人のメール受信者をサポートします。
SSL encryption [SSL 暗号化]	暗号化の種類を選択します：Off [オフ]、SSL、または Starttls です。SMTP サーバーの場合、デフォルトの暗号化の種類は OFF [オフ] です。

パラメータ	説明
Sending Interval(0-600s) [送信間隔 (0~600 秒)]	システムが同じタイプのアラームイベントに対して E メールを送信する間隔です。つまり、頻繁なアラームイベントによって発生する E メールは送信されません。 値は、0~600 の範囲です。0 は間隔がないことを意味します。
TEST [テスト]	TEST [テスト]をクリックして、E メール送信機能をテストします。設定が正しい場合は、受信者の E メールアカウントに E メールが送信されます。 Apply [適用]をクリックして設定を保存し、テストします。

3. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

P2P

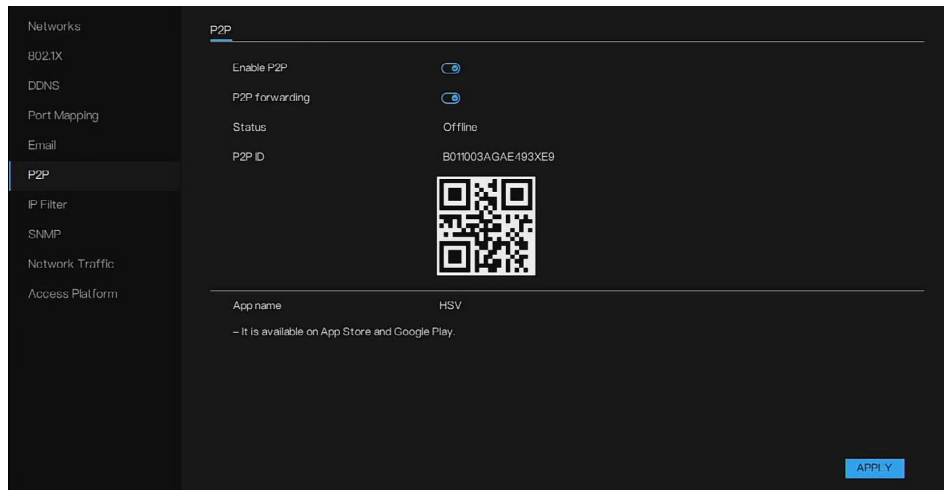
P2P とは、便利なプライベートネットワーク侵入技術の一種です。ダイナミックドメイン名を適用したり、ポートマッピングを行ったり、トランジットサーバーを導入したりする必要はありません。複数の NVR デバイスを同時に管理する目的を達成するには、次の方法で NVR デバイスを追加します。

注記： P2P を正常に動作させるために、NVR デバイスをインターネットに接続します。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > P2P の順に移動します。

P2P インターフェースが表示されます。

図 86 P2P インターフェース



2. P2P 機能を有効にします。

P2P 機能を有効にしてインターネットに接続すると、リモートアクセスのための情報が収集されます。この情報には、MAC アドレス、デバイスのシリアル番号がありますが、これらに限定されません。

3. P2P forwarding [P2P 転送]を有効にします。

デバイス情報は P2P サーバーによって転送され、携帯電話クライアント/HSV プラットフォームとデバイスの接続が失敗したときに接続を保ちます。

注記： P2P forwarding [P2P 転送]を有効にすると、セキュリティリスクが生じる可能性があります。この機能は慎重に使用してください。

デバイスの追加を開始する方法は、次のとおりです。

- HSV 携帯電話クライアント：携帯電話を使用して QR コードをスキャンし、携帯電話クライアントにデバイスを追加します。
- HSV PC クライアント HSV PC クライアントで P2P を選択してデバイスを追加できます。

セキュリティの理由から、P2P を通してデバイスを追加する前にクラウドアカウントにログインする必要があります。

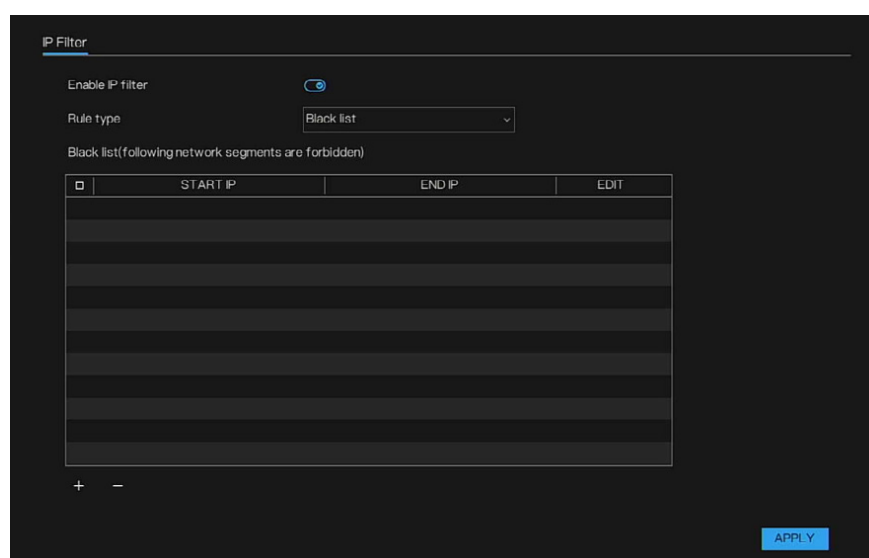
IP フィルタ

ホワイトリストを設定して、NVR にアクセスする IP アドレスを許可できます。また、ブラックリストを設定して、NVR にアクセスする IP アドレスを禁止できます。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > IP Filter [IP フィルタ]の順に移動します。

IP Filter [IP フィルタ]インターフェースが表示されます。

図 88 IP フィルタ



2. 機能を有効にして、ルールタイプ（ブラックリストまたはホワイトリスト）を選択します。

Black list [ブラックリスト]: 特定のネットワークセグメント内のアクセスを禁止する IP アドレス。

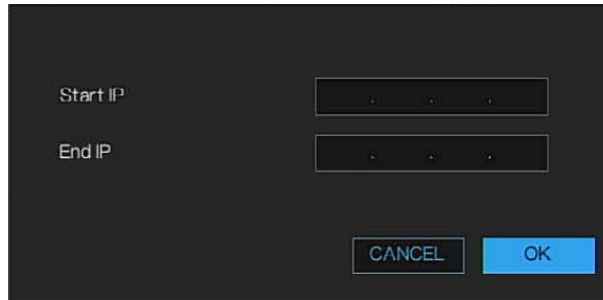
White list [ホワイトリスト]: 特定のネットワークセグメント内のアクセスを許可する IP アドレス

リストにある名前を選択して Delete [削除]をクリックし、リストから名前を削除します。

リストにある名前を選択して Edit [編集]をクリックし、リストの名前を編集します。

1 つのルールタイプだけが使用可能で、最後のルールタイプの設定が効率的です。

図 89 フィルタへの IP の追加



The image shows a dark-themed dialog box with two input fields. The first field is labeled 'Start IP' and the second is labeled 'End IP'. Both fields are empty. Below the fields are two buttons: 'CANCEL' and 'OK'. The 'OK' button is highlighted in blue.

3. OK をクリックして、IP のフィルタを保存します。
4. 設定している IP を選択して-をクリックし、IP セグメントを削除します。
5. APPLY [適用] をクリックして、設定を完了します。

SNMP

デバイスを MIB ビルダや MG-SOFT MIB ブラウザなどの一部のソフトウェアに接続して、ソフトウェアからデバイスを管理して制御できます。

- MIB ビルダや MG-SOFT MIB ブラウザなど、SNMP を管理して制御できるソフトウェアをインストールします。
- 現在のバージョンに対応する MIB ファイルをテクニカルサポートから入手します。

注記： この機能は一部のシリーズのみ対応しています。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > SNMP の順に移動します。

SNMP インターフェースが表示されます。

90 SNMPv1/2

SNMPv1/2 SNMPv3

SNMPv1

SNMPv2c

Write community

Read community

Trap address

Trap port 162

Trap community

APPLY

91 SNMPv3

SNMPv1/2 SNMPv3

SNMPv3

Read security name

Security level noauth

Auth algorithm MD5

Auth password Password

Encry algorithm DES

Encry password Password

Write security name

Security level noauth

Auth algorithm MD5

Auth password Password

Encry algorithm DES

Encry password Password

APPLY

2. SNMP パラメータを設定して、APPLY [適用]をクリックします。

表 27 SNMP パラメータ

パラメータ	説明
SNMPV1	SNMP のバージョン。
SNMPV2C	SNMPV1 および SNMPV2C では、コミュニティを使用して、マネージャーとエージェント間の信頼関係を確立します。エージェントは、3つのコミュニティ名、書き込みコミュニティ、読み取りコミュニティ、およびトラップをサポートします
Write community [書き込みコミュニティ]	書き込みコミュニティの名前。
Read community [読み取りコミュニティ]	書き込みコミュニティでは、データのみを変更できます。
Trap address [トラップアドレス]	読み取りコミュニティの名前です。
Trap port [トラップポート]	書き込みコミュニティでは、データの読み取りのみが可能です。
Trap community [トラップコミュニティ]	トラップの IP アドレスです。
SNMPV3	トラップからのメッセージを受け入れる管理ポートです。
Read security name [読み取りセキュリティ名]	トラップのコミュニティストリングです。
Write security name [書き込みセキュリティ名]	トラップコミュニティストリングを使用すると、マネージャーはエージェントから非同期情報を受信できます。
Security level [セキュリティレベル]	SNMP のバージョン。
Auth algorithm [認証アルゴリズム]	SNMPv3 ではコミュニティストリングが使用されますが、SNMP マネージャーとエージェント間のセキュアな認証と通信が実現されます。
Auth password [認証パスワード]	読み取りセキュリティの名前です。
Encry algorithm [暗号化アルゴリズム]	書き込みセキュリティの名前です。
Encry password [暗号化パスワード]	SNMP マネージャーとエージェント間のセキュリティレベルには、次の3つのレベルがあります。

3. MIB ビルダで2つの MIB ファイルをコンパイルします。

4. MG-SOFT MIB ブラウザを実行して、コンパイルからモジュールにロードします。
5. MG-SOFT MIB ブラウザで、管理するデバイスの IP を入力して、照会するバージョン番号を選択します。
6. MG-SOFT MIB ブラウザで、ツリー構造のディレクトリを展開して、チャンネル数やソフトウェアバージョンなどのデバイスの設定を取得します。

ネットワークトラフィック

Network Traffic [ネットワークトラフィック]インターフェースでは、送信レートと受信レートを表示できます。LAN のステータスはリストに表示されます。

Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > Network Traffic [ネットワークトラフィック]の順に移動します。Network Traffic [ネットワークトラフィック]インターフェースが表示されます。

図 92 ネットワークトラフィックインターフェース



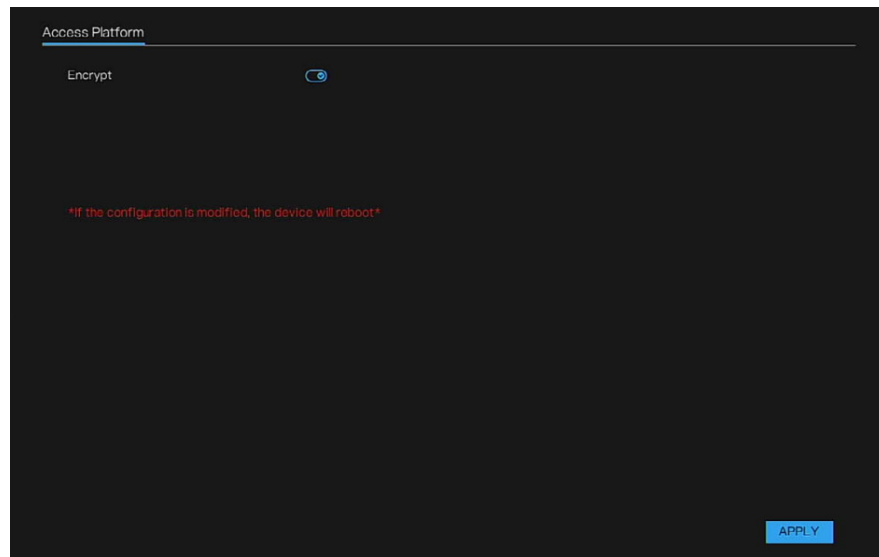
アクセスプラットフォーム

NVR は HSV プラットフォームにアクセスすることができ、接続の暗号化を有効にします。

1. Main Menu [メインメニュー] > Networks [ネットワーク] > Access Platform [アクセスプラットフォーム]の順に移動します。

Access Platform [アクセスプラットフォーム]インターフェースが表示されます。

図 93 アクセスプラットフォームインターフェース



2. NVR を HSV プラットフォームに追加するときに、プライベートプロトコル（暗号化）を選択し、デバイスを暗号化します。
3. APPLY [適用]をクリックして、設定を保存します。

システム設定の構成

情報

基本情報

Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Information [情報]の順に移動します。システム、ネットワーク、チャンネル、ディスク、アラームなどのデバイスの基本情報を確認できます。

図 94 N ネットワークステータス

Information	System	Networks	Channel	Disk	Alarm
General	Status Online				
User Account	IP address 192.168.32.219				
Security Center	Subnet mask 255.255.0.0				
Layout	Default gateway 192.168.32.254				
Auxiliary Screen	MAC address 00:1E:A4:00:64:12				
Logs	DHCP On				
Maintenance	Preferred DNS server 192.168.32.254				
	Alternate DNS server 8.8.8.8				
	Total bandwidth 1000.00 Mbps				
	Received packets 13.14 Mbps				

図 95 システムステータス

Information	System	Networks	Channel	Disk	Alarm
General	Device ID B01T003AGDH8J2986				
User Account	Device name Device				
Security Center	Device type NVR				
Layout	Model NVR3908E2-P8E-J				
Auxiliary Screen	Firmware version 1.22.2.0.20220524				
Logs	HDD number 2				
Maintenance	Channels supported 8				
	Alarm in 6				
	Alarm out 2				
	Audio in 1				
	Audio out 1				

図 96 チャンネルステータス

Information	System	Networks	Channel	Disk	Alarm																																																																								
General	<table border="1"> <thead> <tr> <th>CHANNE</th> <th>NAME</th> <th>STATUS</th> <th>VIDEO FORMAT</th> <th>RESOLUTION</th> <th>BITRATE(KBPS)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CH1</td> <td>Channel01</td> <td>Online</td> <td>H.264/H.264</td> <td>2592*1944/704*576</td> <td>2048/700</td> </tr> <tr> <td>CH4</td> <td>Channel04</td> <td>Online</td> <td>H.264/H.264</td> <td>2304*1296/704*480</td> <td>2048/700</td> </tr> <tr> <td>CH5</td> <td>Channel05</td> <td>Online</td> <td>H.264/H.264</td> <td>2304*1296/704*480</td> <td>2048/700</td> </tr> <tr> <td>CH7</td> <td>HCB3WLB8R2</td> <td>Online</td> <td>H.264/H.264</td> <td>1920*1080/704*480</td> <td>6144/1024</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					CHANNE	NAME	STATUS	VIDEO FORMAT	RESOLUTION	BITRATE(KBPS)	CH1	Channel01	Online	H.264/H.264	2592*1944/704*576	2048/700	CH4	Channel04	Online	H.264/H.264	2304*1296/704*480	2048/700	CH5	Channel05	Online	H.264/H.264	2304*1296/704*480	2048/700	CH7	HCB3WLB8R2	Online	H.264/H.264	1920*1080/704*480	6144/1024																																										
CHANNE	NAME	STATUS	VIDEO FORMAT	RESOLUTION	BITRATE(KBPS)																																																																								
CH1	Channel01	Online	H.264/H.264	2592*1944/704*576	2048/700																																																																								
CH4	Channel04	Online	H.264/H.264	2304*1296/704*480	2048/700																																																																								
CH5	Channel05	Online	H.264/H.264	2304*1296/704*480	2048/700																																																																								
CH7	HCB3WLB8R2	Online	H.264/H.264	1920*1080/704*480	6144/1024																																																																								
User Account																																																																													
Security Center																																																																													
Layout																																																																													
Auxiliary Screen																																																																													
Logs																																																																													
Maintenance																																																																													

図 97 ディスクの使用状況

DISK	CAPACITY	USED	SN	DISK MODEL	STATUS
Disk1	1 TB	197 GB	Z9CEAV5B	ST1000VX005-2E7102	Normal

図 98 アラームステータス

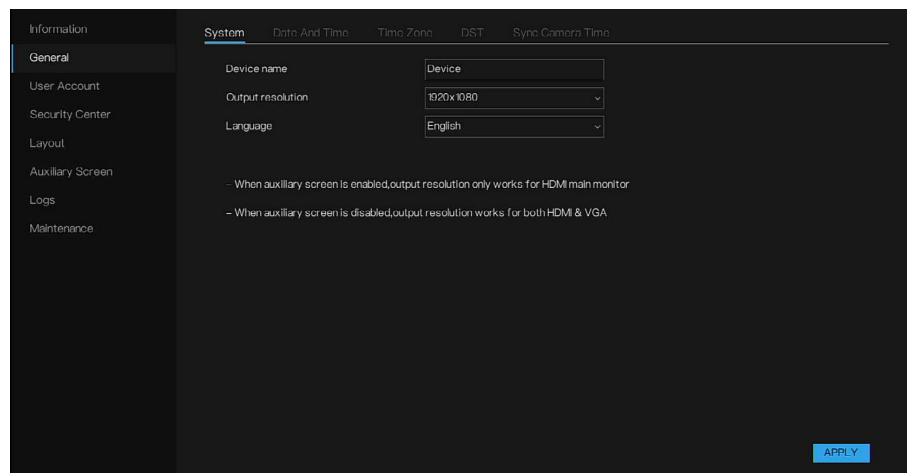
CHANNEL	NAME	MODE	ENABLE	RECORDING CHANNEL
Local-1	Sensor 1	N/O	On	
Local-2	Sensor 2	N/O	On	
Local-3	Sensor 3	N/O	On	
Local-4	Sensor 4	N/O	On	
Local-5	Sensor 5	N/O	On	
Local-6	Sensor 6	N/O	On	
Local->1		Close		
Local->2		Close		

一般

システム

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > General [一般] > System [システム]の順に移動します。

図 99 システム



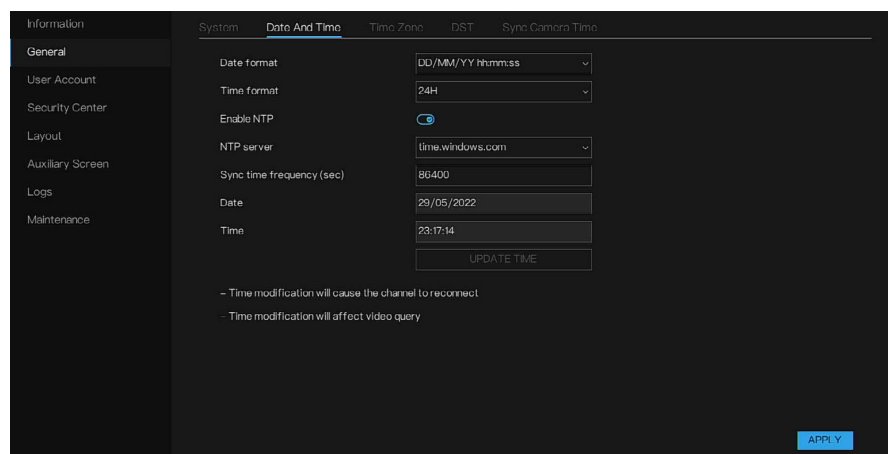
2. デバイス名を入力します。
3. 出力解像度と言語を選択します。
4. APPLY [適用]をクリックして、設定を完了します。

注記： Output resolution [出力解像度]を変更すると、デバイスは再起動します。補助画面が有効である場合、出力解像度は HDMI のメインモニターにのみ作用します。補助画面が無効である場合、出力解像度は HDMI と VGA の両方に作用します。VGA は最大 1080p をサポートします。

日付と時刻



1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > General [一般] > Date And Time [日付と時刻]の順に移動します。

図 100 日付と時刻



2. 日付と時刻のパラメータの設定を行います。

表 28 日付と時刻のパラメータ

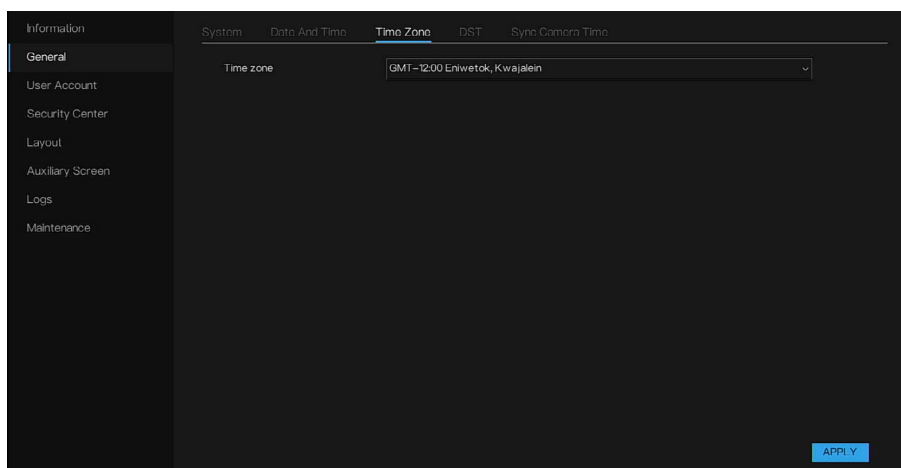
パラメータ	説明
Date format [日付形式]	システムの日付形式を選択します。
Time format [時刻形式]	時刻表示の形式に 12H [12 時間]または 24H [24 時間]を選択します。
Enable NTP [NTPの有効化]	NTP 機能を有効にして、デバイス時刻を NTP サーバーと同期させます。  NTP が有効になっている場合、デバイスの時刻は自動的にサーバーと同期されます。
NTP server [NTPサーバー]	NTP サーバーを選択して同期します。
Sync time frequency (sec) [同期時刻頻度 (秒)]	設定時間に NTP サーバーを同期します。  録画ビデオを検索できなくなるため、システム時刻をランダムに変更しないでください。先に録画期間を回避するか、録画を停止してから、システム時刻を変更することをお勧めします。
Date (Time) [日付 (時刻)]	同期時間を有効にしない場合、手動で日付 (時刻) を変更できます。

3. APPLY [適用]をクリックして設定を保存します。

タイムゾーン

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > General [一般] > Time zone [タイムゾーン]の順に移動します。

図 101 タイムゾーン

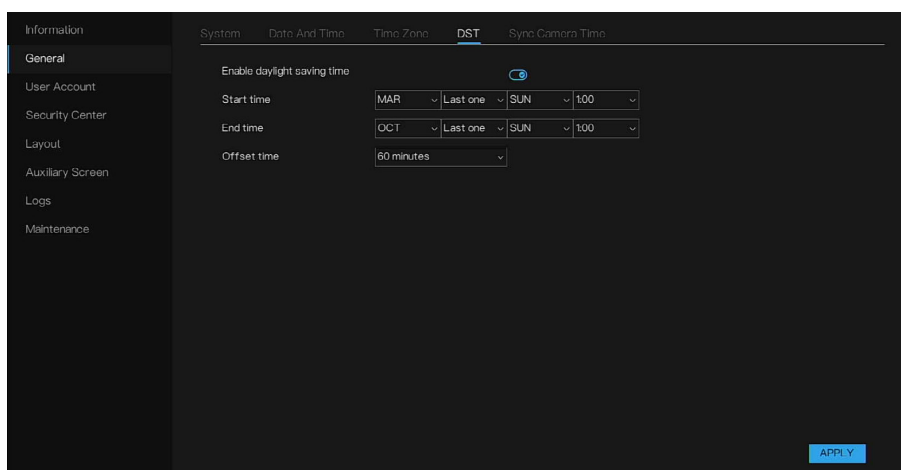


2. ドロップダウンリストからタイムゾーンを選択します。
3. APPLY [適用]をクリックして設定を保存します。

DST

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > General [一般] > DST の順に移動します。
2. 夏季時間機能を有効にします。

図 102 DST



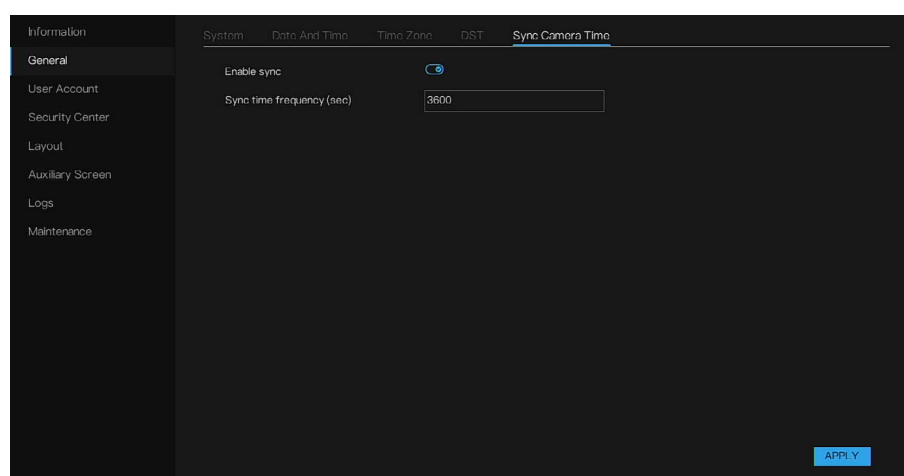
3. DST の開始時刻と終了時刻を設定します。開始時刻は、1 時間遅れます (ローカルルールにより 30 分の場合もあります)。
4. APPLY [適用]をクリックして設定を保存します。

注記： DST 設定は録画時刻に影響します。開始時刻は 60 分（デフォルト値） / 30 分 / 120 分です。終了時間には 2 つの部分の録画があります。

同期カメラ時刻

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > General [一般] > Sync Camera Time [同期カメラ時刻]の順に移動します。
2. 同期カメラ時刻機能を有効にします。

図 103 同期カメラ時刻



3. 同期時刻頻度を入力します。
4. APPLY [適用]をクリックして設定を保存します。

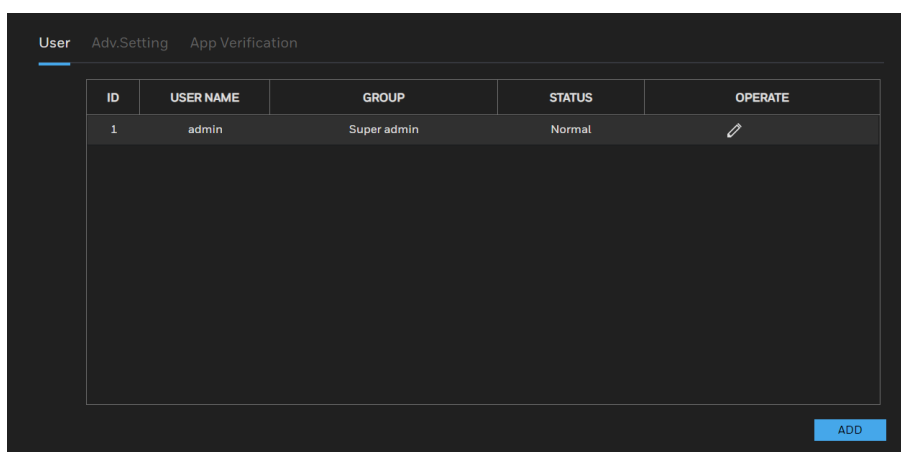
ユーザーアカウント

ユーザー

ユーザーインターフェースでは、現在のアカウントを編集して、新しいユーザーアカウントを作成できます。

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > User Account [ユーザーアカウント] > User [ユーザー]の順に移動します。

図 104 ユーザー




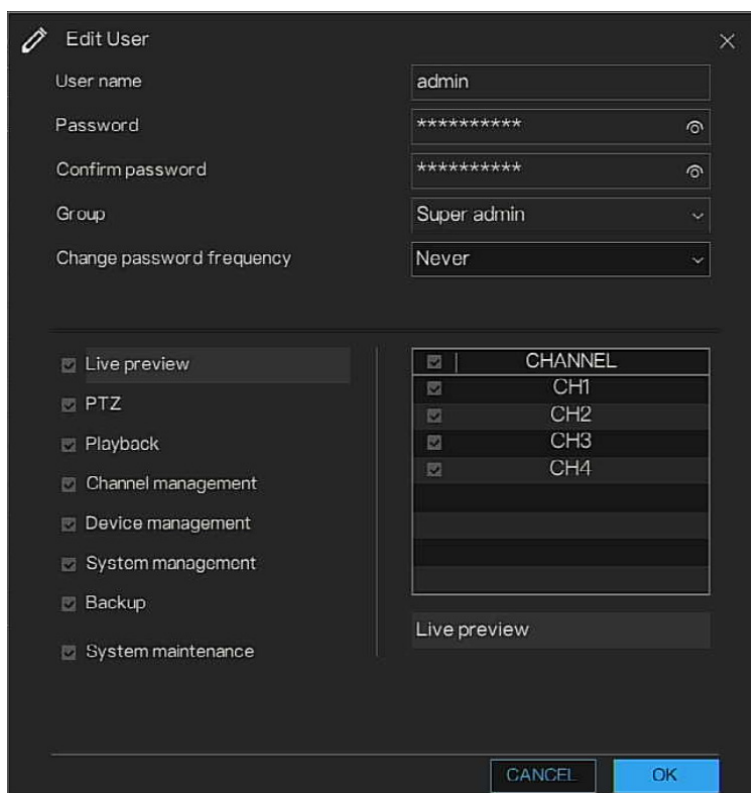
2.  をクリックしてアカウント情報を変更し、OK をクリックして、設定を保存します。

図 105 ユーザーの編集



3. 新しいアカウントを追加するには、ADD [追加]をクリックします。

図 106 ユーザーの追加

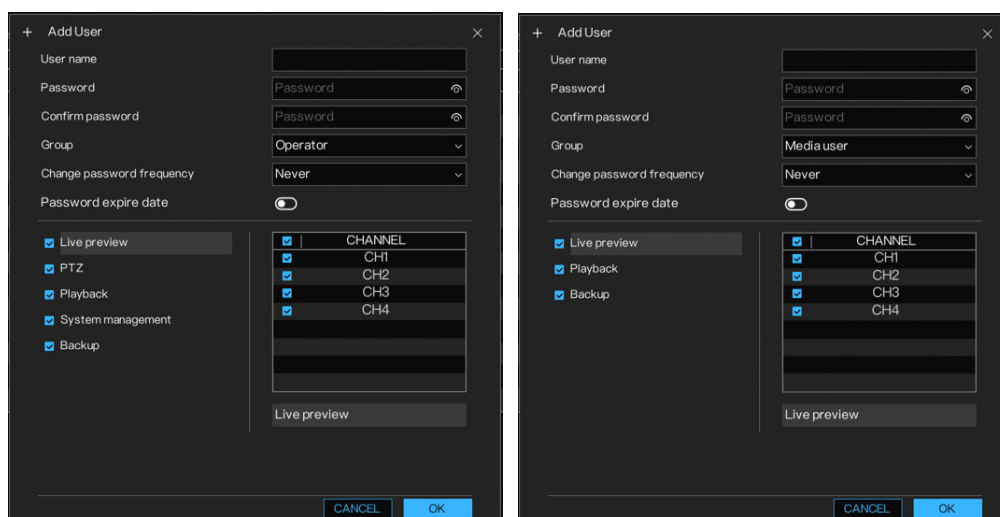
4. ユーザー名とパスワードを入力してドロップダウンリストから所属するグループを選択し、パスワード変更頻度を設定します。その後、現在のユーザーに対応する権限を確認できます。

表 29 追加インターフェースのパラメータ



パラメータ	説明
User Name [ユーザー名]	アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
Password [パスワード]	<p>ユーザー名は所定のルールを満たす必要があります。サポートされている特殊文字は次のとおりです。!@#\$%+ -=%&”`()./!,:;<>?^~[]</p> <p>パスワード要件：</p> <ul style="list-style-type: none"> -パスワードは、8～20 の文字数である -大文字と小文字を含む -数字を 1 つ以上含む -サポートしている記号は-_%^.^?#\$+=”.:&のみであり、これらの記号を 1 つ以上を含む -最初の文字は数字か文字にする -スペースは含まれない

パラメータ	説明
Confirm password [パスワードの確認]	パスワードを再入力します。
Group [グループ]	アカウントのグループを選択します。管理者/操作者/メディアユーザーの3つのグループがあります。 ユーザー権限は、グループ権限内にある必要があります。
Change password frequency [パスワード変更頻度]	デバイスの安全性を保つため、定期的にパスワードを変更します。
Password expire date [パスワード有効期限日]	有効にして、ユーザーアカウントの期間を設定します。

図 107 権限



5. OK をクリックします。

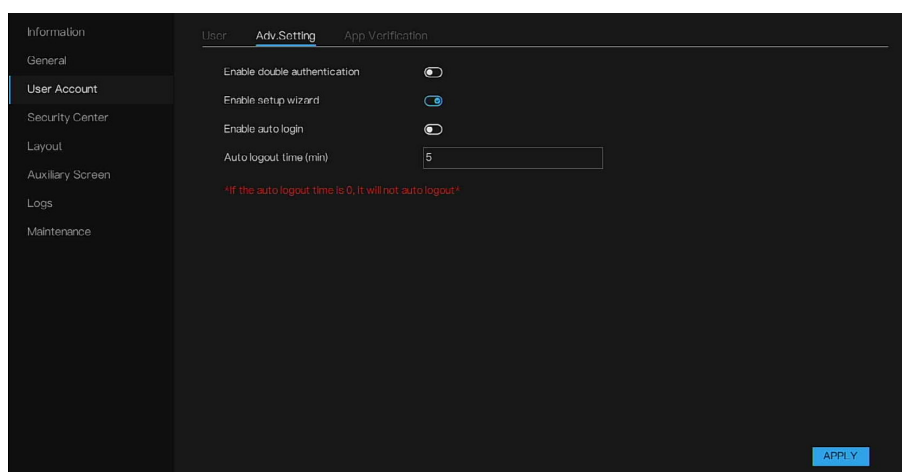
 をクリックして対応するユーザー情報を変更し、 をクリックしてユーザーを削除します。

Adv. 設定

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > User Account [ユーザーアカウント] > Adv. Setting [Adv.設定]の順に移動します。

Adv.Setting [Adv.設定]インターフェースが表示されます。

図 108 高度設定



2. Double Authorization [二重承認]を有効にします。2つのアカウントのログインが必要です。
3. Setup Wizard [セットアップウィザード]を有効にします。ウィザードはデバイスの電源を入れる则表示されます。
4. Auto login [自動ログイン]を有効にします。デバイスは常にログインの状態になります。有効になっていない場合は、設定時間後に自動ログアウトされます。

アプリの確認

ホワイトリストを追加して、アプリでこのデバイスを管理できます。アプリの確認を有効にしていると、ホワイトリストにユーザーのセキュリティコードがある場合にのみ、NVR をアプリに正常に追加できます。

図 109 アプリの確認

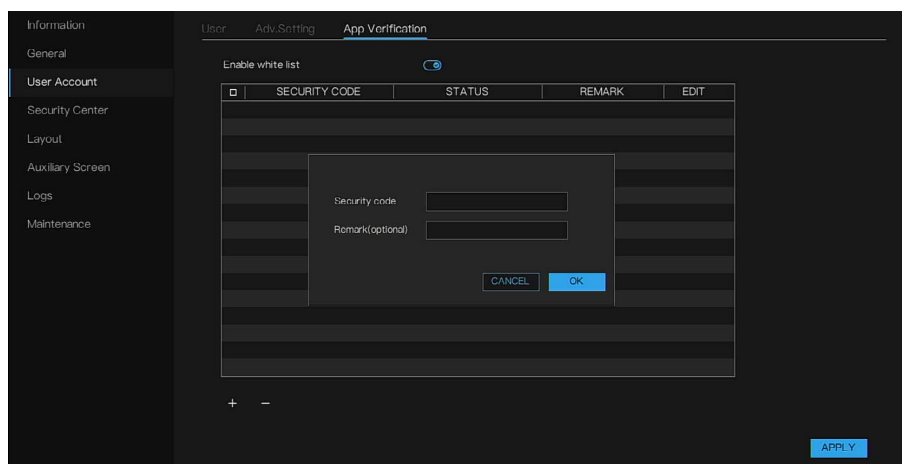
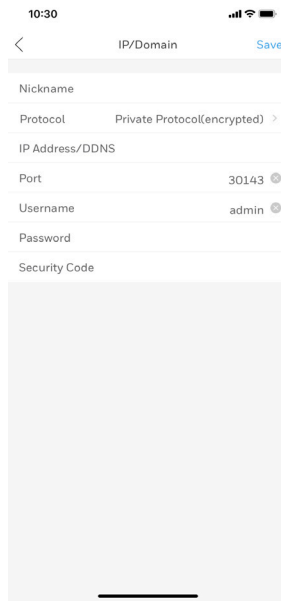


図 110 アプリのセキュリティコードの入力



注記： デバイスに追加できるセキュリティコードは、最大 20 で、それらの備考は変更できます。

NVR は、UI、Web、アプリ、プラットフォームを含めて最大 8 つのクライアントが管理します。

セキュリティセンター

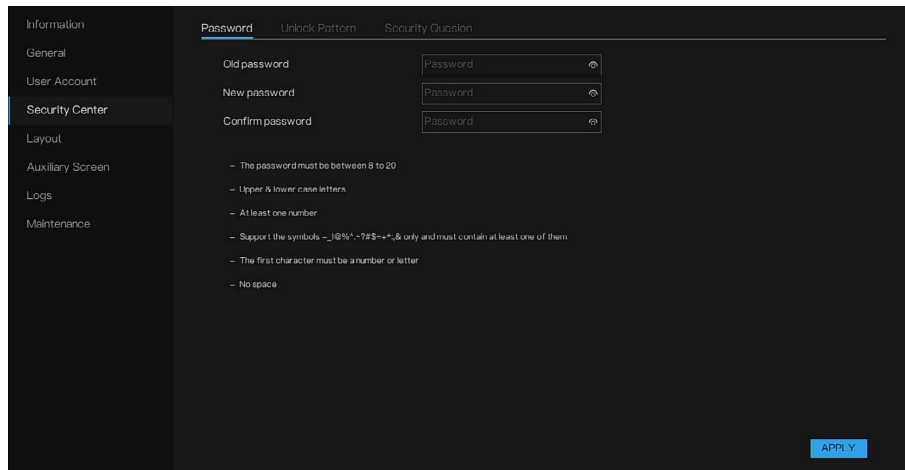
注記： この機能は管理者ユーザー専用です。

Password [パスワード]

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Security Center [セキュリティセンター] > Password [パスワード]の順に移動します。

Password [パスワード] インターフェースが表示されます。

図 111 パスワード



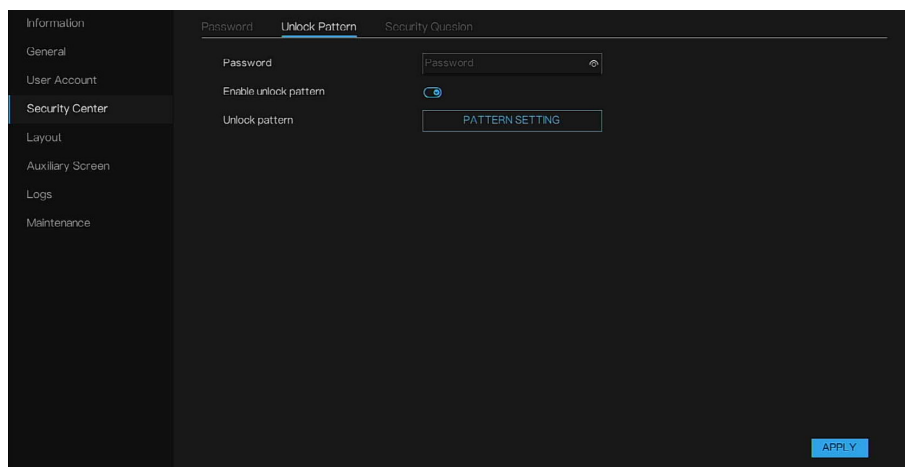
2. 古いパスワード、新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを確認します。
3. APPLY [適用]をクリックして、設定を保存します。

ロック解除パターン

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Security Center [セキュリティセンター] > Unlock Pattern [ロック解除パターン]の順に移動します。

Unlock Pattern [ロック解除パターン]インターフェースが表示されます。

図 112 ロック解除パターン



2. パスワードを入力し、パターンの描画でデバイスにログインするようにロック解除パターンを有効にします。

3. PATTERN SETTING [パターン設定]をクリックして、パターンを設定します。
4. APPLY [適用]をクリックして、設定を保存します。

セキュリティ質問

セキュリティ保護のための質問と回答を設定できます。セキュリティ保護のための質問に正しく回答すると、管理者アカウントのパスワードをリセットできます。

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Security Center [セキュリティセンター] > Security Question [セキュリティの質問]の順に移動します。

Security Question [セキュリティの質問]インターフェースが表示されます。

図 113 セキュリティの質問

The screenshot shows a web interface for configuring security questions. On the left is a navigation menu with 'Security Center' highlighted. The main content area has three tabs: 'Password', 'Unlock Pattern', and 'Security Question'. Under 'Security Question', there are three questions and their corresponding answer fields. The questions are: 'What was your childhood nickname?', 'In what city or town was your first job?', and 'What is your best friend's birthday month and year?'. Below the answer fields, there are two lines of instructions: '- Please enter at least 1 characters for the answer' and '- Please enter up to 32 characters for the answer'. An 'APPLY' button is located at the bottom right of the form.

2. パスワードを入力します。
3. 適切なセキュリティ保護のための質問と回答を入力します。
4. APPLY [適用]をクリックします。

セキュリティ保護のための質問を正しく設定した後、質問に回答して管理者パスワードをリセットできます。

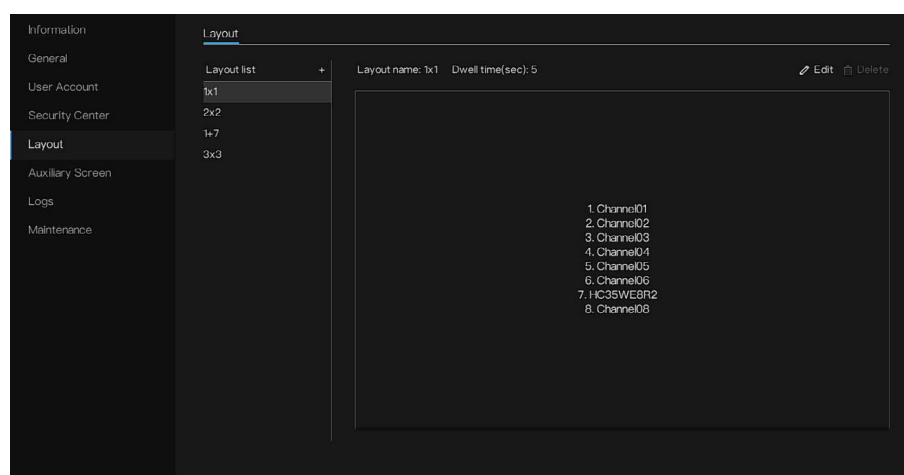
レイアウト

表示画面の表示するビデオモード、滞留時間を設定します。レイアウトは自動シーケンスの複数のページに設定されます。

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Layout [レイアウト] の順に移動します。

Layout [レイアウト] インターフェースが表示されます。

図 114 レイアウト



2. +をクリックして新しいレイアウトを追加します。デフォルトのレイアウトは1つの分割画面です。
3. レイアウト名を入力し、SEQ Dwell time [SEQ 滞留時間] ドロップダウンリストから滞留時間を選択します (リアルタイムビデオが設定時間に応じて表示画面にループ再生されます)。
4. 分割画面のモードをページ下部で選択するか、チャンネルを特定の位置にドラッグしてチャンネルの表示モードを設定するか、最初に場所を選択し、チャンネルをクリックして配置します。1つの分割画面では複数のチャンネルを再生することができて、自動シーケンスで設定ページを再生します。たとえば、最初の分割画面は2ページ (チャンネル1と2) に設定し、2番目の分割画面は1ページ (チャンネル3) に設定します。自動シーケンスが有効な場合、チャンネル1とチャンネル3の表示、次にチャンネル2とチャンネル3の表示になります。

5. APPLY [適用]をクリックして、設定を保存します。

注記： ユーザーは最大 16 のレイアウトを追加できます。

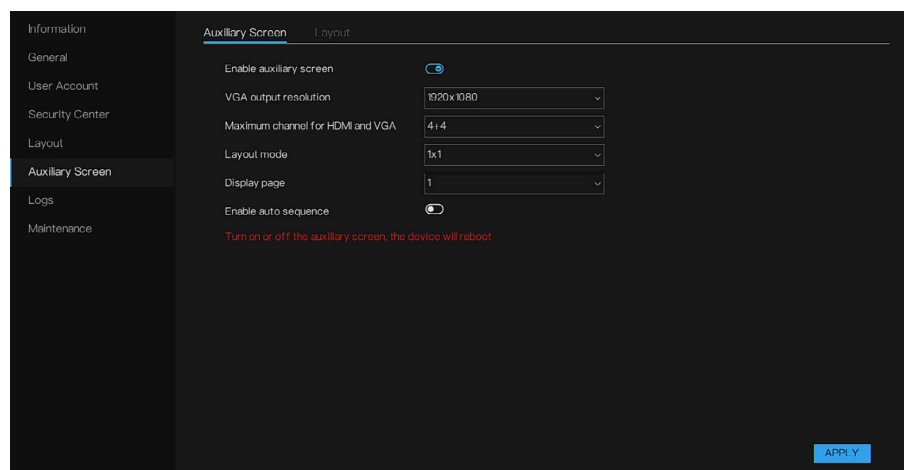
補助画面

- 注記：
- この機能は、8 つ以上のチャンネルがあるデバイスにも適用されます。メイン画面は HDMI で接続し、補助画面は VGA で接続します。サポートされる最大の解像度は 1080p です。
 - HN350401xx / HN35040100N 用のデバイスは、コピー画面のみをサポートします。つまり、デバイスを 2 つのモニターに接続すると、モニターには同じ内容が表示されます。

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Auxiliary Screen [補助画面]の順に移動します。

Auxiliary Screen [補助画面]インターフェースが表示されます。

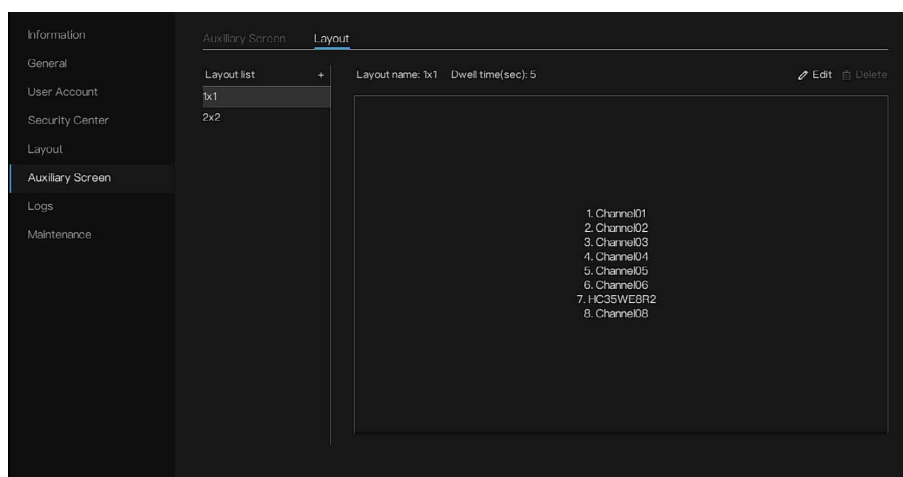
図 115 補助画面



2. 補助画面を有効にします。
3. VGA output resolution [VGA 出力解像度]を設定します。最も推奨される解像度は 1920*1080 です。

- Maximum channel for HDMI and VGA [HDMI と VGA の最大チャンネル]を設定します。デバイスのチャンネル数は「半数+半数」になります。たとえば、デバイスが 16 のチャンネルの場合、Maximum channel for HDMI and VGA [HDMI と VGA の最大チャンネル]は「8+8」になります。
- レイアウトモードは、デバイスが 16 のチャンネルの場合、1x1、2x2 または 1+7 に設定できます（選択するモードはデバイスのチャンネル数により異なります）。
- 表示ページを設定します。補助画面は、構成した表示ページに応じた表示になります。補助画面の表示は、Layout[レイアウト]タブで設定できます。表示ページ数は、設定したレイアウトモードにより異なります。たとえば、16 チャンネルのデバイスで 2 x 2 にレイアウトモードを設定した場合、Display page [表示ページ]では 1/2/3/ 4 を選択できます。

図 116 補助画面 - レイアウト



- 自動シーケンスを有効にすると、補助画面は自動的に設定したレイアウトに従った順序になります。
- APPLY [適用]をクリックします。

ログ

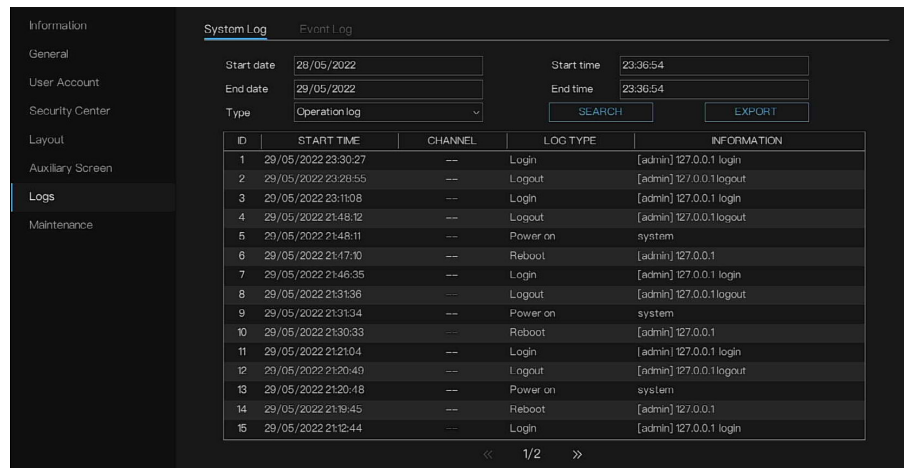
ログ情報を表示して検索したり、USB デバイスにログをバックアップしたりできます。

システムログ

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Logs [ログ] > System Log [システムログ]の順に移動します。

System Logs [システムログ]インターフェースが表示されます。

図 117 ログ - システムログ



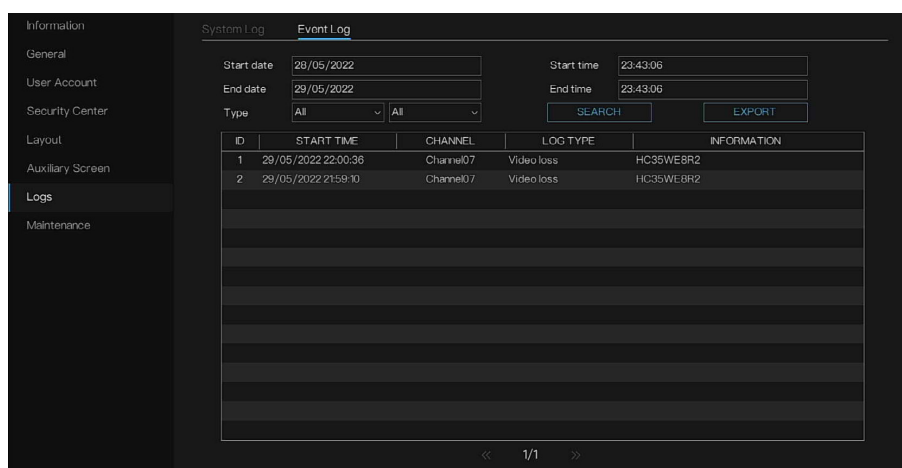
2. Start Time [開始時刻]ボックスと End Time [終了時刻]ボックスに、検索する期間を入力します。
3. Type [種類]リストで、表示するログの種類を選択し、Search [検索]をクリックします。
4. 検索結果が表示され、EXPORT [エクスポート]をクリックして結果をUSBディスクにバックアップします。

イベントログ

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Logs [ログ] > Event Log [イベントログ]の順に移動します。

Event Logs [イベントログ]インターフェースが表示されます。

図 118 イベントログ



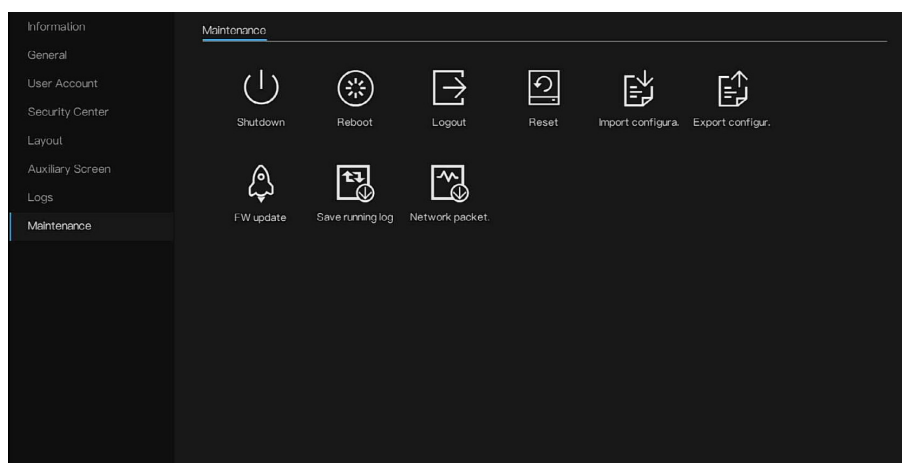
2. Start Time [開始時刻]ボックスと End Time [終了時刻]ボックスに、検索する期間を入力します。
3. Type [種類]リストで、表示するログの種類を選択し、SEARCH [検索]をクリックします。
4. 検索結果が表示され、EXPORT [エクスポート]をクリックして結果を USB ディスクにバックアップします。

メンテナンス

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Maintenance [メンテナンス]の順に移動します。

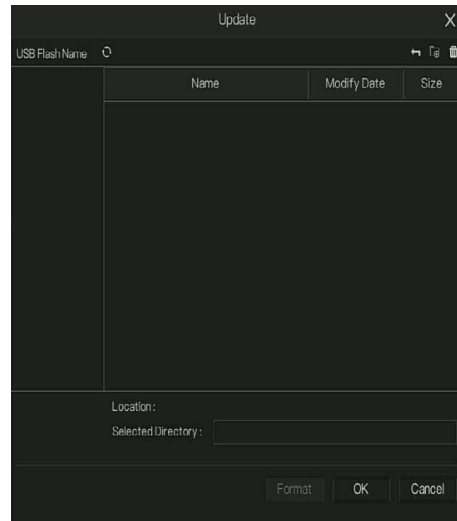
Maintenance [メンテナンス]インターフェースが表示されます。

図 119 メンテナンス



2. Shutdown [シャットダウン]/Reboot [再起動]/Logout [ログアウト]/Reset[リセット]をクリックするか、必要に応じて NVR を更新して操作します。
3. FW Update [FW 更新]をクリックして、ファームウェアを更新します。

図 120 インターフェースの更新



4. 構成をインポートおよびエクスポートします。

注記： アップグレードを実行するために、USB ストレージデバイスが挿入されていることを確認してください。

デバイスを起動すると、USB ストレージデバイスが接続されているかどうか、また U-boot アップグレードファイルがあるかどうか、システムにより自動的にチェックされます。アップグレードファイルが存在し、チェック結果が正しい場合は、システムによって自動的にアップグレードが行われます。

システム設定のエクスポート

同じセットアップを必要とするデバイスが複数ある場合は、デバイスのシステム設定をエクスポートまたはインポートできます。

注記： バックアップ操作が他のインターフェースで実行中の場合、Import/Export [インポート/エクスポート]インターフェースを開くことはできません。

Import/Export [インポート/エクスポート]インターフェースを開くと、システムによってデバイスが更新され、現在のディレクトリが最初のルートディレクトリとして設定されます。

Format [フォーマット]をクリックして、USB ストレージデバイスをフォーマットします。

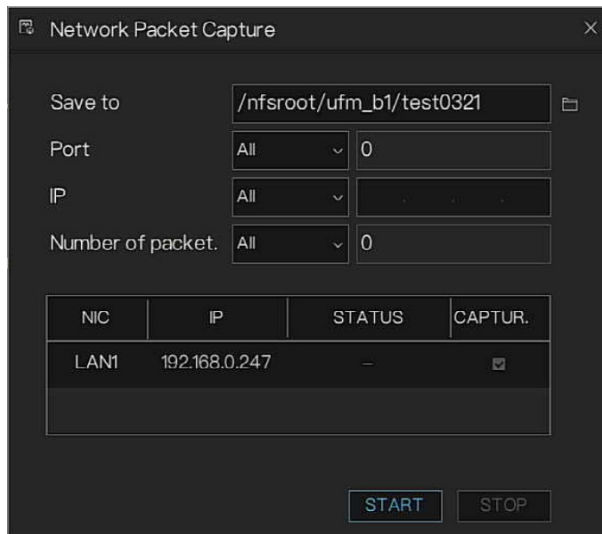
1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Maintenance [メンテナンス] > Import/Export Configuration [構成のインポート/エクスポート]の順に移動します。
2. USB ストレージデバイスをデバイスのいずれかの USB ポートに挿入します。
3. Import Configuration [構成のインポート] / Export Configuration [構成のエクスポート]をクリックして、インターフェースを更新します。

ネットワークパケットキャプチャ

注記： NVR が USB ディスクに接続されている場合は、network packet capture [ネットワークパケットキャプチャ]をクリックして、パケットキャプチャの関連するパラメータを設定します。キャプチャしたデータは、ダウンロードして、デバイスの問題解析に使用できます。

1. Main Menu [メインメニュー] > System [システム] > Maintenance [メンテナンス] > Network Packet Capture [ネットワークパケットキャプチャ]の順に移動します。
2. Network Packet Capture [ネットワークパケットキャプチャ]をクリックして入力します。

図 121 ネットワークパケットキャプチャインターフェース



3. USB パスを選択して、ファイルを保存します。
4. ポート、IP、キャプチャするパケットの数を設定します。デフォルトの設定は All [すべて] ですが、カスタマイズを選択して設定できます。
5. START [開始]をクリックしてキャプチャします。STOP [停止]をクリックしてキャプチャを停止します。ファイルを解析できます。

ライブビュー設定の構成

ログインした後でシステムがメインメニューに進んでから、ライブビューをクリックします。各チャンネルのモニタービデオを表示できます。

表示されるウィンドウの数は異なる場合があります。実際の製品が優先されるものとします。

ライブビュー

ライブビューインターフェースでは、各チャンネルのモニタービデオを表示できます。対応する情報をオーバーレイすると、対応するチャンネルに日付、時刻、チャンネル名が表示されます。詳細情報については、以下の表を参照してください。

図 122 ライブビューインターフェース

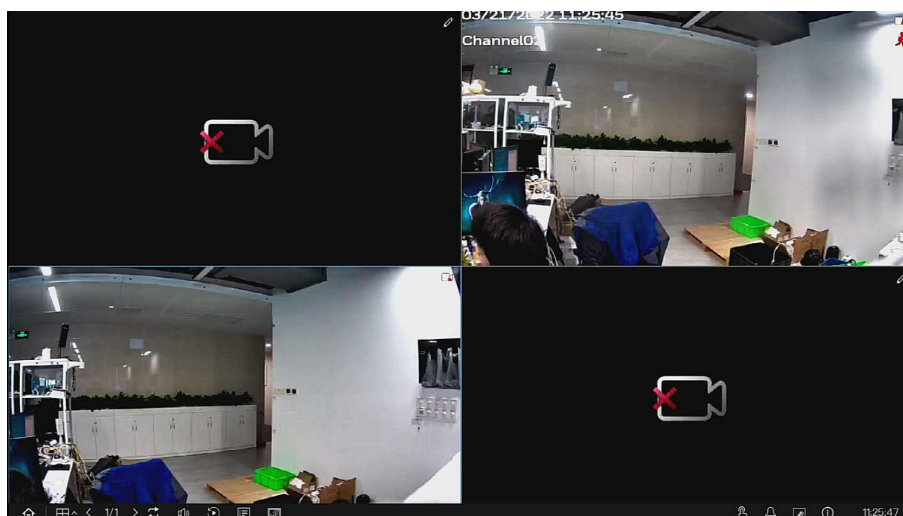













表 30 ナビゲーションバーのアイコン

アイコン	説明
	メインメニュー
	レイアウト: ライブビューを表示するレイアウトを選択または設定します。
	レイアウトの次のページに切り替えます。
	自動シーケンス: クリックしてライブビューをレイアウト画面で自動的に再生します。
	音量: オーディオ出力の音量を調整します。
	再生: アイコンをクリックして再生インターフェースを表示します。詳細については、 再生 を参照してください。
	チャンネル情報: チャンネル番号またはストリーム情報を選択して表示します。チャンネルを選択して、ライブビューでインフォメーションを表示できます。
	ライブビュー戦略: スムーズさ/バランス/リアルタイムの3つのモードがあります。
	手動アラーム: クリックして手動アラームポップアップウィンドウを表示します。NVR IO アラーム入力ポートとチャンネルカメラアラーム入力ポートを手動で操作します。
	イベントリスト: リアルタイムアラームメッセージを表示します。
	アラームをクリアします。


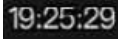


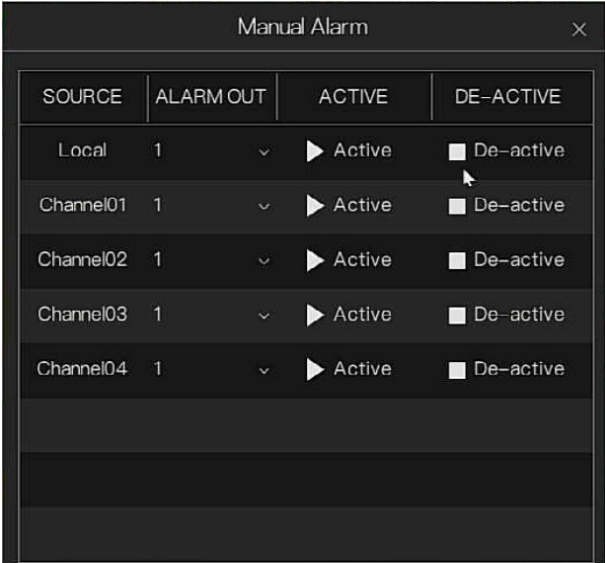
アイコン	説明
	情報、ネットワーク、システム、チャンネル、ディスク、アラーム情報。
	NVR の時刻です。
	現在のチャンネルが録画しています。
	アラーム：現在のチャンネルでモーション検出アラームが発生しています。


図 123 手動アラーム



Manual Alarm

SOURCE	ALARM OUT	ACTIVE	DE-ACTIVE
Local	1	▶ Active	■ De-active
Channel01	1	▶ Active	■ De-active
Channel02	1	▶ Active	■ De-active
Channel03	1	▶ Active	■ De-active
Channel04	1	▶ Active	■ De-active

図 124 イベントリストのポップアップウィンドウ



Events List

CHANNEL	TYPE	START TIME
Channel3	Motion detection	2022/03/29 11:19:56
Channel3	Motion detection	2022/03/29 11:09:03
Channel2	Motion detection	2022/03/29 10:48:42
Channel3	Motion detection	2022/03/29 10:16:52
Channel2	Motion detection	2022/03/29 10:16:38
Channel2	Motion detection	2022/03/29 10:05:22
Channel3	Motion detection	2022/03/29 10:05:11
Channel3	Video loss	2022/03/29 10:02:17
Channel2	Video loss	2022/03/29 10:02:16
---	Network disconn.	2022/03/29 10:02:04
Channel2	Motion detection	2022/03/29 09:59:49
Channel3	Motion detection	2022/03/29 09:59:48

ライブビューコントロールインターフェース

現在のチャンネルのビデオにマウスを移動してマウスを左クリックすると、ライブビューコントロールインターフェースがポップアップ表示されます。

ライブビューインターフェースでマウスを右クリックすると、コントロールバーが非表示になります。

- 注記：
- この機能を使用する前に、ナビゲーションバーがインターフェースに表示されている場合は無効にしてください。
 - ライブビューコントロールインターフェースはモデルによって異なり、実際のインターフェースが優先されるものとします。

図 125 ライブビューコントロールバー

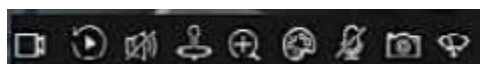











表 31 ライブビューコントロールアイコン

アイコン	説明
	録画：手動の録画 再生時間バーが黄色で表示されます。
	即時再生 クリックして即時再生します。 即時再生 を参照してください。
	音声 チャンネル音声を開くか、または閉じます。
	PTZ モニターしている PTZ カメラ用に使用します。アイコンをクリックして PTZ インターフェースを表示します。詳細については、 PTZ コントロール を参照してください。
	デジタルズーム
	画像 詳細については、 センサー設定 を参照してください。

アイコン	説明
	双方向音声 双方向通話を参照してください。
	スナップショット 手動スナップショットを参照してください。
	ワイパー ワイパーを装備している PTZ カメラの場合、クリックしてカメラのワイパーを制御します。アイコンをクリックするたびに、カメラのワイパーが 1 回スワイプします。

即時再生

現行チャンネルの過去 5 分の録画を再生できます。


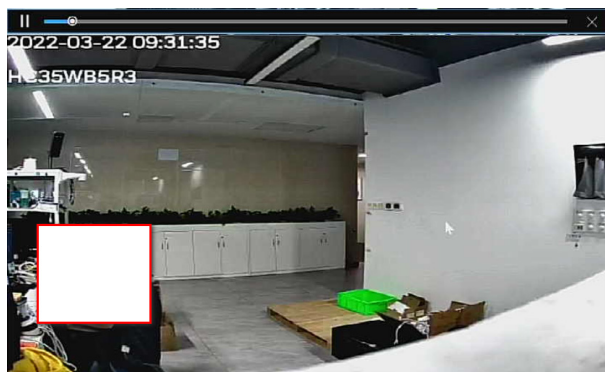
 をクリックして、即時再生インターフェースに移動します。

図 126 即時再生インターフェース



即時再生とは、現行チャンネルの過去 5 分の録画を再生することです。

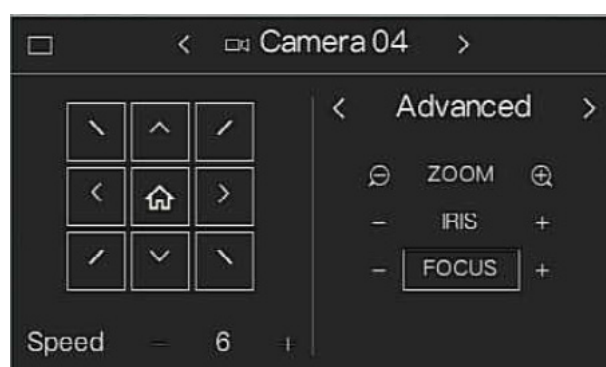
- スライダーを動かして、再生を開始する時間を選択します。
- 再生、一時停止、再生を終了します。
- チャンネル名や録画ステータスアイコンなどの情報は、即時再生中は保護され、終了するまで表示されません。
- 再生中は、画面分割レイアウトの切り替えはできません。

PTZ コントロール

PTZ コントロールパネルでは、カメラを 8 方向に向けたり、ズームやフォーカス、絞りの設定を調整したり、すばやく位置決めしたりできます。







ライブビュー画面を左クリックして、PTZ を選択します。PTZ コントロールパネルが表示されます。

図 127 PTZ コントロールパネル



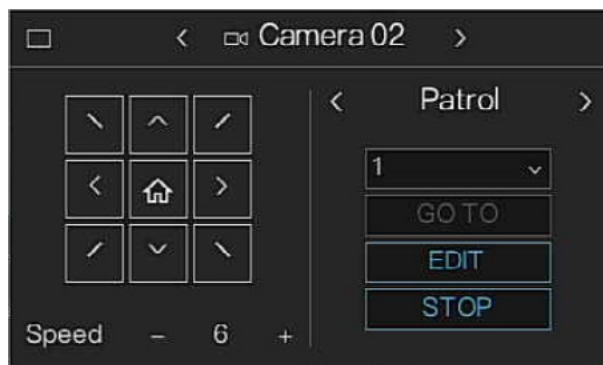
- 注記：
- ・ グレーのボタンは、システムで現在の機能をサポートしていないことを意味します。
 - ・ 一部のシリーズ製品では、PTZ 機能はワンウィンドウモードで有効です。

表 32 PTZ コントロールパネルのパラメータ

パラメータ	説明
Speed [速度]	移動速度を制御します。値が大きいほど、動きが速くなります。
Zoom [ズーム]	 : ズームアウト  : ズームイン
Focus [フォーカス]	 : フォーカスを遠くに  : フォーカスを近くに
Iris [絞り]	 : 画像を暗く  : 画像を明るく
PTZ movement [PTZ の動作]	8 方向をサポート

パラメータ	説明
Preset [プリセット]	PTZ カメラをポイントの場所に移動し、ID を選択して SAVE [保存] をクリックし、現在のプリセットに追加します。ID を 1 つ選択し、GOTO [移動] をクリックすると PTZ カメラがプリセットの場所に直接移動します。 NVR には 255 のプリセットポイントがありますが、PTZ カメラでは 400 のプリセットポイントを設定できます。NVR は 1~255 のみのカメラのプリセットポイントを調整できます。
Patrol [パトロール]	NVR では、パトロールを設定して複数のプリセットを調整します。

図 128 パトロールの追加パネル



ID (4 つのパトロールを追加可能) を選択して EDIT [編集] をクリックして設定を開始します。



+ をクリックしてパトロールにプリセットを追加し、とどまる期間を設定します。これらの手順を何回か繰り返してパトロールにプリセットをさらに追加します。

注記： 追加したプリセットは削除できません。上書きのみをすることができます。

SAVE [保存] をクリックして、パトロールを保存します。REMOVE ALL [すべて削除] をクリックしてプリセットをクリアします。

デジタルズーム

現行チャンネルで指定したゾーンを拡大して、詳細を表示できます。マルチチャンネルのズームイン機能をサポートしています。次の 2 つの方法があります。

-  をクリックして、アイコンを  に切り替えます。マウスを移動して拡大します。最大 400% に拡大されます。マウスの左ボタンを放すと、デジタルズームされます。
- 拡大する中心をポイントして、ホイールボタンを回して領域を拡大します。

デジタルズームインターフェースを [図 129](#) に示します。画像が拡大表示されている場合は、画像を任意の方向にドラッグして他の拡大領域を表示できます。マウスを右クリックしてズームをキャンセルすると、元のインターフェースに戻ります。

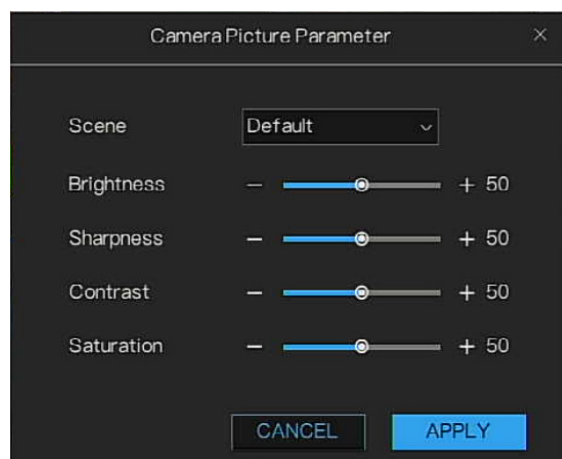
図 129 デジタルズームインターフェース



画像




シーン、明るさ、鮮明度、コントラスト、彩度などのカメラ画像パラメータを設定できます。

図 130 カメラ画像パラメータインターフェース




双方向通話

デバイスとリモートデバイス間で音声対話を実行して、緊急時の能力を向上させることができます。

1. をクリックして、双方向通話機能を開始すると、アイコンがになります。これで、デジタルチャンネルの残りの双方向通話ボタンも無効になります。
2. もう一度をクリックすると、双方向通話をキャンセルできます。

手動スナップショット

ビデオのスナップショットを撮影して、USB ストレージデバイスに保存できます。

をクリックすると、スナップショットを撮影できます。スナップショットは、接続されている USB ストレージデバイスに自動的に保存されます。お使いの PC でスナップショットを表示できます。

注記： USB ディスクを事前に NVR に取り付けないでスナップショットアイコンをクリックすると、「Please mount available devices first（最初に、使用可能なデバイスを取り付けてください）」が表示されます。

再生

時刻インターフェース

NVR で録画されたファイルを検索して、再生できます。


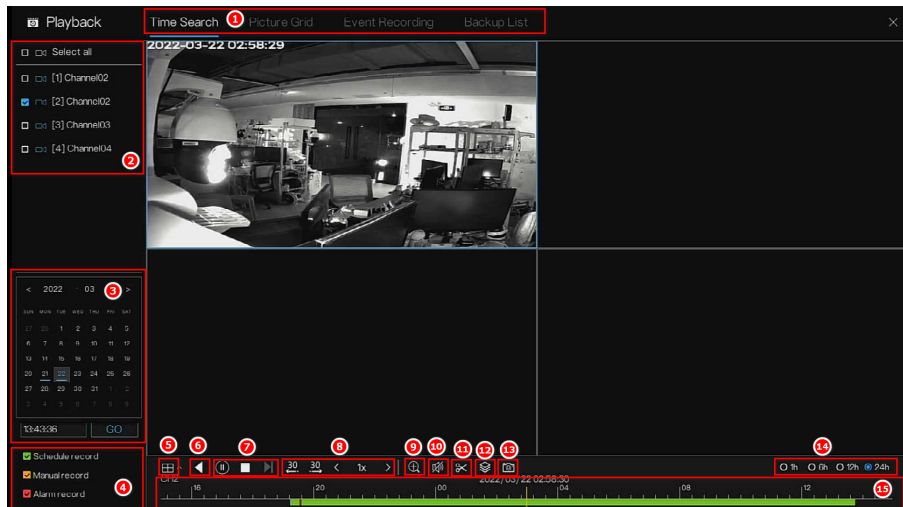









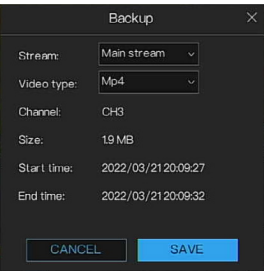

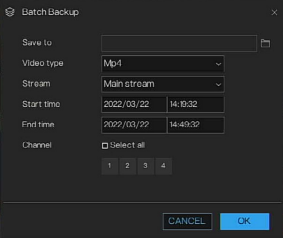


Main Menu [メインメニュー] > Playback [再生]の順に移動するか、ライブビューボタンナビゲーションバーのをクリックすると、再生インターフェースが表示されます。

図 131 再生



番号/アイコン	説明
1	再生の種類 (Time Search [時間検索]/Picture Grid [画像グリッド]/Event Recording [イベント録画]/Backup List [バックアップリスト]) を選択します。
2	チャンネルリスト 青いアイコン  は、動画の録画ありです 白いアイコン  は、動画の録画なしです。
3	カレンダー マーク付きの青い日付は、動画の録画があることを示します (その時点ですべてのチャンネルではありませんが、いくつかのチャンネルが録画していることを意味します)。または、動画の録画の詳細な時刻を設定します。
4	異なる録画：スケジュール録画 (緑色)、手動録画 (黄色)、アラーム録画 (赤色) を選択します。色は時間バーを示しています。
5	 : 分割画面：検索した録画の動画や画像を表示します。シングルチャンネル、4チャンネル、9チャンネル、16チャンネルでの同時再生をサポートしています。実際のインターフェースが優先されるものとします。
6	 : リバース：キーフレームを再生します。
7	 : 一時停止/停止/次のフレーム：クリックして、再生/一時停止を切り換えます。 ユーザーは、ライブビデオと同様に録画を操作できます。
8	 : 30秒戻る/30秒進む/3倍速-/3倍速+

番号/アイコン	説明
9	 : デジタルズーム：アイコンをクリックして 1 つの画面に入り、チャンネルをデジタルズームします。
10	 音声：チャンネル音声を開くか、または閉じます。
11	 : クリックするとバックアップを開始、再度クリックするとバックアップが終了してポップアップウィンドウを表示、SAVE [保存] をクリックすると録画が NVR に取り付けられた USB ディスクに保存されます。  ストリームおよびビデオタイプを選択できます。
12	 : バッチバックアップ：アイコンをクリックしてバッチバックアップを設定するポップアップウィンドウを表示します。  保存するパス、ビデオタイプ (MP4 または AVI)、ストリーム (メインストリームまたはサブストリーム) を選択します。開始時刻と終了時刻を設定します。チャンネルを選択します。OK をクリックしてダウンロードします。結果は Backup List [バックアップリスト] インターフェースに表示されます。
13	 : スナップショット：現在の画像のスナップショットを作成します。
14	 時間バー：録画の時間を表示します。
15	<p>現在録画しているビデオの種類と時間を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 つの時間バーのみが表示されます。 • 色のついた領域をクリックして、手動録画またはアラーム録画を開始します。 • 時間バーの色：緑色はスケジュール録画を示し、赤色はアラーム録画を示し、黄色は手動録画を示します。

番号/アイコン	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • 時間バーをクリックして押したままにすると、ドラッグして目標時間の再生を表示できます。 • 縦の黄色い線は中央に置かれていて、詳細な時刻をダブルクリックすると黄色い線の場所に表示されます。

- 注記：
- ビデオ録画は、DST が開始されるときに、DST が作用するために 1 時間が失われます。
 - NVR 時刻は、DST STOP が作用する間に最後の時間に戻る必要があります。そのため、DST 終了時刻のビデオ録画は 2 つになります。
 - DST END TIME のビデオ録画を再生する場合、NVR は常に最初のビデオ録画を再生します。2 番目のビデオ録画を選択して再生することはできません。2 番目のビデオ録画をするには、最初のビデオ録画の再生が終わり、次に NVR が 2 番目のビデオ録画の再生を続けるのを待つ必要があります。
 - DST END TIME のビデオ録画をダウンロードするには、DST END TIME よりも先のビデオ録画の期間を選択する必要があります。そうすると DST END TIME のビデオ録画（2 倍のビデオ）がダウンロードされます。

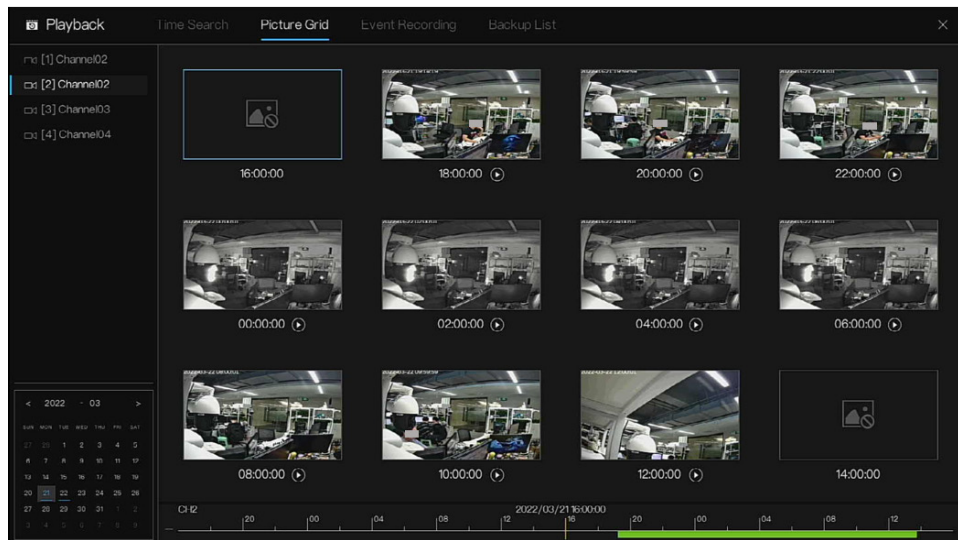
画像グリッド

画像グリッドは、あるチャンネルのビデオを時間範囲で均等に分割し、ビデオを時間範囲で分割したサムネイルに基づいて検索することです。

1. Main Menu [メインメニュー] > Playback [再生] > Picture Grid [画像グリッド]の順に移動します。

Picture Grid [画像グリッド]インターフェースが表示されます。

図 132 画像グリッドインターフェース





2. 画像グリッド画面の左側でカメラリストのカメラを選択します。カメラによって当日の最も早い時間範囲に撮影されたビデオは、サムネイルとして右側のウィンドウに表示されます。
3. カレンダーから日付を選択します。
4. 1日は12のグリッドに分割され、1つのグリッドは2時間になります。画像をダブルクリックすると、再度12のグリッドに分割されます。グリッドの最小時間間隔は1分です。右クリックすると、グリッドの時間間隔が拡大します。
5. 必要なサムネイルを選択して  をクリックし、ビデオを再生します。

図 133 再生インターフェース



 : 全画面表示にして再生します。

イベント録画

注記： 録画制限：同時にサポートしているのは、2 チャンネルのメインストリームとチャンネル番号+1 チャンネルのサブストリーム再生のみです。ローカルとリモートの両方が制限を共有します。

図 134 イベント録画ページ

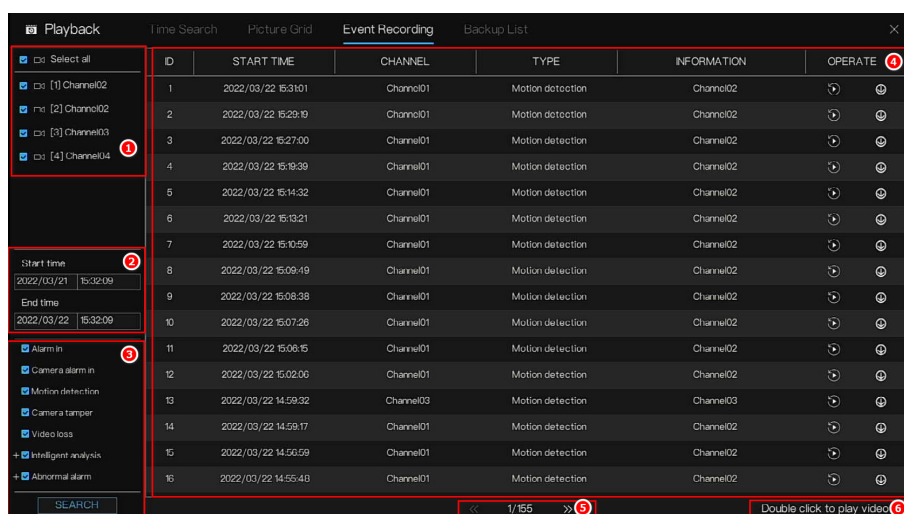




表 33 イベント録画パラメータの説明

番号/アイコン	説明
1	チャンネルリスト：選択してチャンネルイベント録画を検索します。
2	開始時刻と終了時刻を設定して検索します。
3	アラームタイプ (Alarm in [アラーム入力] / Camera alarm in [カメラアラーム入力] / Motion detection [モーション検出] / Camera tamper [カメラタンパ] / Video loss [映像ロス] / Intelligent analysis [インテリジェント解析] / Abnormal alarm [異常なアラーム]) を選択します。
4	検索結果：結果を操作します。  : 動画の録画を再生します。  : ダウンロード：イベント録画をダウンロードします。
5	インターフェース表示：検索結果の数であり、次のページに切り替わります。

番号/アイコン	説明
6	ダブルクリックしてビデオを再生：マウスを 1 つの ID に移動してダブルクリックし、ビデオを再生します。

バックアップリスト

ビデオファイルを検索して、USB ストレージデバイスなどの外部ストレージデバイスにバックアップできます。すべてのバックアップの履歴がリストで表示されます。

Main Menu [メインメニュー] > Playback [再生] > Backup [バックアップ]の順に移動します。

Backup [バックアップ]インターフェースが表示されます。

図 135 バックアップインターフェース

ID	CHANNEL	START TIME	END TIME	SIZE	STREAM	PATH	PROGRESS	OPERATE
1	Channel01	2022/03/22 14:49:32	2022/03/22 14:49:32	675.0 MB	Main stream	/nfsroot/ufm_b1/test0321	Finish	🗑️
2	Channel02	2022/03/22 14:49:32	2022/03/22 14:49:32	480.0 MB	Main stream	/nfsroot/ufm_b1/test0321	Finish	🗑️
3	Channel03	2022/03/22 14:49:32	2022/03/22 14:49:32	675.0 MB	Main stream	/nfsroot/ufm_b1/test0321	Finish	🗑️

Processing/Completed : 0/3 | CLEAR HISTORY

CLEAR HISTORY [履歴のクリア]をクリックして、すべての履歴をクリアすることができます。

章 4

WEB 操作

この章は NVR のリモートユーザーを対象にしています。ブラウザベースの Web クライアントを使用してリモートで Honeywell の 35 シリーズのネットワーク ビデオ レコーダーにアクセスする方法を説明します。

この章は以下の項で構成されています。

- [ネットワーク接続、133 ページ](#)
- [Web ログイン、134 ページ](#)
- [Web メインメニュー、136 ページ](#)

- 注記：
- マニュアル内のインターフェースは、操作の紹介用と参照用のみに使用されます。実際のインターフェースは、ご購入いただいたモデルによって異なる場合があります。マニュアルと実際の製品との間に不整合がある場合は、実際の製品が優先されます。
 - Web 以外にも、当社の HDCS を使用してデバイスにログインできます。詳細については、HDCS ユーザーガイドを参照してください。

ネットワーク接続

下記の条件に適合しているか確認します。

- ネットワーク接続は良好か確認します。

- NVR と PC のネットワーク設定が正しいか確認します。ネットワークの設定を参照します。Main Menu [メインメニュー] > Network [ネットワーク] > Network [ネットワーク]。
- ネットワーク接続が良好かどうか確認するためにピングします。*****
*** をピングする（ここで*** ** * ** * は NVR の IP アドレスです）。リターンの TTL は、225 未満にしてください。

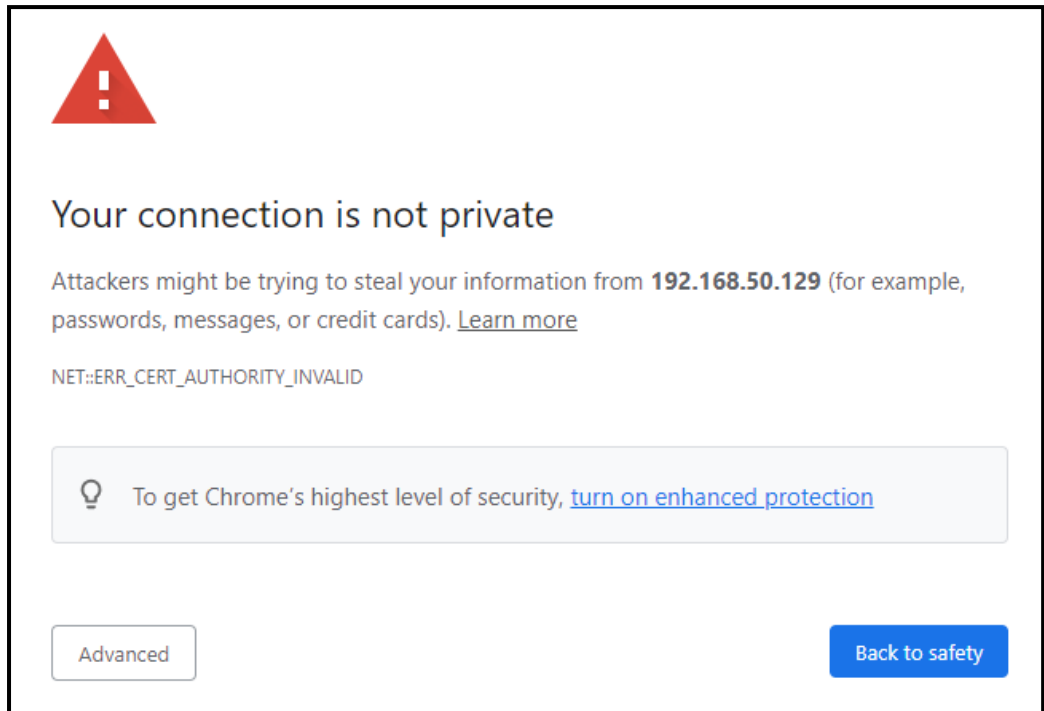
Web ログイン

注記： デバイスの工場出荷時のデフォルト IP は、192.168.0.121 です。
デバイスは、機能を実行するため、Chrome と Microsoft Edge の監視をサポートします。

1. ウェブブラウザウィンドウを開きます。アドレスフィールドに NVR の IP アドレスを入力します。

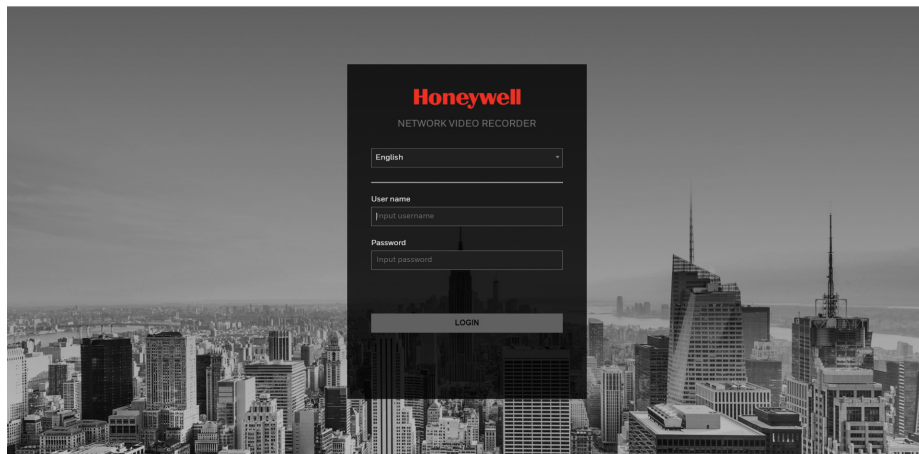
たとえば、NVR の IP アドレスが 192.168.50.129 の場合、アドレスフィールドに http://192.168.50.129 を入力します。
2. キーボードで Enter [エンター] キーを押すと、下記の画面が表示されま
す。Advanced [拡張] をクリックします。

図 136 セキュリティの問題



3. Proceed to 192.168.50.129 (unsafe) [192.168.1.108 に進む (安全でない)] をクリックします。下記のウィンドウが表示されます。

図 137 ログイン



4. User name [ユーザー名] と Password [パスワード] を入力します。
デフォルトの管理者アカウントは admin [管理者] です。パスワードは、初期設定時に設定したパスワードです。
5. LOGIN [ログイン] をクリックします。

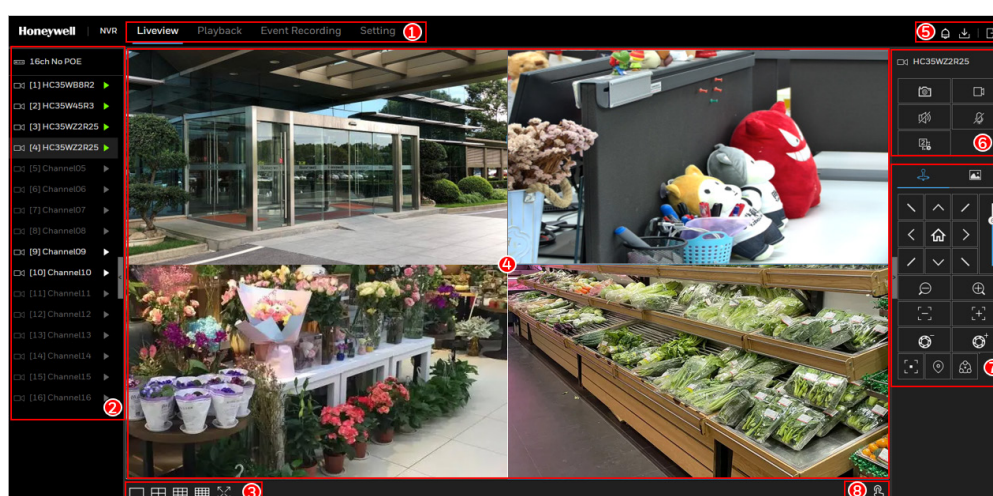
Web メインメニュー

ライブビュー

Web にログインすると、メインメニューが表示されます。

詳細な操作については、[ローカル基本操作](#)を参照してください。










図 138 ライブビューページ



ページには次の 4 つのセクションがあります。Liveview [ライブビュー]、Playback [再生]、Event Recording [イベント録画]、Setting [設定]です。

表 34 ライブビューアイコンとパラメータ

番号/アイコン	説明
1	クリックして、次の機能関数を切り換えます。Live Video [ライブビデオ]、Playback [再生]、Event Recording [イベント録画]、Setting [設定]です。
2	オンラインステータス付きのチャンネルリスト： <ul style="list-style-type: none">オンライン用のハイライトオンライン用のグレー
3	 1つの画面と 4/9/16 分割画面  全画面表示：ESC キーをクリックして全画面表示を終了します。

番号/アイコン	説明
4	ライブビデオの再生
5	 イベントリスト クリックして、詳細なアラーム情報のポップアップウィンドウを表示します。再度アイコンをクリックして、ポップアップウィンドウを展開します。
	 ダウンロードリスト クリックして、タスクリストのダウンロードのバックアップを表示します。
	 現在のユーザーをログアウトします。
6	 スナップショット：現在のライブビデオのシーンをキャプチャします。
	 録画：ローカルフォルダにビデオを録画します。
	 音声：音声を有効または無効にします。
	 双方向音声：外部スピーカーに接続し、音で相互連絡します。
	 2つの（サブ）ストリームまたは1つの（メイン）ストリームを切り換えます。
7	PTZ キーボード (PTZ コントロール を参照) および画像パラメータ (センサー設定 を参照)
8	 手動アラーム：クリックして手動でアラームをトリガーします。












再生

ディスクを取り付けていて録画機能が有効になっているときに、Playback[再生]をクリックして動画の録画を再生します。

図 139 再生ページ



表 35 再生アイコンとパラメータ

番号/アイコン	説明
1	チャンネルリスト  デバイスに動画の録画がある  デバイスに動画の録画がない  選択したデバイス  選択していないデバイス
2	カレンダー 詳細な時刻を設定して、動画の録画を正確に検索します。
3	異なる録画の選択：Schedule record [スケジュール録画]、Manual record [手動録画]、または Event record [イベント録画]。
4	 リバース  再生/一時停止  3倍速  1つの画面/4分割画面  同期/非同期 異なるチャンネルを設定して、同期または非同期で再生できます。同期モードは、選択したチャンネルを同期させてビデオを再生することを示します。非同期モードは、異なる期間の録画を再生することを示します。  バックアップ  バッチバックアップ
5	時間バーのタイプ

番号/アイコン	説明
6	時間バー：録画の時間を表示します
7	録画操作：表 34 にある同じアイコンを参照してください。

イベント録画

設定条件を通じてイベント録画を検索します。

図 140 イベント録画ページ

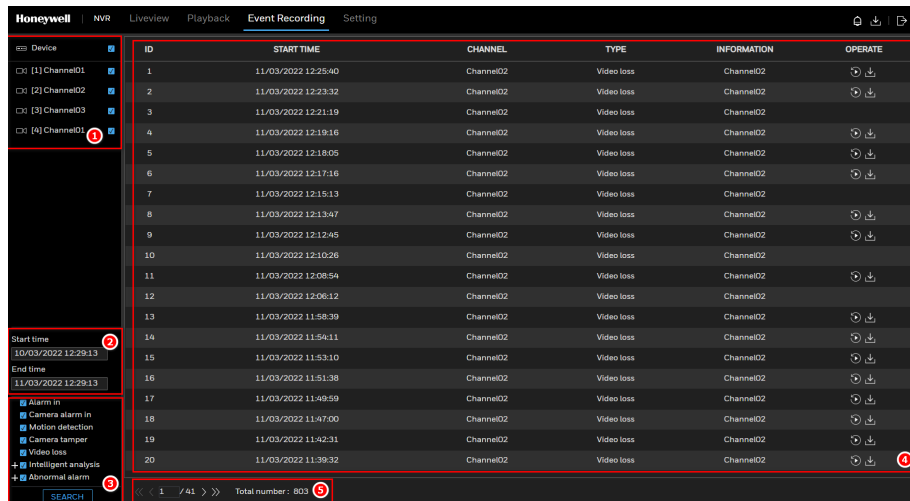




表 36 イベント録画アイコンとパラメータ

番号/アイコン	説明
1	チャンネルリスト 選択してチャンネルイベント録画を検索します。
2	開始時刻と終了時刻を設定して検索します。
3	アラームタイプを選択します。
4	検索結果  動画の録画を再生します  イベント録画をダウンロードします
5	<ul style="list-style-type: none"> 検索結果の数を表示します。 ページを切り換えます

設定

設定操作はローカル操作と同じです。ローカル基本操作を参照してください。

図 141 設定ページ

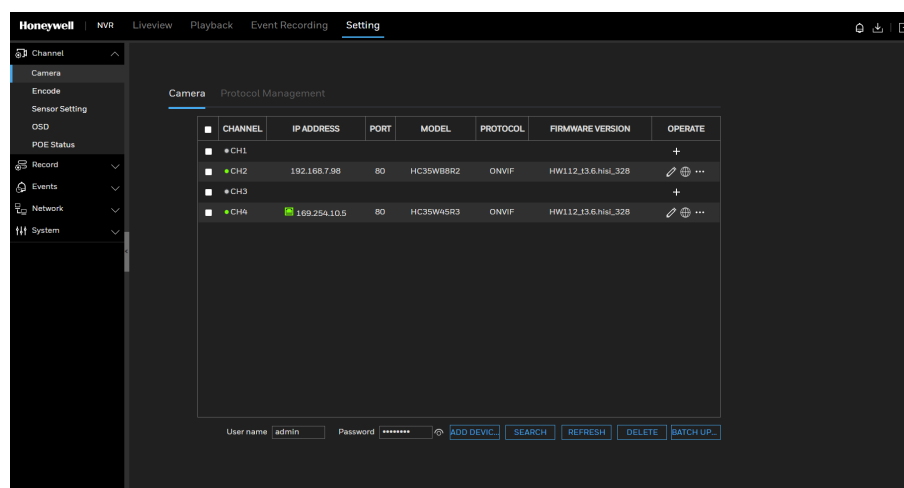







表 37 設定記号

アイコン	説明
	カメラ/エンコード/OSD 構成、センサー設定、PoE ステータスの確認など、チャンネル操作を実行します。 詳細な操作については、 カメラの構成 を参照してください。
	録画リソース（ストレージモードなど）とストレージ容量を管理できます。 詳細な操作については、 ストレージ設定の構成 を参照してください。
	イベント情報を検索して、アラーム入力/出力設定などのイベント操作を実行します。 詳細な操作については、 イベント設定の構成 を参照してください。
	DDNS、Email [E メール]、P2P などの Network [ネットワーク] 機能を設定します。 詳細な操作については、 ネットワーク設定の構成 と Web モード を参照してください。
	基本的なシステム情報を設定します。 詳細な操作については、 システム設定の構成 を参照してください。


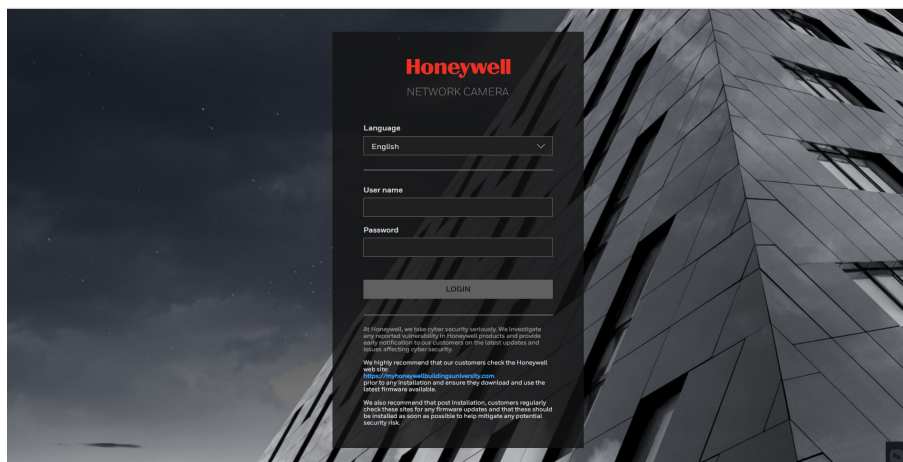
カメラの Web ページに移動するには、Setting [設定] > Channel [チャンネル] > Camera [カメラ] > Camera [カメラ]  の順に移動し、カメラリストをクリックします。あらかじめ、NAT ポートを有効にしてください。

図 142 IPC ログインページ



カメラの User name [ユーザー名] と Password [パスワード] を入力して、IPC Web メインページを開きます。

Web モード

Web クライアントを通して NVR にアクセスするときは、Setting [設定] > Networks [ネットワーク] > Web Mode [Web モード] の順に移動し、HTTPS (HTTPS のみ、または HTTP & HTTPS)、Certificate Request [証明書リクエスト]、Upload Files [ファイルのアップロード]、CA Certificate [CA 証明書] を設定します。

セキュリティ証明書には、3 つのモードがあります。Certificate Request [証明書リクエスト] が優先で、2 番目のオプションが Upload Files [ファイルのアップロード] です。これら 2 つのモードが無効である場合、デフォルトのオプションは CA Certificate [CA 証明書] です。

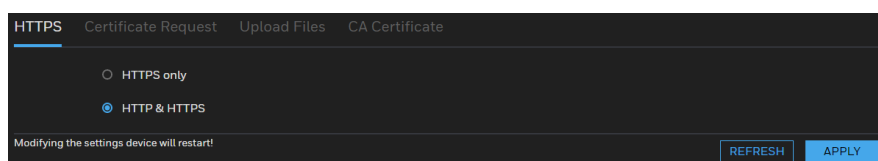
HTTPS

Setting [設定] > Networks [ネットワーク] > Web Mode [Web モード] > HTTPS の順に移動します。

このセクションでは、認証と暗号化通信を有効にする方法について説明します。より高いセキュリティレベルでインターネット上のストリーミングデータ送信を保護するのに役立ちます。

注記： Honeywell では、HTTPS only [HTTPS のみ]を使用することを強くお勧めします。

図 143 HTTPS



HTTPS only [HTTP のみ]：これを選択すると、Web ブラウザは、より高いセキュリティレベルの HTTPS 経由でのみアクセスできます。

HTTP & HTTPS：これを選択すると、HTTP または HTTPS を介して Web ブラウザにアクセスできます。

証明書リクエスト

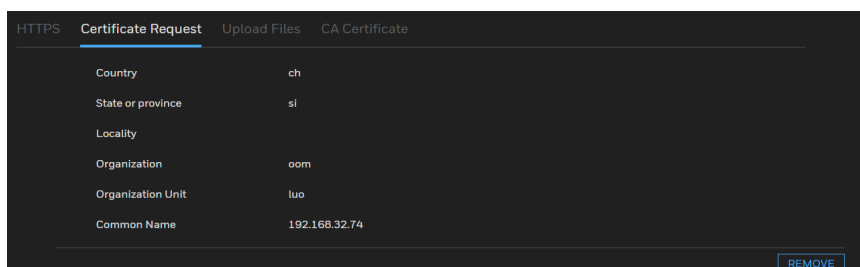
1. Setting [設定] > Networks [ネットワーク] > Web Mode [Web モード] > Certificate Request [証明書リクエスト]の順に移動します。

図 144 証明書リクエスト

2. 証明書の要求のパラメータを入力します。
3. CREATE [作成]をクリックします。
4. EXPORT [エクスポート]をクリックして、CSR 要求ファイル (certreq.pem) を保存します。
5. CSR 要求ファイルを使用して、SSL 証明書ファイルを取得します。

6. Web ページで CHOOSE FILE [ファイルを選択]をクリックし、コンピネーションファイルを選択します。
7. UPLOAD [アップロード]をクリックします。

図 145 証明書ページ

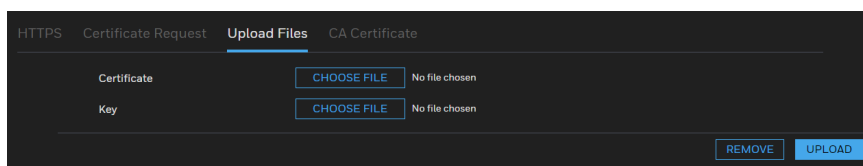


ファイルが正常にアップロードされた後、ファイルを削除する場合は、REMOVE [削除]をクリックします。

ファイルのアップロード

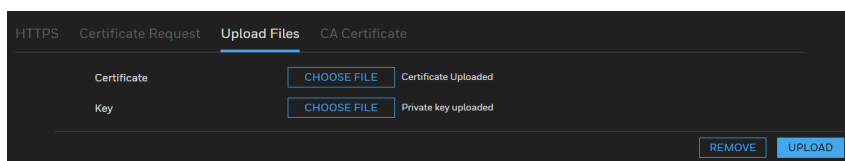
1. Setting [設定] > Networks [ネットワーク] > Web Mode [Web モード] > Upload Files [ファイルのアップロード]の順に移動します。サードパーティからの証明書ファイルとキーファイルは、ここでインポートすることができます。

図 146 ファイルのアップロードページ



2. Certificate [証明書]フィールドで、CHOOSE FILE [ファイルを選択]をクリックして、サードパーティまたは CA ドメインから適用済みの証明書ファイルを選択します。
3. Key [キー]フィールドで、CHOOSE FILE [ファイルの選択]をクリックして、サードパーティまたは CA ドメインから適用済みの証明書キーを選択します。
4. UPLOAD [アップロード]をクリックします。

図 147 ファイルのアップロード



ファイルが正常にアップロードされた後、ファイルを削除する場合は、**REMOVE [削除]**をクリックします。

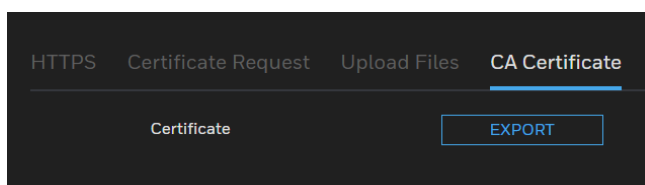
- サポートされている証明書の種類：HTTPS プロトコル。
- サポートされている証明書のファイル形式：*.cert 形式。
- サポートされているキー形式：PEM 形式。

CA 証明書

NVR は、訪問した Web サイトとサーバーの ID を確認し、クライアントとサーバー間で交換されるデータを暗号化する安全な通信プロトコルである HTTPS を使用します。NVR の Web クライアントに初めてログインすると、一部のブラウザより接続がプライベート/セキュアではないという警告が表示されることがあります。Web クライアントにアクセスするには、Honeywell が署名したセキュリティ証明書をインストールする必要があります。

1. Setting [設定] > Networks [ネットワーク] > Web Mode [Web モード] > CA Certificate [CA 証明書]の順に移動します。

図 148 CA 証明書ページ



2. EXPORT [エクスポート]をクリックして、ルート証明書 (ca.crt) をローカルコンピュータに保存します。
3. CA 証明書を保存したディレクトリに移動し、証明書をダブルクリックします。Open [開く]をクリックします。Certificate [証明書]ウィンドウが開きます。

4. Certificate [証明書]ウィンドウの General [全般]タブで、Install Certificate [証明書のインストール]をクリックして、Certificate Import Wizard [証明書インポートウィザード]を開きます。
5. Next [次へ]をクリックして続行します。
6. Place all certificates in the following store [すべての証明書を次のストアに配置する]をクリックして、Trusted Root Certification Authorities [信頼されたルート証明機関]にアクセスし、OK をクリックします。
7. Next [次へ]をクリックし、Finish [完了]をクリックして Certificate Import Wizard [証明書インポートウィザード]を閉じます。確認ダイアログボックスが表示され、The import was successful [インポートが成功しました]というメッセージが表示されます。
8. OK をクリックし、もう一度 OK をクリックして Certificate [証明書]ウィンドウを閉じます。これにより、ブラウザの接続がプライベート/安全ではないという警告は表示されなくなります。

NVR との安全な通信を確保し、Web ページのナビゲーションの遅延を避けるために、証明書をインストールしてください。

章
5



よくある質問

質問	解決策
NVR が正常に起動できません。	<ul style="list-style-type: none"> • 入力電力が正しくありません。 • 電源接続が正しくありません。 • 電源スイッチのボタンが破損しています。 • プログラムのアップグレードが間違っています。 • HDD が故障しているか、HDD リボンに何か問題があります。 • 前面パネルのエラーです。 • メインボードが破損しています。
NVR が、頻繁に自動的にシャットダウンするか、実行を停止します。	<ul style="list-style-type: none"> • 入力電圧が安定していないか、低すぎます。 • HDD が故障しているか、リボンに何か問題があります。 • フロントビデオ信号が安定していません。 • 作業環境が劣悪すぎて、ほこりが多すぎます。 • ハードウェアの不具合です。
システムがハードディスクを検出できません。	<ul style="list-style-type: none"> • HDD が破損しています。 • HDD リボンが破損しています。 • HDD ケーブルの接続が緩んでいます。 • メインボードの SATA ポートが破損しています。
ワンチャンネル出力、複数チャンネル出力、または全チャンネル出力のいずれからも、ビデオ出力はありません。	<ul style="list-style-type: none"> • プログラムに互換性がありません。最新バージョンにアップグレードします。 • 輝度は 0 です。工場出荷時のデフォルト設定に戻します。 • スクリーンセーバーを確認します。 • NVR ハードウェアの誤動作。

質問	解決策
ローカル録画を検索できません。	<ul style="list-style-type: none"> • HDD リボンが破損しています。 • HDD が破損しています。 • アップグレードしたプログラムに互換性がありません。 • 録画したファイルは上書きされました。 • 録画機能が無効になっています。
ローカル録画を検索すると、ビデオが歪みます。	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオ品質の設定が低すぎます。 • プログラム読み取りのエラーです。ビットデータが小さすぎます。全画面にモザイクがかかっています。NVR を再起動すると、この問題は解決します。 • HDD データリボンのエラーです。 • HDD の不具合です。 • NVR ハードウェアの誤動作。
時刻表示が正しくありません。	<ul style="list-style-type: none"> • 設定が正しくありません。 • バッテリーの接続が正しくないか、電圧が低すぎます。
NVR では PTZ を制御できません。	<ul style="list-style-type: none"> • 前面パネル PTZ のエラーです。 • PTZ デコーダの設定、接続、またはインストールが正しくありません。 • ケーブル接続が正しくありません。 • PTZ 設定が正しくありません。 • 距離が遠すぎます。
クライアントエンドまたは Web にログインできません。	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 2007 以降のバージョンを使用して、Web インターフェイスを表示します。 • ディスプレイカードドライバをアップグレードします。 • ネットワーク接続のエラーです。 • ネットワーク設定のエラーです。 • パスワードまたはユーザー名が無効です。 • クライアントエンドは NVR プログラムと互換性がありません。 • ブラウザは Google Chrome、Microsoft Edge を選択し、最新バージョンにアップグレードする必要があります。

質問	解決策
ビデオファイルをリモートでプレビューまたは再生する際に、ビデオがモザイクだけで表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークのスムーズさが良好ではありません。 • クライアントエンドのリソースには制限があります。 • 現在のユーザーには監視する権限がありません。
ネットワーク接続が安定していません。	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークが安定していません。 • IP アドレスが競合しています。 • MAC アドレスが競合しています。 • PC またはデバイスのネットワークカードが正常ではありません。
書き込みエラー/USB バックエラーです。	<ul style="list-style-type: none"> • バーナーと NVR が同じデータケーブルに接続されています。 • システムで使用する CPU リソースが多すぎます。まず録画を停止してから、バックアップを開始します。 • データ量がバックアップデバイスの容量を超えています。バーナーエラーが発生する場合があります。 • バックアップデバイスに互換性がありません。 • バックアップデバイスが破損しています。
アラーム信号を解除できません。	<ul style="list-style-type: none"> • アラーム設定が正しくありません。 • アラーム出力は手動で開いています。 • 入力デバイスのエラーまたは接続が正しくありません。 • 一部のプログラムのバージョンによっては、この問題が発生する場合があります。システムをアップグレードします。
アラーム機能が無効です。	<ul style="list-style-type: none"> • アラーム設定が正しくありません。 • アラームケーブルの接続が正しくありません。 • アラーム入力信号が正しくありません。 • 1つのアラームデバイスに、2つのループが接続されています。
録画ストレージ期間が不十分です。	<ul style="list-style-type: none"> • HDD の容量が足りません。 • HDD が破損しています。
ダウンロードしたファイルを再生できません。	<ul style="list-style-type: none"> • メディアプレーヤーがありません。ファイルは、VLC プレーヤーの再生をサポートしています。 • ダウンロードしたファイルがエラーです。

質問	解決策
Windows の Movies & TV プレーヤーはダウンロードした録画を再生できません。	動画の録画の形式は、H265 エンコードタイプ (MP4) です。VLC で再生することをお勧めします。
ローカルメニュー操作のパスワードまたはネットワークパスワードを忘れた場合	サポートが必要な場合は、お近くのテクニカルサポートにお問い合わせください。この問題を解決するためにサポートいたします。
ビデオが表示されません。画面が黒くなっています。	<ul style="list-style-type: none"> • IPC の IP アドレスが正しくありません。 • IPC のポート番号が正しくありません。 • IPC のアカウント (ユーザー名/パスワード) が正しくありません。 • IPC がオフラインです。
モニターに表示されるビデオが全画面表示ではありません。	現在の解像度設定を確認します。モニター解像度の設定が「1920 * 1080」の場合は、「1920 * 1080」に設定する必要があります。
HDMI 出力がありません。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイが HDMI モードではありません。 • HDMI ケーブルの接続が正しくありません。
クライアントエンドからマルチチャンネルモードで表示している場合、ビデオはスムーズではありません。	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク帯域幅が不十分です。マルチチャンネルモニターの動作には、少なくとも 100 M 以上が必要です。 • お使いの PC のリソースが不足しています。16 チャンネルのリモートモニターを操作する場合、PC は次の環境を備えている必要があります。クワッドコア、2 G 以上のメモリ、独立したディスプレイ、256 M 以上のディスプレイカードメモリ。
IPC に接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> • IPC が起動していることを確認してください。 • IPC ネットワーク接続が正常で、オンラインになっていることを確認してください。 • IPC の IP はブロックリストにあります。 • デバイスが接続している IPC が多すぎます。ビデオを送信できません。 • IPC のポート値を確認して、タイムゾーンが NVR と同じであることを確認します。 • 現在のネットワーク環境が安定していることを確認してください。

質問	解決策
NVR の解像度をリセットすると、モニターが表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> デフォルトの解像度は 1920*1080 です。これより高い解像度を設定するには、モニターがその解像度をサポートしていることを確認する必要があります。そうでなければ Web インターフェースにログインしてデフォルトの解像度を切り換える必要があります。
Web にログインした後、IPC を追加するためのリモートインターフェースが見つかりません。	Web コントロールをクリアして、もう一度ロードします。
IP とゲートウェイがあり、ルーターを経由してインターネットにアクセスできます。しかし、NVR を再起動した後、インターネットにアクセスできません。	コマンド PING を使用して、ゲートウェイに接続できるかどうか確認します。telnet を使用してアクセスし、コマンド「Ipconfig -all」を使用してデバイスの IP アドレスを確認します。サブネットマスクが表示され、再起動後にゲートウェイが変更された場合。アプリケーションをアップグレードして、もう一度設定します。
カメラを 35S NVR に接続できません。	カメラをリセットし、アクティブにしてパスワードを設定します。カメラの Web にアクセスして DHCP を開き、NVR の PoE ポートに接続します。 NVR チャンネルパスワードとカメラのパスワードを同じに設定します。
35 NVR ではカメラの I/O パラメータを設定できません。	カメラの I/O パラメータをカメラ Web クライアントで設定するか、NVR の Web クライアントで Setting [設定] > Channel [チャンネル] > Camera [カメラ] > Camera [カメラ]  を選択してカメラ Web クライアントに移動し、カメラリストをクリックします。あらかじめ、NAT ポートを有効にしてください。
35S NVR では、カメラの MD パラメータを構成できません。	カメラの MD パラメータをカメラ Web クライアントで設定するか、NVR の Web クライアントで Setting [設定] > Channel [チャンネル] > Camera [カメラ] > Camera [カメラ]  を選択してカメラ Web クライアントに移動し、カメラリストをクリックします。あらかじめ、NAT ポートを有効にしてください。

毎日のメンテナンス

- ブラシを使用して、ボード、ソケットコネクタ、シャーシを定期的に清掃します。
- オーディオ/ビデオの障害が発生する場合に備えて、デバイスをしっかりと接地する必要があります。デバイスを静電圧または誘導電圧から遠ざけます。
- 電源ケーブルを外してから、音声/ビデオ信号ケーブルを取り外します。

- 常にデバイスを適切にシャットダウンしてください。メニューのシャットダウン機能を使用するか、後面パネルの電源ボタンを押して、デバイスをシャットダウンできます。そうしない場合、HDD が故障する恐れがあります。
- デバイスが直射日光や他の熱源から離れていることを確認してください。デバイスは、常に換気してください。
- デバイスを定期的にチェックして保守します。

Honeywell Building Technologies – Security Americas

(Head Office)

Honeywell Commercial Security
715 Peachtree St. NE
Atlanta, GA 30308
電話：+1 800 323 4576

Honeywell Building Technologies – Security Mexico

メキシコ：Av.Santa Fe 94, Torre A, Piso 1, Col. Zedec,
CP 012010, CDMX, México.
コロンビア：Edificio Punto 99, Carrera 11a.
98-50, Piso 7, Bogota, Colombia.
電話：01.800.083.59.25

Honeywell Building Technologies – Security Middle East/N.Africa

Emaar Business Park, Building No. 2, Sheikh Zayed Road
P.O.Box 232362
Dubai, United Arab Emirates
security_meta@honeywell.com
電話：+971 4 450 5800

Honeywell Building Technologies – Security Europe/South Africa

Building 5 Carlton Park
King Edward Avenue
Narborough, Leicester LE19 3EQ
英国
電話：+44 (0) 1163 500714

Honeywell Building Technologies – Security Northern Europe

Stationsplein Z-W 961, 1117 CE Schiphol-Oost, Netherlands
電話：+31 (0) 299 410 200

Honeywell Building Technologies – Security Deutschland

Johannes-Mauthe-Straße 14
D-72458 Albstadt
ドイツ
電話：+49 (0) 7431 801-0

Honeywell Building Technologies – Security France

Immeuble Lavoisier
Parc de Haute Technologie
3-7 rue Georges Besse
92160 Antony, France
電話：+33 (0) 1 40 96 20 50

Honeywell Building Technologies – Security Italia SpA

Via Achille Grandi 22,
20097 San Donato Milanese (MI), Italy

Honeywell Building Technologies – Security España

Josefa Valcárcel, 24
28027 – Madrid, España
電話：+34 902 667 800

Honeywell Building Technologies – Security Россия и CHF

121059 Moscow,
Ul, Kiev 7
Russia
電話：+7 (495) 797-93-71

Honeywell Building Technologies – Security Asia Pacific

Building #1, 555 Huanke Road,
Zhang Jiang Hi-Tech Park Pudong New Area,
Shanghai, 201203, China
電話：400 840 2233

Honeywell Building Technologies – Security and Fire (ASEAN)

Honeywell International Sdn Bhd
Level 25, UOA Corp Tower, Lobby B
Avenue 10, The Vertical, Bangsar South City
59200, Kuala Lumpur, Malaysia
E メール：buildings.asean@honeywell.com

技術サポート (中小企業)：

ベトナム：+84 4 4458 3369

タイ：+66 2 0182439 インドネシア：+62 21 2188 9000

マレーシア：+60 3 7624 1530

シンガポール：+65 3158 6830

フィリピン：+63 2 231 3380

Honeywell Home and Building Technologies (インド)

HBT India Buildings
Unitech Trade Centre, 5th Floor,
Sector – 43, Block C, Sushant Lok Phase – 1,
Gurgaon – 122002, Haryana, India
E メール：HBT-IndiaBuildings@honeywell.com

フリーダイヤル：000 800 050 2167

電話：+91 124 4975000

Honeywell Building Technologies – Security and Fire (韓国)

Honeywell Co., Ltd. (韓国)
5F SangAm IT Tower,
434, Worldcup Buk-ro, Mapo-gu,
Seoul 03922, Korea

E メール：info.security@honeywell.com

顧客サポート：HSG-CS-KR@honeywell.com; +82 1522-8779

電話：+82-2-799-6114

Honeywell Building Technologies – Security & Fire (太平洋)

Honeywell Ltd
9 Columbia Way
BAULKHAM HILLS NSW 2153
E メール：hsf.comms.pacific@Honeywell.com

技術サポート：

オーストラリア：1300 220 345

ニュージーランド：+64 9 623 5050

Honeywell

buildings.honeywell.com/security

+1 800 323 4576 (北米のみ)

文書 800- 27009 改訂 B – 2022 年 06 月